

大会テーマ

地域に希望を
育てよう

2023-2024年度 国際ロータリー第2510地区

地区大会記録誌

10/
FRI 13 ゴルフ大会
会場：小樽カントリークラブ

10/
SAT 14 大会1日目
会場：グランドパーク小樽

10/
SUN 15 大会2日目
会場：小樽市民会館

Rotary International District 2510





ロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の生業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー ロータリー

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれまわれ 一つ心に
おおロータリアン
おおロータリアン

我等の生業

我等の生業 さまざまなれど
集いて図る 心は一つ
求むるところは 平和親睦
力むるところは 向上奉仕
おおロータリアン 我等の集い



目 次

国際ロータリー会長メッセージ	3
国際ロータリー会長代理メッセージ	4
国際ロータリー会長代理プロフィール	5
北海道知事祝辞	6
小樽市長祝辞	7
ガバナー挨拶	8
ガバナープロフィール	9
ホストクラブ会長挨拶	10
地区大会実行委員長挨拶	11
地区大会決議案上程	12
会長・幹事会	14
地区指導者育成セミナー	20
RI 会長代理歓迎晩餐会	33
本会議	39
財団ワークショップ	54
記念講演	64
記念懇親会	81
並行プログラム/スパウス配偶者プログラム	84
並行プログラム/ロータリーフェローズ ワークショップ	85
並行プログラム/新会員育成セミナー	86
地区大会記念ゴルフ大会	89
 記録・資料	
物故会員御尊名	94
表彰	96
ご来賓・ご招待者ご芳名	105
地区大会特別参加者名簿	106
地区大会登録者名簿	107
地区大会資金収支決算書	116
地区大会年次収支決算書	120
地区大会役員・実行部会	121
地区大会運営委員会	122
編集後記	123



国際ロータリー会長メッセージ

国際ロータリー会長 R. Gordon R. McNally

ロータリーリーダーの皆さま

この度の地区大会へのご出席に際し、皆さまがロータリーにとって重要な存在であるということをお忘れないうようお願いいたします。

私たちは、歴史的な瞬間にリーダーシップの手綱を渡されました。ロータリーが世界の注目を集め、期待を超えた可能性を実現するチャンスが訪れています。しかし、ポリオに打ち勝ち、少女や女性のエンパワメントなどの目標を達成するには、これまでの取り組みをさらに推し進めなければなりません。

ロータリーは、互いにつながり、帰属意識を感じられる場所を与え、親睦によって末永い変化をもたらすという希望を生み出しています。新型コロナウイルスの世界的流行によって、より多くの人びとが希望を失っています。大勢の人が身近な人を失い、社会的ネットワークが弱まり、つながる機会がなくなったことで、分断がより鮮明となっています。

さらに悪いことに、世界の多くの地域では、特にメンタルヘルスの面で助けを求めることは弱さであると捉えられています。しかし、真実から目をそむけることはできません。自分の弱さを認め、すべての答えを知っているわけではないと認めるのは、勇気が要ることです。助けを求めるこ

とは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めるのはさらに勇気が必要なことです。

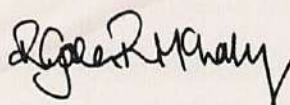
ロータリーが、希望を失ったと感じている人たちに強さを取り戻してもらおう場所となれるよう、力をお貸しください。今年度は、ロータリーが世界に希望を生み出し、会員だけでなく、私たちが奉仕する人たちに対しても思いやりをもって接する団体であると知ってもらえる年度にいたしましょう。

平和をもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒す力が皆さまにはあります。

この地区大会で得た知識をクラブに紹介し、次年度の成功へとつなげる手助けをしていただけることを願っております。

皆さまの活動が世界に希望を生み出すことを忘れないでください。

心を込めて



ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度国際ロータリー会長



国際ロータリー 会長代理メッセージ

マッキナリー RI 会長代理 服部 陽子

国際ロータリー第2510地区の地区大会開催、誠にありがとうございます。松浦光紀ガバナーはじめ、地区内のロータリークラブ会員、ローターアクトクラブ会員、地区ロータリーファミリーの皆様にご心よりのお慶びを申し上げます。

私は本地区大会にゴードン R. マッキナリー RI 会長の代理として派遣されました2750地区バスターガバナーの服部陽子と申します。日本のロータリーを牽引する伝統ある2510地区の地区大会でRI会長の代理を務めさせていただきますことを誠に光栄に存じております。

さて、2023-2024年度は、ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長の「世界に希望を生み出そう」Create Hope in the Worldというテーマの下に幕を開けました。マッキナリー会長は、スコットランド生まれ、大きなお身体に優しい眼差し、温かいおもいやりの心を持たれた方です。新型コロナウイルスの世界的流行やウクライナでの戦争によって、大勢の人が身近な人を失い、辛い時を過ごしてきたこの時代、社会的ネットワークが弱まり、分断が鮮明になっている今こそ、互いの心がつながり、帰属意識を持てる場所があり、共に「希望」の光を見いだしていくことが大切だと強く訴えていらっしゃいます。ひとすじの希望の光は、多くの人の奉仕の心で拡が

り、やがては世界を包む大きな光へと発展していく。それはロータリーの本質と言えます。恒久的な平和を築くために尽力し、世界中の人の笑顔になれるよう行動していきましょう。

松浦ガバナーは、RI会長のテーマを受けて、地区行動指針を「地域に希望を育てよう」とされています。地域社会の発展の芽を見つけ、それを育てていく、その奉仕の機会をローターアクトとも共有していきたいと語られています。松浦ガバナー率いる2510地区の未来はとても明るく、期待と希望に溢れていると感じます。

この地区大会が、参加なさる全ての方々に“大切に迎え入れる地区大会”となりますことを願っております。ご参加の皆様がこの地区大会を十分に楽しまれ、ロータリーの本質、その目指すところを確かめ合い、そこに集う人々の絆をさらに深める機会となりますことを心よりお祈り申し上げます。

Profile

国際ロータリー会長代理プロフィール

服部 陽子 (はっとり ようこ)

《所 属》国際ロータリー第2570地区 東京広尾ロータリークラブ会員

《職業分類》化学薬品販売業 《学 歴》上智大学文学部英文学科

《勤務先》米山化学株式会社 代表取締役

◆ ロータリー歴

2000年12月	東京広尾ロータリークラブ入会 (チャーターメンバー)
2006-2007年度	クラブ会長
2008-2020年度	地区ロータリー財団補助金委員長
2010-2011年度	地区幹事
2011-2012年度	ガバナー補佐 (山の手東グループ)
2015-2017年度	RI地域別会員増強計画プロジェクトリーダー補佐
2018-2019年度	ガバナー
2020-2023年度	ロータリー公共イメージコーディネーター
2020年	第49回ロータリー研究会 組織委員長
2021年	第50回ロータリー研究会 組織委員長
2022-2026年	規定審議会 代表議員
2022-2023年度	地区研修リーダー (ラーニング・ファシリテーター)
2022年	RI研修リーダー (ラーニング・ファシリテーター)
2023年	RI研修リーダー (ラーニング・ファシリテーター)
2023-2024年度	RI2024シンガポール国際大会推進チーム委員

◆ その他

公益社団法人 国際日本語普及協会 理事

一般社団法人 ウィリアム・シェイクスピア・フェローズ 代表

ロータリー財団 メジャードナー、ベネファクター、

ポールハリスソサエティ米山功労者



北海道知事祝辞

北海道知事 鈴木 直道

「2023-2024年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会」が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

松浦ガバナーをはじめ、ロータリークラブの皆様におかれましては、「地域に希望を育てよう」の地区テーマのもと、日頃から、国際奉仕活動や青少年の健全育成など、幅広い奉仕活動を通じて、地域の発展に多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

エネルギーや原材料の価格高騰の長期化などにより、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営環境に大きな影響が及んでおり、住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けられる環境を創っていくことが、一層重要になっています。

こうした中、会員の皆様が、地域社会のリーダーとしてのネットワークを通じて、思いやりの心に満ちた様々な奉仕活動に取り組まれていることを大変心強く感じており、地域の方々の暮らしを支える存在として、ロータリークラブは、ますます大きな役割を果たされていくものと思います。

道といたしましては、「暮らしを守る」「未来を創る」「地域と進める」という視点に立ち、道民の皆様の命と健康、暮らしを守り抜き、北海道の確かな未来を創る取組を進めてまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い

願ひ申し上げます。

国際ロータリー第2510地区の皆様におかれましては、この大会を契機として、会員相互の絆をさらに深められますとともに、これまで培ってこられた貴い奉仕の精神を大切に、それぞれの地域で、持続可能な変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指し、一層ご活躍されますことをご期待申し上げます。

結びに、本大会のご盛会と会員の皆様のますますのご健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いのことばいたします。



小樽市長祝辞

小樽市長 迫 俊哉

国際ロータリー第2510地区の2023-2024年度地区大会が、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、多くの皆様が小樽市にお越しいただきましたことを、市民を代表し、心から歓迎申し上げます。

松浦ガバナーをはじめ、国際ロータリー第2510地区の皆様におかれましては、「地域に希望を育てよう」をテーマに、数々の社会奉仕活動を通じ、地域社会の発展にご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げますとともに深く敬意を表する次第であります。

現在、本市も含め多くの地方自治体において、人口減少や少子高齢化が急速に進んでおります。また、地域経済においては約3年間にわたるコロナ禍に加えて、長引く原油価格・物価高騰に直面しており、地域を取り巻く状況は、ここ数年で大きく変化しております。

本市は昨年、市制施行100周年、さらに今年は小樽運河竣工100周年という大きな節目を迎えております。新たな100年に向けて、「地域の希望」である、次世代を担う子どもたちのために、地域が抱える様々な課題を解決し、将来にわたって人々が安心して豊かに暮らせる持続可能な地域づくりを進めていくことが、今を生きる我々の使命だと思っております。ロータリークラブの

皆様には、日頃より青少年の健全育成や奨学金制度を活用した教育支援などに多大なる貢献をいただいているところですが、これからも高潔なロータリー精神のもと、地域に密着した献身的な活動を通じ、持続可能な地域づくりにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、本大会のご盛会と国際ロータリー第2510地区の今後益々のご発展、会員皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。私からのお祝いのことばとさせていただきます。



ガバナー挨拶

ガバナー 松浦 光紀

この度は、国際ロータリー第2510地区の地区大会にご参加いただき、心から感謝申し上げます。貴重な時間を割いての参加、大変感謝しております。

新型コロナウイルスの影響を受けつつ、会員数の減少と高齢化問題に対処するため、30代、40代の若い会員や女性会員の積極的な参加を促しています。これにより、クラブの活気と多様性が増し、より強いコミュニティの構築に寄与します。

私たちの目標は、地域の発展の芽を見つけ、それを育てていく活動を目指すことです。地域に希望を育てること、これが私たちのテーマです。

DEI（ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン）の推進、多様性と包摂性の尊重を心がけ、公平な対応を実践しています。これにより、すべてのメンバーが等しく、個々の特性を活かしながらクラブ活動に貢献できる環境を目指します。皆様のご協力とご支援に感謝いたします。

私たちはまた、メンタルヘルスへの対策も強化しています。現在の困難な時期において、精神的な健康を保つことは一層重要です。メンタルヘルスの強化と支援にも力を入れ、地域社会のリカバリーをサポートして参ります。

共に、強力で影響力のあるコミュニティを構築

することができます。この機会を通じて、新しい知識を獲得し、繋がりを深め、そしてロータリーと一緒に楽しんでください。地域の発展と繁栄のために、一緒に力を合わせて前進しましょう。

皆様の健康と安全、そしてこれからの年度が素晴らしいものになることを心より願っています。

Profile

ガバナープロフィール

松浦 光紀 (まつうら みつのり)

1945年12月10日生まれ 出身 小樽

【職業分類】 ファイナンシャル・プランナー

【学 歴】 1969年3月 北海道大学水産学部遠洋漁業学科 卒業

【職 歴】 2003年1月 日本FP協会登録

2005年12月 松浦FPオフィス設立

◆ ロータリー歴

1989年1月 第2780地区 第1グループ三浦RC入会
2006年12月15日 小樽南RC入会
2017-2018年度 クラブ会長
2017-2018年度 ポリオプラス委員会副委員長
2018-2021年度 クラブ奉仕委員会副委員長
2020-2021年度 ロータリー情報委員会副委員長
2021-2022年度 第6グループガバナー補佐

◆ その他

メジャードナー

米山功労者メジャードナー



ホストクラブ会長挨拶

ホストクラブ会長 三栖 裕司

国際ロータリー第2510地区、2023-2024年度の地区大会開催にあたりましてホストクラブを務めます、小樽南ロータリークラブ、そしてコ・ホストクラブをお願い致しました、小樽ロータリークラブ、銭函ロータリークラブの会員を代表致しまして、歓迎のご挨拶を申し上げます。

本大会には、RI会長代理服部陽子様をお迎えするとともに、ご公務多忙のところ、鈴木直道北海道知事、迫俊哉小樽市長のご臨席をいただきました。

地区内外からも、ガバナー、パストガバナー、多くのロータリアン、ご家族、青少年の皆様にご参加をいただき、このように盛大な地区大会を共有することができますことは誠に光栄の至り、深甚でございます。

さて、経験したことのないような暑さに加え、未だ収束を迎えたとは言えないコロナを抱える中、当クラブ34年振りの松浦ガバナー指揮のもと通常開催へと全会員と共に駒を進めてまいりました。

何かと不手際、不行届きの点があろうかと思えます。その際には寛容の精神を持ってご容赦頂き、地区大会ホストの責務を果たしてまいりたいと思えます。皆様のご協力を賜りますようお願い

申し上げます。

本年度、ゴードンR.マッキナリーRI会長は、2023~2024年度テーマ講演でロータリーが平和やメンタルヘルスのために行動し、“世界に希望を生み出そう”と呼びかけています。そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要であると訴えています。

今期、松浦ガバナーは“地域に希望を育てよう”と地区目標を掲げております。コロナ禍の3年間、オンラインの中でも育まれた各ロータリークラブの継続的な奉仕と友愛の行動を通じ今まで以上に地域社会に貢献し、評価される行動になるよう促されています。

今回の地区大会の開催において、参加の皆様が各プログラムを通して、ロータリーへの一層の理解を広められることになりませうよう祈念を申し上げ、措辞ではありますが歓迎の言葉とさせていただきます。



地区大会実行委員長挨拶

地区大会実行委員長 岡崎 芳明

この度の2022年から2023年RI2510地区の地区大会実行委員長を務めさせて頂く岡崎と申します。RI2510地区内のロータリアンの皆様、大変ようこそ小樽にお越しく下さいました。会員一同御来樽を心より歓迎申し上げます。

顧みますと小樽南ロータリークラブがガバナーを輩出致したのは今から34年前1989年から1990年RI2510地区がまだRI251地区と言っていた時に舩谷真一ガバナーが誕生致して以来の事です。

現在の会員は殆ど地区大会を行った経験のない者ばかりで、今回の地区大会にあたり会員の力を合わせて準備をしたつもりでございますが、不手際などもあるかと思います。どうかロータリアン同志の寛容なお気持ちにてお許し頂けますれば幸いに存じます。

現在コロナ禍は収まってきたとは言え、まだその影響は残っており以前の状態に完全に戻ったとは言えません。今回は安全にも配慮しながら以前の様な地区大会を目指し計画致しました。

2023-2024年度ゴードンR.マッキナリー国際ロータリー会長のテーマは「世界に希望を生み出そう」です。国土交通省令和4年の調査によりますと北海道は人口減少・少子高齢化の進行に加え、地方部から首都圏・札幌圏への人口

流出が続いている状況であり、この状況が続けば、地方部の人口減少・低密度化が加速するとともに、圏域中心都市や地方部の市街地の活力が低下し、生産空間の機能維持が困難になることが懸念されると言われています。松浦ガバナーの「地域に希望を育てよう」という地区目標は小樽はじめ地方部都市の殆どに当てはまる事と言えます。私の子供の頃20万人都市と言われていた小樽も現在は半分近くに減少してしまいましたが、逆に最近小樽が良いと言って小樽に引っ越して来た方も居ます。移住してきた方々にとっても、住んでいる人々にとっても、魅力のある街にしていく事が企業主の集まりでもあるロータリアンに課せられている使命とも言えます。

この度は服部陽子RI会長代理をお迎えし、講演には『テルマエ・ロマエ』の作家ヤマザキマリ様をお迎え致します。皆様には小樽での地区大会が心に残る楽しい有意義な思い出になる事をお念じいたしております。

さあそれでは小樽での地区大会をお楽しみください。

地区大会決議案上程

決議第1号

「2023-2024年度国際ロータリー会長のテーマを推進する件」

ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長は、本年度のテーマとして「世界に希望を生み出そう」を示されました。我々第2510地区のロータリアンは、このテーマをよく理解し、積極的に推進し、ロータリーの奉仕活動に最大限の努力を傾けることを決議いたします。

決議第2号

「ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長並びに服部陽子国際ロータリー会長代理に感謝する件」

2023-2024年度の国際ロータリー第2510地区、地区大会を小樽で開催するにあたりゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長は会長代理として服部陽子バスターガバナーを派遣されました。同氏は本大会にご隣席下さり、ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長のメッセージを伝えられ、さらに国際ロータリーの現状についてのご講話と共に格調高い所感を表明され、大会参加者に多大な感銘を与えられ、本大会を成功へと導かれました。本大会はゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長と共に、服部陽子国際ロータリー会長代理に記念品を贈り、感謝と敬意を表することを決議いたします。

決議第3号

「2022-2023年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件」

2022-2023年度の地区資金収支報告並びに監査報告は別紙のとおりであります。
本大会は国際ロータリー細則第16条第6節第4項の規定に則り、正式に採択することを決議いたします。

決議第4号

「国際ロータリー第2510地区直前ガバナー石丸修太郎氏に感謝する件」

2022-2023年度地区ガバナー石丸修太郎氏は、ジェニファー E. ジョーンズ国際ロータリー会長が示された「イマジンロータリー」のテーマを地区内ロータリアンの理解に努められ、ご在任中は当地区のリーダーとして豊かな経験と卓越した見識を持って地区発展に多大な貢献をされました。よって本大会は同氏の功績をたたえ、深甚なる謝意を表すことを決議いたします。

決議第5号

「会員増強と拡大を推進する件」

地区内ロータリアンは、新しいアプローチとアイデアを持ってクラブの活性化と、会員増強、現会員維持に取り組む、会員基盤の強化を推進することを決議いたします。

決議第6号

「地区危機管理基金規約に関する件」

地区資金より、地区内外の災害や事故及びパンデミック等の危機発生時に対応するため、また次世代を担う青少年の健全育成を図るために地区を挙げて支援することを目的とするための基金を設立することを決議いたします。

決議第7号**「IT活用と公共イメージ向上を推進する件」**

クラブ運営及び活動衰退防止のため、ITの幅広い活用を強く推進し、また広くロータリー認知度の向上を図り、公共イメージ向上を推進することを決議いたします。

決議第8号**「青少年奉仕活動を推進する件」**

次世代を担う青少年は、近い将来のロータリアンに相応しい存在であり、未来を果敢に切り開く力に漲っており、その指導育成に充分配慮し一層充実することを決議いたします。

決議第9号**「ロータリー財団への寄付増進に協力する件」**

国際ロータリーのロータリー財団は、ロータリー活動の大きな柱の一つであります。
当地区の全てのロータリアンは、国際理解、友好、親善、人道的援助の願いを込めて、ロータリー財団への寄付推進に協力することを決議いたします。

決議第10号**「(公財)ロータリー米山記念奨学会の寄付推進に協力する件」**

(公財)ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリー活動の大きな柱の一つであります。
当地区の全てのロータリアンは、国際理解、友好、親善、世界平和の願いを込めて、(公財)ロータリー米山記念奨学会への寄付推進に協力することを決議いたします。

決議第11号**「シンガポール国際ロータリー大会への参加を推進する件」**

2024年5月25日～29日にシンガポールにおいて開催される国際大会に、当地区の会員並びにご家族の積極的な参加を推進することを決議いたします。

決議第12号**「次期地区大会開催に関する件」**

2024-2025年度国際ロータリー第2510地区の地区大会は、札幌北ロータリークラブをホストとして札幌市において開催することを決議いたします。

決議第13号**「地区大会ホストクラブに感謝する件」**

2023-2024年度国際ロータリー第2510地区の地区大会がグランドパーク小樽および小樽市民会館において開催され、コロナ禍以降初のフル開催の中、多くの成果を収めつつあることは、ホストクラブである小樽南ロータリークラブの周到な準備と、会員とご家族、並びにコ・ホストクラブの小樽ロータリークラブ、小樽銭函ロータリークラブの一方ならぬご尽力の賜物であります。よって本大会は、ここに深甚なる謝意を表することを決議いたします。

10月14日(土)
大会1日目

会長・幹事会

《 グランドパーク小樽 》

※敬称略

13:00 開会

点鐘

ガバナー 松浦 光紀

国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

ソングリーダー 湊 亨

開会のあいさつ

地区大会実行委員会 岡崎 芳明

RI会長代理・ご来賓・役員紹介

地区副代表幹事 山村 弘一

ガバナーあいさつ

ガバナー 松浦 光紀

RI会長代理あいさつ

RI会長代理 服部 陽子

協議

大会決議案上程審議

大会決議委員長・パストガバナー 福井 敬悟

大会決議案上程承認

ガバナー 松浦 光紀

22-23年度決算報告

前年度地区財務委員長 川端 忠範

22-23年度監査報告

パストガバナー 大日向豊吉

大会運営委員会報告

大会登録委員会報告

大会登録委員長・パストガバナー 嵯峨 義輝

大会信任状委員会報告

大会登録委員長信任状委員長・パストガバナー 大日向豊吉

大会選挙管理委員会報告

大会選挙管理委員長・パストガバナー 福田 武男

点鐘

ガバナー 松浦 光紀

諸事お知らせ

地区副代表幹事 石川 稔



地区大会実行委員長挨拶



地区大会実行委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)

皆様におかれましては、大変ようこそこの小樽にお集まりいただきました。特に、服部陽子RI会長代理、また各パストガバナーの皆様、そしてRI2510地区の会長、幹事の皆様、本当にようこそお越しくさいました。心より歓迎申し上げます。

今回の地区大会は、今まで何年間もコロナの影響で縮小されたZOOM会議や地区大会しか行ってこれませんでした。今年、松浦ガバナーの意向で、昔のような地区大会を開催するという事で、皆様にご案内を差し上げました。しかし、昔のようなとは申しまして、やはり新しい試みとして色々と内容を検討しております。特に、このあとの地区指導者育成セミナーでは、20グループに分けてグループディスカッションをします。これは、新しい試みです。

そして今回、この地区大会を開催するにあたり、私もクラブ員も1年間苦労いたしました。なにしろ34年前に初谷真一パストガバナーが出て以来のことでございまして、ほとんどの地区大会の

ことを知らない者が一生懸命頑張って用意をさせていただきました。そんなこともありまして、多々不備なこともございましょうが、どうぞロータリーの温かい友情の精神をもってご容赦いただければと幸いに存じます。

それでは、ただいまより会長幹事会を開催させていただきます。今日はこの後、地区指導者育成セミナーとグループディスカッション、そして最後は服部陽子RI会長代理の歓迎晩餐会となっております。どうぞごゆっくりとお楽しみいただければ幸いです。皆様よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

ガバナー挨拶



国際ロータリー
第2510地区ガバナー
松浦 光紀
(小樽南RC)

こんにちは。クラブ訪問の60クラブが終わりました、あと8クラブあります。皆様方には大変お世話になっております。

今日、壇上から皆様方の顔を拝見いたしまして、今すごく懐かしく感じております。

私は、3クラブを訪問した際に、DEIについてお話しさせていただきましたけども、今日この壇上から見ていると、皆様ほとんど男性なんです。

多様性というのは女性の方がたくさんいらっしゃるかと多様性にはならないと思います。是非です、皆様方も女性の会員も増やしていただくよう協力していただければと思います。本当に残念ですが、世界では、約30%以上が女性会員です。日本はまだ10%以下です。ぜひこの会を利用して、皆様をお願いしたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。



RI 会長代理挨拶



RI会長代理

服部 陽子

(東京広尾RC)

あらゆる面での多様性を実現する
ロータリーの精神

2750地区パストガバナーの服部陽子でございます。この度はゴードン R.マッキナリーRI会長の代理として、地区大会にお伺いをさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、2510地区の会長・幹事の皆様方にお話をさせていただく機会をいただき、誠にありがとうございます。

突然ではございますが、皆様のクラブには今どのような空気が流れているでしょうか。クラブの例会場に一歩足を踏み入れた時に流れている、空気感のようなものがあると思いますが、思わず深呼吸をしたくなるようなよい空気が流れていれば、きっとクラブが活発で、皆様が元気に奉仕活動に取り組んでいるのではないかと思います。しかしもし、空気が重いと感じるようなことがあったら、一度窓を開けて新しい風が吹くとまた、新たなエネルギーがクラブに湧いてくるのかなという気がいたします。

さて、最近ロータリーではDEIという言葉をよく聞くようになりました。実際、これはゴードン・マッキナリーRI会長の強調事項のひとつで、企業などでは社会的弱者、マイノリティーを取り込んでいくという取り組みに使われていることが多いように思います。ロータリーはそれだけではなく、他者に向き合う心のあり方、もう少し深いところでDEIを捉えていると感じております。ですからDEIは、私たちのクラブの活性化に大きな関わりがあるわけです。ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン、日本語では多様性、公平さ、インクルージョンということです。では、ロータリーではそれをどのように定義付けているかと申しますと、多様性に関しては、ロータリーはあらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎するとしています。また、公平さに関しては、クラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つよう勤めています。誰もが公平に大切にされる、それがロータリークラブである。そしてインクルージョン。ロータリーはあらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会

員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます。ロータリークラブが会員誰にも居心地のよい場所ということになります。

では、私たちクラブの中で実際に、このDEIをどういうふうに考えていったらよいのかということをし少しお話してみたいと思います。会員基盤の多様性ということでは、これは例えば職業の多様性はロータリーがスタートした時からあるものでございます。これに加えて、年代や性別の多様性、ロータリー歴の多様性、加えて会員がロータリーに使える時間やエネルギーも多様性であるということです。例えば毎日がロータリーでも大丈夫ですという方もあれば、1週間に1時間の時間を作るのも大変ですという方もいらっしゃる。それから、どのような奉仕活動に興味があるか、もです。ロータリーは国際的な組織ですから、ロータリーに入ったからには国際奉仕プロジェクトをやりたいという人もいれば、地元の地域社会のために活動したいというお考えの方もいます。子供のための奉仕分野に興味を持っている人など、多様です。また、学習スタイルにしてもロータリーを学ぼうと書物を読んでおられる方もあれば、人の話を聞くのがよいとおっしゃる方もあるでしょう。それから、今の時代はインターネットで調べるのがいい方もいます。会長・幹事の皆様には会員の多様性というものが多岐にわたっているということをぜひお考えに入れていただいで、会員の皆様を見守っていただきたいと思っています。

全世代を温かく受け入れる 公平なクラブ運営を

次にロータリーにおける公平さです。私は、どの会員も同じ重みで大事にされていると思っており

ます。例えば、どの会員の言うことにも公平に耳を傾ける。あるいはどの会員も、皆クラブのために何か役割を持っている。どんなことでも、できればその方の得意分野がよいのかかもしれませんが、何かクラブに必ず役割があつて、皆の輪の中に入って活動ができている。いつの間にか、やることもなく忘れ去られてしまっているということがないようにする。これもロータリーの公平さだと思います。また、情報の共有ですね。非常に詳しくロータリーのことがわかっている方もいれば、クラブが来月どのような奉仕活動を行う予定かわからない方もいます。ですから、情報をたくさん持っている方は、持っていない方にどんどん情報を渡して、そのインフォメーションギャップを埋めていくということが大事だと思います。そうすると、誰もがロータリーを楽しむことができるのです。せっかくロータリーに入会したからには、ロータリーという素晴らしい果実を、皆が手に入れることができるようになっていただきたいと思っています。

次のインクルージョンです。もとの英語の意味は「中に入っている、含んでいる」という意味です。私はこれを「迎え入れて仲間にする」と考えております。クラブには、多様なバックグラウンドの会員がいます。例えば男性も女性も、若い人もシニアの方もいます。皆が本当によい仲間になっているかが大切です。若い人は若い人だけ、女性会員は女性会員同士で集まってしまうとインクルージョンにはならないので、会員の皆様が本当によい交流をして、一緒に活動を行い、よい仲間になってこそインクルージョンが実現できるわけでございます。

前RI会長のジェニファー・ジョーンズさんはこのようにおっしゃっていました。「会員にとっての心地よさと配慮が、会員の満足度を高める唯一かつ最大の要因であり、会員を維持するための最善の

手段です」と。会員がクラブに満足し、心地よいと感じている。それは本当に大事なことです。会員の方が自分のクラブにとっても満足していれば、ずっとクラブに所属しますから会員維持につながり、また自分の友達を誘おうかという気持ちにもなるのではないのでしょうか。よく会員増強のために入会を呼びかけましようと言われますが、その会員自身がクラブに疑問や不満を持っていたりしたら、自分の大事な友人や知人を誘うという気持ちにはならないと思いますので、まず会員は自分のクラブに本当に心から満足していることが大事だと思います。そのために、先ほどお話し申し上げた自分も仲間に入っている、このクラブの仲間の1人なのだという意識が持てる。そういうインクルーシブなクラブであるということが大切です。また、ウェルカミング＝「ようこそ」と、人を温かく迎え入れる雰囲気。それから、ビロングング＝「Belonging」です。このビロングングはそのままですと所属先、帰属先といった意味ですがそれ以上に、そこが自分の居場所である。自分らしく心地よく安全にいられる場所である、そういう自分の家のような場所である。それがビロングングです。これが会員にとって何よりも大切なことです。

会員をどんどん褒めて クラブの活性化を

皆様は会長・幹事として、クラブのリーダーシップをとっていらっしゃるわけですが、もうひとつ、今日をお願いしたいことがございます。それはぜひ、クラブ会員の皆様に褒めていただきたいということです。例えば、どんな小さなことでも、もちろん大きいことでもよいのですが、会員の皆様が一生懸命やっているな、と思われた時に、プログラム委

員長の方だったら「最近とってもたくさんの内容で、毎週充実していいですね」とおっしゃったり、それから「よい会員を招待してくれてありがとう」とか、例会の主催がうまくいったら「とてもスムーズに司会ができていいね」など、そのような褒め言葉をぜひ口に出して、ご本人に、そしてご本人のいないところでも言うていただくことはとても大事なことでと思います。女性会員に「スタイルがよくて素敵ですね」なんておっしゃると、ときにはセクハラになってしまうたりするかもしれませんので、そこはご注意ください、ぜひ会員の皆様に褒めて差し上げてください。

アメリカの作家トムソーヤの冒険で有名なマーク・トウェインはこのようなことを言っています。「私は嬉しい褒め言葉ひとつで、2 か月は生きていける」。シェイクスピア作品「冬物語」という物語の中の、ハーマイオニという主人公はこうに言っています。「立派な行為を褒めないまま死なせることは、後に続く立派な行為を何千も殺すこと」と。褒め言葉が私たちには糧なのです。拍車を当てられては、1 マイル走るのがやっとの私たちも、優しい褒め言葉で何千マイルも走ってしまいます。

皆様、会長や幹事さんから褒められたという方は、とても元気にモチベーションも高まり、そしてクラブがどんどん活性化していくのではないのでしょうか。ぜひクラブの皆様の言葉で活性化に導いていただきたいと思います。2023～2024年度、皆様のクラブがますます栄え、そしてインクルーシブな風が吹きますように願っております。ご清聴ありがとうございました。

地区指導者育成セミナー

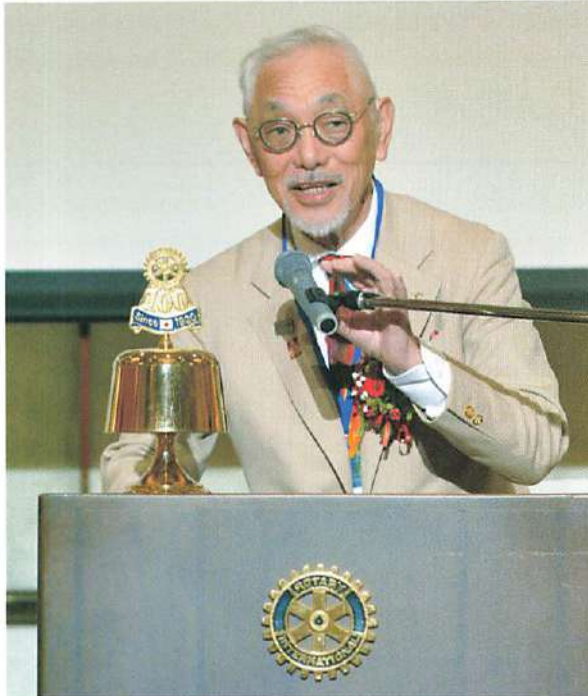
10月14日(土) グランドパーク小樽 5階

※敬称略

14:00	開会	司会・地区幹事	拝田 昇
	点鐘	ガバナー	松浦 光紀
	ガバナー挨拶	ガバナー	松浦 光紀
	講師紹介	地区研修リーダー・パストガバナー	嵯峨 義輝
14:10	テーマ「ロータリーの基本理念」第2580地区	地区立法案検討委員長	土居 岩生
14:40	休憩		2階、5階、6階に移動
14:50	グループディスカッション①		2階、5階、6階にて開催
15:40	休憩		
15:50	グループディスカッション②		
16:40	休憩		5階銀河へ移動
16:50	まとめ	第2580地区 地区立法案検討副委員長	鈴木 隆雄
		第2580地区 社会奉仕委員長	八木 敏廣
		第2580地区 地区立法案検討委員長	土居 岩生
17:00	点鐘	ガバナー	松浦 光紀
	諸事お知らせ	地区副代表幹事	石川 稔



ガバナー挨拶



国際ロータリー第2510地区ガバナー
松浦 光紀

本日はご多忙な中、地区指導者育成セミナーに多数のご参加を頂き感謝申し上げます。

今回のセミナーは、ロータリーの基本理念について学び、戦略計画を理解され、クラブ活動の促進を促すことを目的として、クラブのより活性化を促すセミナーとなることを目的としています。

今回のセミナーには、第2580地区より講師として、地区立法案検討委員長 土居岩生様、及び補助を勤められる、八木敏廣様、鈴木隆雄様のご協力を得て開催されます。また、地区ガバナー補佐の方々、地区委員会の委員長、RLI委員会の平川香織委員長をはじめとするファシリテーターの方々のご協力を頂いて開催いたします。是非、ご講演や参加者の皆さまのディスカッションを通じ、ロータリー活動に係る、考え方や地域での奉仕活動に対するアイデアが育まれることを期待申し上げます。



地区指導者育成セミナー

ロータリーの基本理念

RI第2580地区
地区立法案検討委員長 土居 岩生

創立90周年を迎える札幌（1933年創立）・小樽（1934）・函館（1935）・室蘭（1936）等の居る歴史と伝統のRID2510でお話しさせていただく機会を有難く思います。

1940年にRIから脱会した日本のロータリーは、戦後1949年にジョージ・バーンズ氏（当時は副事務総長）のご尽力により復活し、東京クラブをはじめ7番目のクラブとして札幌RCが復帰しました。（1949年5月2日）

その際復帰の条件として、5項目示されたそうです。（前提として定款細則の順守）

- (1)毎週例会を開くこと
- (2)職業分類の原則を忠実に守ること
- (3)地区ガバナー制度を超える、地区又は地域的組織ないし管理運営体制を設けないこと
- (4)米国通貨を基準にして人頭分担金を支払うこと
- (5)RIの国際行事たとえば国際大会、地区大会などに積極的に参加すること

さて、現在の状況は(5)項目と比較するとどうなっているでしょう！

その良し悪しを前向きに考える基礎として、“ロータリーの基本理念”を皆さんと考えてみたいと思います。

規定審議会後3年毎に手続要覧が発行されます。

ロータリーの基本理念として、2022版は11項目が列記されていますが、ロータリーの目的・



四つのテスト・中核的価値観・決議23-34が特に理解して頂きたい。

本日お渡しした資料の中に、“ロータリー基本情報”という小冊子が入っていますが、わりとわかりやすく書かれているテキストだと思いますので、皆さんにプレゼントします。1996年をピークとして会員の減少が始まり、1996年以降も会員が増加すると想定していたRIは、DLPからCLPに切り替え、そして、活気あるクラブを作るにはどうすれば良いかを戦略計画の名のもと“ロータリーの戦略計画”を進めています。組織の力は、“人数と資金力と情報力”だと思います

が、それが現在の会員増とロータリー財団への寄付集めとなり、やや奉仕の理念が置き去り傾向にあるのではないのでしょうか。

RIの声明として、“ロータリーとは人道的な奉仕を行い、全職業界における道徳的水準の高揚を奨励し、全世界に善意と平和を築くために国際的に結ばれた職業人の団体である”としています。

ロータリーの目的にある、“奉仕の理念”とは「利己と利他の調和」の心、「他人を思いやり、

そして他人のために尽くす」と理解して良いのではと思います。

終わりにポールハリスの言葉から

「奉仕」という言葉より「役に立つ」という言葉の方がより控えめであって、恐らくはるかに適切であろう。ロータリーは実業人の団体なのだ。そして実業人というものは大地に足を踏まえていたのだ。

Profile 講師プロフィール

◆ ロータリー歴

1996年1月10日 東京お茶の水ロータリークラブ入会
2010-2011年度 クラブ会長

◆ 地区役員歴

2011-2012年度 地区国際奉仕委員長
2012-2013年度 地区財団委員会特命委員
2013-2014年度 中央分区ガバナー補佐
2014-2015年度 地区拡大増強委員
2016-2017年度 地区クラブ奉仕委員長、地区研修サブリーダー
2017-2018年度 地区研修サブリーダー、立法案検討委員
2018-2019年度 地区研修サブリーダー、RLI準備委員会副委員長、立法案検討委員
2019-2020年度 地区RLI副委員長、立法案検討委員
2020-2021年度 地区RLI委員長
2021-2022年度 地区RLI副委員長
2022-2023年度 地区制定案・決議案検討委員
2023-2024年度 地区立法案検討委員長

グループディスカッション

土居講師による講演終了後、20グループに別れて下記のディスカッションテーマに基づきグループディスカッションを行った。各グループには、ファシリテーター（進行役）1名と書記1名がついてディスカッションを進行させた。同じテーマについても、クラブやロータリアンによって捉え方の違いや実施方法の違いがあり、参加したメンバーからは勉強になり、刺激を受けたとの感想が聞かれた。ディスカッションを通じて参加者が様々な意見を聞くことができ、ロータリーに対する捉え方に新たな幅を得ることができたと思う。

ディスカッションテーマ

「参加を促す」

01 ロータリーに入会した理由

【質問】① ロータリーに入会した理由は何ですか

② もし1905年2月のロータリー創立時にポール・ハリスらから一業種一会員の5人目の会員として誘われたら参加しますか。

その時は混沌とした時代でしたが、親睦と相互扶助のためでした。

02 新会員に参加を促す方法

【質問】① 例会に参加を促す方法

② 奉仕活動に誘う方法

③ 親睦活動にどんなものがありますか

④ ロータリーの魅力は何でしょう

⑤ 新会員の時参加する楽しさは何ですか

03 クラブの未来をどうすべきか

【質問】① クラブの未来計画を立てる



「ロータリーの基本理念について」

04 ロータリーの目的

- 【質問】① ロータリーの目的のなかで、職業に関する部分はどこですか。
ファシリテーターが読みながら説明してください。感想はいかがですか
- ② 気に入っている文章はありますか

05 中核的価値観

- 【質問】① 親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップを覚えていますか
- ② ロータリアンの特質であると言っていますが同意しますか

06 多様性、公平さ、インクルージョン

- 【質問】① ロータリーのビジョン達成のために、この文化を培う必要があるこの標語は、
ロータリー以外でも使われています。どう思いますか

07 四つのテスト

- 【質問】① 「四つのテスト」を覚えていますか
- ② 職業奉仕の標語と思いますか

08 決議 23-34

- 【質問】① 1923年は世界や日本ではどんな社会でしたか
- ② なぜこの決議23-34が必要でしたか

「ロータリーの戦略計画」

09 参加者の基盤を広げる

- 【質問】① 人間関係を築く方法を開発する何かいい方法がありますか
- ② 多くの人がロータリーに参加する機会を作る
- ③ ロータリーの開放性とブランドを認知させる。同意しますか

10 参加者の積極的な関わりを促す

- 【質問】① クラブ会員の積極的参加を支援する
- ② クラブ会員以外の人間関係を広げる機会を提供する
- ③ リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

グループディスカッション参加者

① グループ

ファシリテーター

宇戸 啓隆 赤平 RC

書記

鈴木 崇史 小樽南 RC

参加者

武田 佳彦 留萌 RC
西島 義孝 栗沢 RC
葛西 純一 札幌西北 RC
大友 累 札幌東 RC
北條 篤 余市 RC
松浦 敏美 伊達 RC
浅野 翼 函館セントラル RC
湯谷 和彦 苫小牧北 RC

② グループ

ファシリテーター

菊田 政徳 江別 RC

書記

石川 稔 小樽南 RC

参加者

西原 正幸 留萌 RC
兼子 弘詔 江別 RC
伏木 進 札幌東 RC
白石 勇 蘭越 RC
大光 力 伊達 RC
中原 勝司 函館セントラル RC
菅野 秀俊 苫小牧北 RC

③ グループ

ファシリテーター

藤城 英明 札幌北 RC

書記

栗原 清昭 札幌北 RC

参加者

寺島 康宏 深川 RC
堀井 豪 江別 RC
松山恵美子 札幌西北 RC
渡辺 哲則 札幌東 RC
山田 一晴 蘭越 RC
武田 和朗 室蘭 RC
佐々木龍也 函館セントラル RC
鈴木 武幸 白老 RC

④ グループ

ファシリテーター

山口 史朗 札幌東 RC

書記

野村 定弘 小樽南 RC

参加者

圓淨 貴之 深川 RC
雉子谷 明 江別西 RC
西 智樹 札幌西北 RC
大谷 莊佐 札幌南 RC
大川 武志 恵庭 RC
中野 達雄 室蘭 RC
輪島 幹哉 函館セントラル RC
田代 佳充 白老 RC

⑤ グループ

ファシリテーター

佐藤 慶一 小樽 RC

書記

湊 亨 小樽南 RC

参加者

成田 雅敏 深川 RC
宮崎 英治 江別西 RC
海野 均 札幌西北 RC
池田 達昭 札幌南 RC
川口 了久 恵庭 RC
荒井 孝亘 室蘭東 RC
岩川 信子 函館亀田 RC
三栖 裕司 小樽南 RC

⑥ グループ

ファシリテーター

前田 利和 恵庭 RC

書記

地山 敬胤 小樽南 RC

参加者

田中 潤 芦別 RC
橋本 淳一 江別西 RC
渡邊 葉子 札幌西北 RC
佐藤 嘉一 札幌南 RC
前田 浩志 千歳 RC
森 秀樹 室蘭東 RC
高木 和良 函館亀田 RC
山谷 憲弘 小樽南 RC

⑦ グループ

ファシリテーター

久保 佳幸 浦河 RC

書記

太田 宏司 小樽南 RC

参加者

多田 康司 芦別 RC
宮司 正毅 当別 RC
佐々木雅之 札幌幌南 RC
宮川 浩一 千歳 RC
藤井 徹也 室蘭北 RC
田畑 裕士 江差 RC
吉田 幸洋 七飯 RC

⑧ グループ

ファシリテーター

鈴木 高士 登別 RC

書記

小林 英夫 小樽南 RC

参加者

山内 勝人 砂川 RC
武田龍太郎 当別 RC
姫野 芳安 札幌北 RC
志田 勇人 札幌幌南 RC
桑島 昌子 千歳セントラル RC
若木 康夫 登別 RC
大口 範晃 江差 RC

⑨ グループ

ファシリテーター

宮村 拓郎 七飯 RC

書記

前川 勝美 小樽南 RC

参加者

沢田 広志 砂川 RC
福山 眞司 札幌 RC
蓑輪 隆宏 札幌北 RC
小里 学 札幌幌南 RC
望月 秀則 千歳セントラル RC
石田 佳久 登別 RC
廣田 友博 函館五稜郭 RC

⑩ グループ

ファシリテーター

高橋 康則 苫小牧北 RC

書記

堀内万記子 小樽南 RC

参加者

岡本 織絵 赤平 RC
武部 幸紀 札幌 RC
吉井 千博 札幌北 RC
長沢 祐純 札幌幌南 RC
小西 教夫 長沼 RC
三浦 潤介 洞爺湖 RC
窪田 良弘 函館五稜郭 RC

⑪ グループ

ファシリテーター

齋藤 聡 岩見沢 RC

書記

山田 厚 小樽南 RC

参加者

早坂 喜幸 赤平 RC
富岡 俊介 札幌 RC
清水 和義 札幌ライラック RC
森尾 薫 札幌幌南 RC
花輪 博一 長沼 RC
小田原香織 洞爺湖 RC
松井 明子 函館東 RC

⑫ グループ

ファシリテーター

西方 洋昭 岩見沢 RC

書記

佐藤 喜典 小樽南 RC

参加者

鷲尾 昌法 滝川 RC
佐藤 勉 札幌はまなす RC
谷本 泰則 札幌ライラック RC
南部 賢 新札幌 RC
岡本 憲幸 北広島 RC
松浦 仁 森 RC
吉村 昭夫 函館東 RC

⑬ グループ

ファシリテーター

長田 正文 : 岩見沢東 RC

書記

白石 亨一 : 小樽南 RC

参加者

前野 史賀 : 滝川 RC
前田 元照 : 札幌はまなす RC
北島 正之 : 札幌真駒内 RC
井筒 徹 : 岩内 RC
藤田 真司 : 北広島 RC
鈴木 正幸 : 森 RC
山下 拓郎 : 函館北 RC

⑭ グループ

ファシリテーター

佐藤 友美 : 小樽南 RC

書記

大淵 勝敏 : 小樽南 RC

参加者

江本 勝典 : 岩見沢 RC
小川 正人 : 札幌モーニング RC
川村 明伸 : 札幌真駒内 RC
山本 満弘 : 岩内 RC
大坂 直人 : 由仁 RC
嶋崎 修一 : 森 RC
新関 一夫 : 北斗 RC

⑮ グループ

ファシリテーター

北川 好和 : 札幌幌南 RC

書記

廣部 隆夫 : 小樽南 RC

参加者

大西 健夫 : 岩見沢 RC
内田 芳史 : 札幌モーニング RC
真鍋 昌市 : 札幌清田 RC
松倉 弘 : 小樽 RC
東山美夜子 : えりも RC
島野 祐司 : 森 RC
米塚 弘悦 : 北斗 RC

⑯ グループ

ファシリテーター

斉藤 朋博 : 札幌幌南 RC

書記

半田 善行 : 小樽 RC

参加者

伊澤 珠樹 : 岩見沢東 RC
宮坂 勝文 : 札幌手稲 RC
中島 永昭 : 札幌清田 RC
渋谷 繁男 : 小樽 RC
傳法 貴司 : えりも RC
山崎 真護 : 森 RC
尾野 仁昭 : 苫小牧 RC

⑰ グループ

ファシリテーター

西村 英晃 : 恵庭 RC

書記

新倉 吉晴 : 小樽南 RC

参加者

早坂 哲 : 岩見沢東 RC
久末 晃介 : 札幌手稲 RC
OIDOV BATBAYAR : 札幌大通公園 RC
関 光治 : 小樽 RC
菅 真一 : 浦河 RC
村松 和弘 : 長万部 RC
渡邊 武志 : 苫小牧 RC

⑱ グループ

ファシリテーター

土居 岩生 : 東京お茶の水 RC

書記

盛 昭義 : 小樽南 RC

参加者

山崎 信治 : 栗山 RC
高張 秀人 : 札幌手稲 RC
菅原 秀二 : 札幌大通公園 RC
神野 剛久 : 小樽銭函 RC
角 健 : 長万部 RC
佐野 元健 : 浦河 RC
佐藤 史典 : 苫小牧東 RC

⑬ グループ

ファシリテーター

鈴木 隆雄 東京江東 RC

書記

佐藤 勉 小樽南 RC

参加者

小澤 茂晴 栗山 RC

伏木 淳 札幌西 RC

和田 一仁 札幌東 RC

笈川 長生 小樽銭函 RC

山田 久麿 静内 RC

二本柳慶一 函館 RC

南沢 雄二 苫小牧東 RC

⑭ グループ

ファシリテーター

八木 敏廣 東京新宿 RC

書記

三輪 俊之 小樽銭函 RC

参加者

中田 信広 栗沢 RC

小川 義明 札幌西 RC

河原 昌文 札幌東 RC

木村 英司 余市 RC

在田 恒昌 静内 RC

野口 純平 函館 RC

山田 新一 苫小牧北 RC



ファシリテーター所感



RI 第 2580 地区
地区立法案検討委員会副委員長

鈴木 隆雄 (東京江東 RC)

地区大会の指導者育成セミナーに参加させていただき、ありがとうございました。

今年度の指導者育成セミナーは、講演とテーブルディスカッションの2本立てでした。講演は時間を多く使っても得るものが限られるので、全員参加型のディスカッションを併用することになりました。議論を通して自クラブの状況を説明したり、他クラブの話を聞いたりして、お互いに理解を深めることができましたと思います。RLI方式のディスカッションでは、リーダーの役割は「語るな、語らせろ」ですが、今回は必ずしもRLI方式にとらわれず、研修意図も取り入れて、「この件については覚えてください。」という場面もあったかと思います。特に「ロータリーの基本理念」、「戦略計画」では、基礎的な部分で避けて通れない点があります。それは理解していただけたかと思います。

ディスカッションリーダーとして参加された方のなかには、初めてのリーダー役の方もいて、緊張されたようです。しかし、終わってみればしっ

かりと役割を果たされていた、と聞いております。また受講者である会長・幹事も、発言内容、回数とも十分な内容であったと思料しています。このディスカッション方式は、クラブでも行えますし、自身の会社でも利用することができます。出席者全員に発言してもらうことは、次の世代のリーダーを育てることに繋がります。

ご協力ありがとうございました。



ファシリテーター所感



RI 第 2580 地区
社会奉仕委員会委員長

八木 敏廣 (東京新宿 RC)

はじめに、今回地区指導者育成セミナーに参加させて頂き、大変お世話になりました。また、私も大変勉強させて頂き感謝致しております。

第一印象は、2510地区(北海道西部)は広域で地区大会に結集する事も大変だな～、その点東京は恵まれていると再認識した事です。

また、私達の大会は業者に丸投げする場合は殆どですが、貴地区の大会は端々に手作り感を感じその運営に親しみを感じた次第です。

さて、ディスカッションですが貴地区では「会員の参加を促す」為に奉仕活動に合わせて例会日を移動したり、例会日にクラブ行事を行ったりと会員が参加しやすい運営方法を採用しているクラブが多い事が分かり、逆に勉強になりました。「ロータリーの戦略計画」に付きましては会員増強に苦慮しているクラブが多い事、また、新入会員オリエンテーションや会員向けの研修が殆ど行われていない事が分かりましたので、私が所属する東京新宿RCの実例をご案内し参考にして頂きました。

そしてご提案は、貴地区指導により各クラブにクラブ研修リーダーを設置して頂く事です。クラブ研修リーダーにはRLI研修を卒業されたファシリテーターの資格をお持ちの会員に就任頂いては如何でしょうか？

クラブ研修リーダーが新入会員のオリエンテーションや会員研修を担当され、会長と一緒にクラブの活性化に尽力されれば会員の増加にも役立つのではないかと考えます。



ファシリテーター所感



RI 第2510地区
RLI 委員会委員長

平川 香織 (札幌手稲 RC)

今年度指導者育成セミナーは、ロータリーの基本理念について学び、ロータリーの戦略計画を理解し、クラブ会員の活動への参加を促す重要性とその方法を探り、クラブの未来ビジョンを考えることをテーマとして、講演と2つのセッションを行いました。2つのセッションは、会長・幹事を対象とし、20グループに分かれ、それぞれにファシリテーター（進行役）1名と書記1名を配置し、テーマについてディスカッションいたしました。参加者の皆様は、例会や奉仕活動への会員の参加についての悩みや自クラブの課題から未来ビジョンの計画についてなど、クラブ運営に関わるテーマで活発な意見交換が行われました。また、ファシリテーターは講師の3名様と10名のガバナー補佐と7名のRLIファシリテーターにお努めいただきました。初めてファシリテーターを行うガバナー補佐の皆様は緊張されていましたが、その経験の豊富さと笑顔でセッションをまとめてくださいました。オンラインも素晴らしいのですが、直に空気感を感じられるリアルのディ

スカッションは活発で絆が深まると改めて感じました。参加者もファシリテーターをお努めいただいた皆様にとっても有意義なものとなり、今後のクラブ活性化のお役に立てていただけますことを願います。ご協力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。



10月14日(土)
大会1日目

RI会長代理 歓迎晩餐会

《 グランドパーク小樽 》

※敬称略

17:00 登録受付開始

17:30 開会

RI会長代理入場

オープニング(能 仕舞)

開会のあいさつ

国歌斉唱

ガバナー挨拶

RI会長代理あいさつ

ご来賓の紹介

来賓祝辞

乾杯

開宴

アトラクション

閉会挨拶

ロータリーソング「手に手つないで」

19:00 閉会

司会・地区代表幹事 斎藤 仁

先導・パストガバナー 小山 司

コ・ホストクラブ小樽RC直前会長 遠藤友紀雄

コ・ホストクラブ小樽RC歴代会長 末永 通

コ・ホストクラブ小樽RC会長 渋谷 繁男

ガバナー 松浦 光紀

RI会長代理 服部 陽子

地区代表幹事 斎藤 仁

小樽市長 迫 俊哉

ガバナーエレクト 出村知佳子

野瀬 栄進 + 奥野 義典トリオ

コ・ホストクラブ小樽銭函RC会長 笈川 長生

ソングリーダー 湊 亨







開会の挨拶

コ・ホストクラブ小樽RC会長

渋谷 繁男

皆様こんばんは。コ・ホストクラブの会長の渋谷繁男と申します。服部陽子RI会長代理をお迎えして、歓迎晩餐会が小樽で開催できますことを心から感謝するとともに、歓迎いたします。また、2510地区のロータリアンの皆様、ようこそ小樽にお越しくださいました。大きな友情に深謝いたします。コロナ禍でこの数年、対面での地区大会が行われず、本日このような形態で開催できましたこと、感動しております。皆様方のお手元のパンフレットに掲載されている小樽運河は、今年で竣工100年を迎えます。この節目の時に小樽で地区大会、歓迎晩餐会が開催されることに運命的なものを感じます。各クラブの会長、幹事の皆様方、長時間にわたってセミナーとグルー



プセッション大変お疲れさまでした。この場ではリラックスし、ロータリアン同士友情と親交を深めていただきたいと思います。

服部陽子RI会長代理がおっしゃっていた、インクルーシブな雰囲気の中でこの会が進みますよう願っております。本日はどうもありがとうございました。

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2510地区ガバナー

松浦 光紀

こんばんは。今日一日、本当にご苦労様でした。皆様とこのような会を設けられて、私は本当に幸せだと思っております。また、たくさんのご来賓の方に来ていただきまして、ありがとうございます。

それでは、朝から会長・幹事会、地区指導者育成セミナーと、皆様お疲れだと思いますので挨拶はこのぐらいにして、乾杯の音頭に移らせていただきたいと思います。ありがとうございました。



国際ロータリー 会長代理挨拶

国際ロータリー会長代理

服部 陽子



皆様こんばんは。2750 地区パストガバナーの服部陽子でございます。ゴードン R.マッキナリー RI 会長の代理としてこの地区大会に伺わせていただいております。本日はこのように盛大な歓迎会を開催していただきまして、本当にありがとうございます。松浦ガバナーをはじめ 2510 地区の皆様方、そして他の地区からお集まりの皆様方とご一緒にこのような時を過ごすことができますのは、私におきまして大変嬉しいことでございます。

2510 地区には、1 年半くらい前でしょうか、ロータリー財団のポールハリスフェローの会がございましたときにお邪魔をさせていただきましたけれども、今回はご縁をいただきまして、RI 会長代理としてこのように地区大会に参加をさせていただきますこと、大変光栄に嬉しく存じております。2510 地区は、大変素晴らしいロータリアンの皆さんがたくさんいらして、歴史あるリーディング地区の一つであると思っておりますけれども、本日も早速、会長・幹事会、それから地区指導者育成セミナーに参加をさせていただきました。実は RI では、この 7 月から研修に関する名称が変わっております、研修をラーニングと呼び、リーダー

をファシリテーターと呼ぶようになりました。私は RI の研修リーダーという役目も仰せつかっていて、RI のラーニングファシリテーターということになるのですけれども、そこには、ロータリーでは研修を講義や授業のように行なってただそれを聞くだけというのではなく、学ぶ方がご自分からロータリーを知ろうと自習したり、意見交換会の中で色々な気づきを得ましょう、学んでいきましょう、そういう考え方がございます。本日の地区指導者育成セミナーは、まさに基調講演のようなお話があり、その後 20 ほどのセッションに分かれて、それぞれ本当に熱心に、私も参加させていただきましたが、ファシリテーターの方も熱心であり、会長・幹事会の方も大変良い意見をおっしゃっていて、学ばせていただきました。まさに今、RI がこういうスタイルで継承していこうというスタイルになっておりましたことに大変感動し、明日からの地区大会もますます楽しみになってきたところです。

この地区大会が、参加なさるおひとりお一人にとってインスピレーション溢れるものとなりますことを願っております。本日はありがとうございます。

小樽市長祝辞

小樽市長

迫 俊哉 様



皆様こんばんは。ただいまご紹介をいただきました小樽市長の迫でございます。本日は服部陽子 RI 会長代理を始め、各地からたくさんの皆様にこの小樽市にお越しいただきまして、心から歓迎申し上げます。また、歓迎晩餐会がこのようにたくさんの皆様のご参加のもと、盛大に開催されておりますことを心からお喜び申し上げます。また、皆様方には日ごろから各地区におきまして、さまざまなアクティビティーを通じ、まちづくりあるいは地域づくりにご尽力をいただいておりますことに心から敬意を表します。

ここ小樽は昨年、市制施行 100 年を迎えまして、先ほどご紹介がありましたが、今年は小樽運河が竣工してから 100 年という記念すべき年を迎えております。作家小林多喜二をご存じかと思えます。小林多喜二は、この小樽のまちのことを北海道の心臓のような都会と表現いたしました。北海道各地から石炭をはじめさまざまな物資が運び込まれ、そして小樽から各地に次々と物資が運び出されるさまを心臓、このように表現したのだと思っています。当時の小樽は、北日本随一の経済都市として発展を遂げました。当時建設されました銀行や商社がまだまちの中で

は現存しており、今では美術館だったり、あるいはレストラン、カフェなどに活用されておりまして、歴史的な個性豊かな町並みが小樽の特徴となっております。

また、11 月の 10 日・11 日には、先日 8 冠を達成いたしました藤井竜王の 3 連覇がかかる竜王戦の第 4 局がこの小樽で開催されることとなっております。その会場も明治時代に建設され、隣の余市町から移設された銀隣荘という旧鯉御殿で開催されることになっておりまして、これは国の登録有形文化財に指定されている建物であります。皆様方におかれましては限られた時間だとは思いますが、この小樽の歴史を感じ取っていただくとともに、この歓迎懇親会の中でより親睦、交流を深めていただければと思っております。

結びになりますが、各地区のロータリークラブの益々のご発展、そして本日ご参会の皆様方のご健勝を申し上げますとともに、明日の本大会が実り多いものとなりますよう、心から祈念申し上げまして歓迎の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

10月15日(日)
大会2日目

本会議

《小樽市民会館》

※敬称略

●午前の部

司会・地区幹事 拝田 昇、石橋八千代

8:00 登録受付

9:00 オープニング映像

点鐘

ガバナー 松浦 光紀

開会のあいさつ

地区大会実行委員長 岡崎 芳明

国歌斉唱

ロータリーソング「我らの生業」斉唱

ソングリーダー 湊 亨

物故会員追悼映像

歓迎の言葉

ホストクラブ会長 三栖 裕司

RI会長代理・ご来賓・役員紹介

ガバナーあいさつ

ガバナー 松浦 光紀

RI会長代理あいさつ

RI会長代理 服部 陽子

来賓祝辞

北海道知事 鈴木 直道

(代理:後志総合振興局 局長 猪口 浩司)

小樽市長 迫 俊哉

(代理:小樽副市長 上石 明)

9:40 RI現況報告

RI会長代理 服部 陽子

10:00 地区現況報告

ガバナー 松浦 光紀

10:10 参加クラブ紹介

11:10 財団ワークショップ

「世界でよいことをしよう」ワークショップ 第1地域RIファシリテーター 中谷 研一

第1地域ポリオ撲滅コーディネーター 高柳 育行

PHSコーディネーター/R財団カウンセラー 羽部 大仁

第2地域恒久基金/大口寄付アドバイザー 杉岡 芳樹

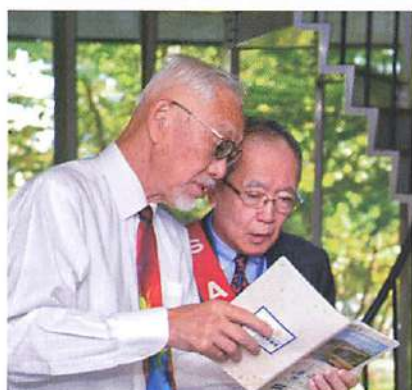
12:10 財団表彰

12:15 諸事お知らせ

12:20 昼食(休憩)

●午後の部

13:10	記念講演「歩きながら考える」	漫画家・随筆家 ヤマザキマリ
14:40	謝辞 休憩	ガバナー 松浦 光紀
14:50	表彰（RI会長表彰ほか）	ガバナー 松浦 光紀
15:10	直前ガバナーへの記念品贈呈 ガバナーエレクト挨拶 ガバナーノミニー挨拶 ホストクラブ会長挨拶 RI会長代理所感 お礼の言葉 RI会長代理へ記念品の贈呈	ガバナー 松浦 光紀 ガバナーエレクト 出村知佳子 ガバナーノミニー 玉井 清治 札幌北RC会長 姫野 芳安 RI会長代理 服部 陽子 ガバナー 松浦 光紀 ガバナー 松浦 光紀
15:30	閉会の言葉 点鐘 諸事お知らせ	大会副実行委員長 山村 弘一 ガバナー 松浦 光紀





地区大会実行委員長挨拶



地区大会実行委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)

この度、実行委員長を賜りました小樽南ロータリークラブ岡崎と申します。初めてのことで、皆様にご迷惑をおかけするかもしれませんが、ロータリーの温かい友情の精神にてお許しいただければ幸いに存じます。さて一昨日、地区大会ゴルフから始まりました。ゴルフも天気が良く、昨日も天気が良く、また今日も天気が良い。特に今日は、市民会館から別会場へと移動でございますから、天気が良いことが何よりでございます。これはひとえに皆様の徳かなと、思っております。

本日はお越しくださしましてありがとうございます。特に今回は服部陽子RI会長代理様、ご来賓の皆様、そしてRI2510地区の会員の皆様、多数お越しいただきましてありがとうございます。この数年間、コロナの影響でほとんど省略された形の地区大会しか開かれませんでした。しかし、今年は元のような大会をという、松浦ガバナーの意向によりまして、このような大会を開催させていただくことになりました。今年は本当にいろ

いろ盛りだくさんです。昨日の会長・幹事会後の地区指導者育成セミナーも、20のグループに分けてのワークセッションになりました。

今日も並行プログラムで新会員セミナーもありますし、また財団ワークショップもございます。昼食後は、ローマ人が現代にタイムスリップする『テルマエ・ロマエ』という物語の映画、その作者のヤマザキマリさんの「歩きながら考える」という講演を聞いていただきます。その後、グランドパーク小樽に移動していただきまして、大懇親会を開催する予定でございます。お時間の許す限り、皆様ご参加いただければ幸いに存じます。当クラブが地区大会を開催するのは34年前、初谷真一ガバナーで、RI251地区という頃です。34年ぶりのことです。先程申しましたが、不慣れな者ばかりが手掛けることでございます。手違いなど色々ありましようが、どうかロータリーの友情の精神に則ってお許しをいただければ幸いに存じます。それではどうぞ今日1日、地区大会をお楽しみください。ありがとうございます。

ホストクラブ会長挨拶



ホストクラブ会長
三栖 裕司
(小樽南RC)

国際ロータリー 2510 地区 2023 ～ 2024 年地区大会に開催にあたりまして、ホストクラブを務めます、小樽南ロータリー、コ・ホストクラブをお願いしました、小樽ロータリークラブ、銭函ロータリークラブの会員を代表いたしまして、歓迎の挨拶を申し上げます。本大会には RI 会長代理・服部陽子様をお迎えするとともに、ご公務多忙のところ、鈴木直道北海道知事、迫俊哉小樽市長のご臨席をいただきました。地区内・外からもガバナー、パストガバナー多くのロータリアンの皆さん、青少年の皆さんにご参加をいただき、このように盛大な地区大会を共有できることは誠に光栄の至り、幸甚で御座います。

さて、本年経験したことのないような暑さに加え、まだ、いまだにコロナの影響が残る中、当クラブ、先程申したとおり 34 年ぶりの地区大会、松浦ガバナー指揮の下準備を進めて参りました。何かと不手際、不行き届きがあろうとは思いますが、その際には寛容の精神をもってご容赦いただき、責務を果たして参りたいと思います。皆様

のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今期、松浦ガバナーは「地域に希望を育てよう」と地区目標を立てています。コロナ禍の 3 年間、オンライン WEB の中でも各ロータリークラブが継続的な奉仕友愛の行動を通じ、今まで以上に地域社会に貢献し、評価される行動になるように促されております。今回の地区大会の開催において、参加の皆様が本日の各プログラムを通してロータリーへの一層の理解を広められることとなりますよう祈念し、粗辞ではございますが歓迎のお言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

ガバナー挨拶



ガバナー
松浦 光紀
(小樽南RC)

おはようございます。高い席から本当に申し訳ないです。皆さんの顔がなかなか見えないのですが、本当に久しぶりにこのような会を開催させていただきまして、感謝申し上げます。私は今回、ガバナーとして各クラブを訪問させていただいておりますが、今、60クラブが終わりました。全部で68クラブ。あと8クラブということで、それぞれの今現在、いろいろなことを皆さんがご検討され、頑張っていらっしゃることがよく分かりました。しかし、その方向性に関して、どれも一つの答えというのが見つかりません。本当にそれぞれのクラブさんは、それぞれのクラブの中で頑張って目標を考えながらチャレンジしていただいていると感じました。

私達地区の仕事は、皆さん方をいかに支えていくかだと思っています。そういう意味で、もう少し深く勉強させていただき、皆さんの活動の援助をさせていただきたいと思っております。今日の会議の中でたくさんのいろいろな研修リーダーの方に来ていただいております。是非ですね、皆

さん方が少しでも明日の活動の糧になる、また参考になっていただければ、私はとても喜ばしいことだと思っています。

ちょうど今、国際ロータリーは過渡期にあるかと私は思っています。是非、皆さん方も頑張って踏ん張って、この状況を少しでも改善し、会員増強およびクラブの活性化にさらにご努力していただきたいと思っています。明日からまた新しいチャレンジをお願いしたいと思います。ありがとうございます。

国際ロータリー会長代理挨拶



国際ロータリー会長代理
服部 陽子
(東京広尾RC)

皆様、本日は 2510 地区大会の開催、誠におめでとうございます。松浦ガバナーをはじめ、2510 地区の会員皆様に心よりお慶び申し上げます。2750 地区パストガバナーの服部陽子と申します。

この度、ゴードン R. マッキナリー RI 会長の代理として、この地区大会に参加させていただきますこと、大変光栄に存じております。私の所属いたします 2750 地区というのは、東京都の真ん中に中央線が走っており、南北に分けてその南半分と、海外のグアム、サイパン、パラオ、チューク諸島といったロータリークラブが入っている地区で、地区大会も 10 年に一度はグアムで開催します。私がガバナーの年はグアム開催でしたが、50 年に一度という台風に見舞われました。今日のような素晴らしい天候の中で地区大会ができる松浦ガバナーを、心から羨ましく思っている次第でございます。

コロナウイルス感染拡大の 3 年以上の間、この世界は辛い試練の時を過ごしてまいりました。

しかし、そんな時だからこそ、ロータリーはその力を発揮して奉仕活動を続けてまいりました。そして、感染が収まりを見せた今、このように皆様と対面での地区大会を開催できますことを、改めて幸せに感じているところでございます。

2510 地区を訪問させていただくにあたり、ホームページを拝見いたしました。トップページに出てきたのは、ロータリーのビジョン声明でございました。この声明は、ゴードン R. マッキナリー RI 会長が、世界中の会員がいつでもスラスラと言えるようにとおっしゃっている大事なものでございます。私は日本の 34 地区のホームページを見てまいりましたが、トップページにビジョン声明が載っているホームページを見たのは初めてで、大変感動いたしました。その 2510 地区に地区大会でお邪魔するということで、大変楽しみにして参りました。この地区大会が皆様にとって気づきの多い、インスピレーションあふれるものとなりますことを心より祈念申し上げます。

北海道知事代理挨拶



北海道知事代理
猪口 広治様

北海道庁の後志総合振興局の猪口です。鈴木北海道知事の出席が叶わず、メッセージを預かりましたので、代読させていただきます。

「国際ロータリー第2510地区の地区大会が多くの皆様のご参加のもと盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。松浦ガバナンスをはじめ、ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃から国際奉仕活動や青少年の健全育成などを通じて、地域の発展に多大なるご尽力をいただいておりますことに深く敬意を表します。

さて、エネルギーや原材料の価格高騰の長期化などが、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営に大きな影響を及ぼしており、住み馴れた地域で心豊かに暮らし続けられる環境をつくっていくことが、これまで以上に重要となっています。こうしたなか、地域社会のリーダーとして築いてこられたロータリークラブの幅広いネットワークを通じて、ポリオ根絶に向けた啓発活動や、胆振東部地震被災地への継続的な支援など、思いやりの心に満ちた様々な奉仕活動に取り組まれ

ており、ロータリークラブの皆様の存在は地域の中でますます大きなものとなっています。

皆様におかれましては、この大会を契機として、会員の絆をさらに深められ「地域に希望を育てよう」のテーマのもと、いっそうご活躍されますことをご期待申し上げます。道といたしましても暮らしを守る、未来を創る、地域と進める、という視点に立ち、コロナ禍により生じた変化を追い風に变え、足腰の強い地域経済の構築に取り組んでおります。道民の皆様の命と健康、暮らしを守り抜き、北海道の確かな未来をつくる取り組みを進めてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本大会のご盛会と会員の皆様の益々のご健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和5年10月15日、北海道知事・鈴木直道
代読、後志総合振興局長、猪口広治。

本日は誠にありがとうございます。

小樽市長代理挨拶



小樽市長代理
上石 明様

小樽市副市長の上石です。本日は、市長の迫が他の公務で出席が叶わず、私から歓迎のご挨拶をさせていただきます。

このたび、国際ロータリー第 2510 地区大会が盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、多くの皆様が小樽市にお越しいただきましたことを、市民を代表して心から歓迎申し上げます。ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃から様々な奉仕活動にご尽力をいただき深く敬意を表します。そして、松浦ガバナーをはじめ国際ロータリー第 2510 地区の皆様におかれましては「地域に希望を育てよう」をテーマに、地域社会の発展にご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本市は昨年、市制施行 100 周年を迎え、今年は小樽運河が完成して 100 周年という大きな節目の年にあたります。小樽運河は、運河保存運動という市民による活動の末、運河の半分を埋め立て、もう半分を残す現在の姿となり、やがて市外の方々をも惹きつける観光の要所となっ

ております。いわば民の力によるまちづくりの象徴的な存在と言えると思います。本市がそうであるように、どのような地域においても、まちづくりは行政だけではなく、市民や民間との協同が必要不可欠です。本市といたしましても、新たな 100 年に向けて、次世代を担う子どもたちのために、誰もが安心安全に生活できるまちづくりに取り組んでまいりますので、ロータリークラブの皆様におかれましては、これからも高潔なロータリー精神のもと、いっそうのご支援とご協力をお願い申し上げます。

また、本日お集まりの皆様におかれましては、小樽のまちを存分に楽しんでいただければ大変嬉しく思います。結びになりますが、小樽南ロータリークラブをはじめ、関係の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、本大会の成功を心からお祈り申し上げます。そして、国際ロータリー第 2510 地区の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、歓迎の御挨拶といたします。本日はおめでとうございます。

国際ロータリーの現状報告

世界に希望を生み出す Create hope in the world をテーマに

国際ロータリー会長代理 服部 陽子



ゴードン R. マッキナリー RI 会長に変わりました。国際ロータリーのお話をさせていただきたいと思います。写真はゴードン R. マッキナリー RI 会長と奥様のヘザーさんでいらっしゃいます。会長はイギリスのスコットランド、その首都エジンバラから電車で15分ほどのところ、サウスクイーンズベリー・ロータリークラブのご出身でいらっしゃいます。1月の国際協議会で直接お話をさせていただく機会がございましたが、大きい体にとっても優しいまなざしの、周りの人を包み込むような素晴らしいお人柄の方でいらっしゃいました。

さて、先ほどご紹介申し上げたロータリーのビジョン声明でございます。国際ロータリーは

2018年にこのビジョン声明を発表いたしました。私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。これがビジョン声明でございます。そして、このビジョン声明を達成するための行動計画を翌年に発表しております。

行動計画は4つの戦略的優先事項から成っており、①より大きなインパクトをもたらす。②参加者の基盤を広げる。③参加者の積極的な関わりを促す。④適応力を高める。の4つでございます。実は、この行動計画は5カ年計画で、今年度はその最終年度にあたります。これまでを振り返り、そして世界の中に適応していく、必要な変化を考えて修正を加えて次の行動計画に進んでいくという、そういう時でございます。

世界の会員数は長年120万人前後で推移をしておりましたが、コロナ感染拡大の間に減少の傾向があり一時は115万人台になっておりました。しかし最近少しずつ増加の傾向にあり、今は116万台に戻っております。そんな中、RI会長はRIテーマを「世界に希望を生み出そう! Create hope in the world」と発表されました。破壊的な戦争から世界が立ち直れるように、私たちは希望を取り戻し、そうすれば、持続可能

な変化をもたらすことが可能となります、とテーマを発表されました。

ではここで、マッキナリー RI 会長のお言葉をお聞きください。

「Greetings to all Rotary members across the globe. I'm humbled by the opportunity to serve as rotary president for 2023 and 2024. In the year ahead we will make progress towards eradicating polio and create hope in the world through service projects in the eradication focus. I want to spend a couple of minutes discussing another important way rotary to create last things changed this year. By focusing on mental health. People today are hurt. Many of them don't know how to ask for help but everyone needs a safe place or people of all ages and then all cultures can share trials then open up about life challenges. Rotary can be that place. And rotary we show comfort and care to each other. We invite our members to bring the whole authentic selves. And we move beyond the simple question of how are you to ask who you really are. Research shows that performing acts of kindness is the most effective step anyone can take to protect our sense of well-being and to make us more resilient to all the challenges life throws away. Mental Wellness is deeply personal to me. I know what it's like to see someone close to me suffer through adversity and silence and be eaten up by

it. But I have also witnessed the power of personal connections, the value of holding space to discuss emotional and mental well-being and the life saving impact of access to preventative care and treatment. So let's work together. To erase stigmas, reason wellness and prove access mental health services. So together we can support one another and our loved one and our club and our communities. Create hope in the world.

「世界中のロータリー会員の皆様に、御挨拶申し上げます。2023～2024年のロータリー会長を務める機会を頂き、大変恐縮しております。この1年、私達はポリオ撲滅に向けて前進し、撲滅に重点をおいた奉仕プロジェクトを通して世界中に希望を生み出していきたいと考えております。さて、今年度のロータリーが生み出す、もうひとつの重要な事についてお話したいと思います。それは、メンタルヘルスに重点を置くことです。現代の人々はとても心が傷ついていて、心に傷を抱えた多くの人達は、助けの求め方がわかりません。皆安心できる場所が必要であり、あらゆる年齢層、文化の人達で試練を共有することで、人生の課題が見えてくるのではないのでしょうか。ロータリーはそんな場所になり得るのです。安心と思いやりを示すことができるのがロータリーの私達なのです。ロータリーでは、メンバー一人ひとりが、ありのままの自分自身でいられるのです。研究によると、人に親切な行動をとることは、自己肯定感を守るために誰にでもできる最も効果的なことであり、人生のあらゆる困難により柔軟に対処できるようになることがわかっています。メンタルウェルネスは、私個人にとって非常に深い意味

をもっています。私の親しい人が苦難に飲み込まれていく様子は非常に心が痛みます。同時に私は人が繋がる力、精神の健康を保つことができる場所の重要性、精神的サポートへアクセスすることによって命が救われる力を目の当たりにしました。愛する人を守り、負の連鎖を断ち切るために、ロータリークラブやコミュニティを共にサポートしていきましょう。世界に希望を生み出そう!」

マッキナリー会長は、戦争やコロナウィルスで傷ついた心を癒していきましょう、ロータリーにはそういう力がありますと語っていらっしゃいました。そして2023～2024年度の会長イニシアティブ強調事項を次のように発表されました。平和の推進、メンタルヘルスへの取り組み、さらにロータリーには継続が大事であるということ、ご自身の国エジンバラに架かるフォース・ブリッジに例えて、ロータリーは年度から年度へと橋をかけていかななくてはいけないのだと強調なさいました。そして、ポリオの根絶はもとより、前年度のジェニファー・ジョーンズ RI 会長の時から強調事項となっております、DEIの推進、そしてさらにもう1年前の会長時代からの共通事項であります、女子のエンパワーメント、これを会長イニシアティブとされました。

世界平和を願う活動を 他者を重んじるロータリーの精神

さて、平和の推進、これは「Create for in the world」という会長テーマと強く結びついていくものです。また、メンタルヘルスへの取り組み、これは今、会長のスピーチを皆様お聞きいただいた通りでございますけれども、この2つの強

調事項のつながりというものを考えてみたいと思います。私たちは、世界中の誰もが安全な水が飲める、食べ物がある、そして読み書きが習える、病気になれば病院に行ける、そういう基本的なものを持てるようにすることが何より重要であると考えて、7つの重点分野を大事に奉仕活動を行っているわけでございます。しかし、この7つの重点分野は、平和の構築に欠くことのできないものであると思いますけれども、それだけで世界平和は実現できるのでしょうか?国連ニューヨーク本部にいらした井筒さんという方は、SDGsに関するレポートの中でこのようにおっしゃっています。「人間は心の生き物です。開発の指標や企業活動の評価はお金や物で測ることが多いものですが、一人ひとりの心の well-being への影響という視点がこれから大切になってくると思います」。

私たちは、重点分野の活動を行うのと同時に、人の心を豊かに育てていくということも大事なのではないかと思います。自分が自分だと、自分のことばかりを主張しているようでは、いくら衣食住は足りても世界の戦いは絶えないと思います。人の命を大切に思う心、人の痛みがわかる心、人の幸せをともに喜べる心、困難なことにも立ち向かえる勇気、そういう人の心を育てることが、世界平和のためには欠くことのできないことだと思っております。体に栄養や水が必要であると同じように、人の心にも潤いと栄養を与えていく必要があると思います。その両方があって、世界平和が実現できるのではないのでしょうか。

実際、私たちはロータリーの精神、他者を重んじる、その他者への愛というものは、他者から自分のことのように考え、自分より先に考え、傷ついた心を癒し、平穏で豊かな心にしていく、これ

こそロータリーのやるべき仕事であると思っております。7つの重点分野のような活動も行い、そして人の心を豊かにするという活動も行う。松浦ガバナーがおっしゃっているように、地域社会にも希望が訪れるようなニーズに応えていく。私たちロータリーには、たくさんの仕事がございます。今こそ勇気を奮ってその仕事をしようと立ち上がるべき時だと思います。

ロータリーという仲間と ともにクラブの活性化を目指して

そのためには、元気で活気に満ちたクラブづくりが必要になります。そこでマッキナリー会長の、もうひとつの強調事項であります、DEIが大きな役割を果たすことになります。これは皆様ご存じかもしれませんが、DEIのDはダイバーシティ＝多様性。ロータリーは、あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。Eはエクイティ＝公平さ。ロータリーはクラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つよう努めています。そしてIはインクルージョン＝一体性。ロータリーはあらゆる人が歓迎され、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます。世界中を変えていこうという元気なクラブでは、会員の一人ひとりが自分には仲間がいるのだという幸福感を味わっていることが大事です。また、自分が受け入れられているのだという満足感、自分の居場所がある安心感。こういったものが会員の心を満たし、やる気を起こし、活性化されたクラブへと導くものだと思います。そして、そういうクラブは世界中の人々が同じような思いになれるようにという活動を積極的に行っていけるのではないのでしょうか。

ロータリーのこのような活動を可能にしているものに、ロータリー財団がございました。ロータリー財団は、グローバル補助金や地区補助金やポリオなどに使われておりますけれども、プラスして災害救援補助金もございました。ウクライナへの支援、トルコ、シリアや最近起きたモロッコの地震など、緊急を要するニーズのための補助金が用意されており、私たちはここに寄付もできますし、またこの補助金を活用して奉仕プロジェクトを行うこともできます。ロータリー財団は、財務状況、説明責任、透明性へのコミットメントから、アメリカの奉仕団体を格付けするチャリティーナビゲーターという独立機関から長年にわたって最高評価である4つ星評価を受け続けております。1905年2月23日、シカゴで生まれたロータリーは、今年118回目の誕生日を迎えました。ポール・ハリスが友人を誘い4人で始まったロータリー。今は世界に約116万2000人の会員、3万6800のクラブがある組織となり、若い世代のローターアクトクラブも16万6000人の会員、1万1300のクラブがあります。今日、地区大会の日を迎えて、私たちはロータリーという伝統ある世界規模組織の一員であることを改めて認識したいと思います。ロータリー会員であることで、様々な素晴らしい友人に恵まれ、自身の成長の場を与えられていることに感謝したいと思います。ロータリーが未来につながる、そういう組織であるように、必要な変化に対応していきましょう。他者のために働くことの幸せ、感動を知り、その喜びを仲間と分かち合い、世界中の人々を笑顔にしていまいりましょう。ご清聴ありがとうございました。

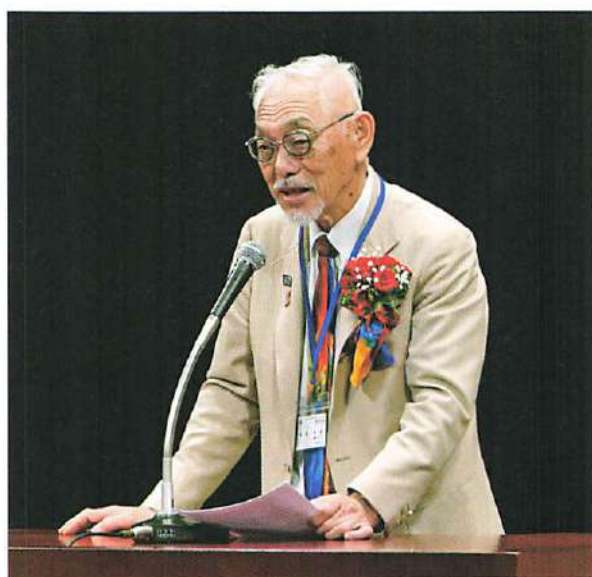
地区現状報告

素晴らしい若者たちを受け入れる、 そして派遣できる喜び

ガバナー 松浦 光紀

それでは地区の現状報告をさせていただきます。
当地区のクラブ数は69であり、衛星クラブが岩見沢ネクストロータリー衛星クラブ、札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブがあります。昨年度末の6月27日付けでRI理事会に函館五稜郭ロータリークラブに五稜郭すずらんロータリー衛星クラブが認可されました。当地区の会員数はコロナ禍以降減少の一途でしたが、その傾向が収まりつつあります。今年の期首会員数は2361名で、8月末現在では46名増の2407人となっております。徐々にではありますが、皆様の会員増強の取り組みの成果が表れてきており、引き続き、新規会員を勧誘し、会員維持率を高め、会員増強を図っていただきたいと考えております。

続いて、国際奉仕活動についてです。2022～2023年度の地区国際奉仕人道支援事業として、第3340地区・タイ東北部第3350地区、カンボジアでの水と衛生・環境の保護、教育支援の3つの重点分野の人道支援事業を、地区内35クラブからの申請をいただき、実施させていただきました。事業内容は、貧困地域の小中学校で水と衛生プログラム事業、タイ東北、カンボジア、ベトナム、ラオスの厳しい環境にある学生を対象とした教育支援事業、職業訓練校の学生を対象とした奨学金事業、さらに新しい重点分野、環境の保



護に着眼したりサイクルシステム構築及び環境教育のグローバル補助金事業についても実施させていただきました。

次に、ロータリー財団関係の奨学生の現況について。グローバル奨学金では、ロンドン大学衛生熱帯医学大学院・疾病予防と治療の奨学生1名、リバプール熱帯医学学校疾病予防と治療の奨学生1名、アメリカフレッチャー法律外交大学院で平和推進の奨学生1名、計3名が前年度グローバル奨学金を終了し、国境なき医師団、セーブ・ザ・チルドレン等の国際機関に就職し、アフリカやウクライナなど周辺諸国にて国際平和のために活躍されております。継続中の奨学生として、米

国エール大学生・水と衛生の奨学生が今年度中に Ph.d. 取得の予定です。さらに本年度、新たに疾病予防と治療 1 名がロンドン大学衛生熱帯医学大学院 Ph.d. 取得のために出発いたしました。地区補助金による奨学生も継続して輩出しており、チェコ共和国で学ぶ学生 1 名、スウェーデンでジェンダー平等社会制度を学ぶ学生 1 名、イタリアで声楽を学ぶ学生 2 名、計 4 名が留学継続中に加えて、本年度新たに米国コロンビア大学へ MBA 取得に向け 1 名、同じくマサチューセッツ工科大学院生、都市計画研究 1 名の計 2 名が出発いたしました。いずれも素晴らしい研究で、このような人々が日本にいらっしゃるんだというだけでも嬉しくなりますし、また海外で活躍してくるというのは、本当に素晴らしい事業だと感じております。

次に、米山奨学生の現況について。米山記念奨学生の状況は、2023 年 9 月末、総数は 17 名、中国から 6 名、マレーシアから 2 名、ベトナムから 2 名、モンゴル 1 名、スリランカ 1 名、サウジアラビア 1 名、ドイツ 1 名、台湾 1 名、韓国 2 名です。学校別では酪農学園大学に 2 名、室蘭工業大学 1 名、北洋大学 1 名、北海道医療大学 1 名、札幌国際大学 3 名、北海道大学 5 名、札幌学院大学 2 名、小樽商科大学 1 名、公立はこだて未来大学 1 名、2023 年 10 月から台湾より 1 名が北海道大学へ入学となりますので、合計で 18 名となります。以前は 22 名いましたが、なぜ減ったかという、寄付金が減ったと思うのです。ぜひ皆様方の寄付金を多くいただくように期待したいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、青少年交換学生事業の現況については、今年度受け入れた入学生は 2 名、今年度派遣学生 2 名。どちらもアメリカからですが、素晴らしい若者で、とても素敵な方々です。私たちはこういう

方々を受け入れたり、また派遣できるということは本当に嬉しいことだと思っております。

次に、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブについて。インターアクトクラブは現在 6 クラブで、北海道大谷室蘭高等学校、希望学園札幌第一高等学校、北海高等学校、北海道岩見沢緑陵高等学校、札幌龍谷学園高等学校、札幌山の手高等学校です。ローターアクトクラブは 5 クラブあり、内訳は函館大学、室蘭北、札幌、江南、赤平の 5 つです。ローターアクトについては、制度がかなり変わりましたので、ぜひ皆さん方のご協力をお願いしたいと考えております。

各種給付については、ロータリー財団に対しては 9 月 30 日現在、年次基金では 5 万 4690.61 ドル、ポリオプラスは 8049.88 ドル、その他の基金については 1378.47 ドル、恒久基金寄付は 70.92 ドル、合計 6 万 4189.88 ドルになっております。なお、昨年度に引き続き、ロータリーカードの申し込みを奨励しております。2022 ～ 2023 年度の実績では、オリコカードの実績が 2309 万 7000 円、ダイナースカードの実績が 1555 万円、合計 3864 万 7000 円で、そのうちの 0.3% にあたる 12 万 9000 円がポリオ根絶支援基金となっております。また、オリコカード、ダイナースともに当地区は、新規発行枚数は第 1 位地域で、トップでございました。関係者の方にお礼を申し上げます。公益財団法人米山記念奨学会に関する寄付については、9 月末現在では普通寄付は 371 万 4600 円、特別寄付は 302 万 9400 円、合計 674 万 4000 円です。今年度の目標は普通寄付 4000 円、特別寄付金 1 万 2000 円でありますので、地区ロータリーの皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。以上、地区の現況報告をさせていただきました。ありがとうございました。

財団ワークショップ 「世界でよいことをしよう」

講師紹介

なかや けんいち
中谷 研一 国際ロータリーラーニング・ファシリテーター

◆ ロータリー歴

1986年3月	国際ロータリー第2550地区足利東RC入会
1994-1998年度	地区世界社会奉仕委員会委員
1998-2000年度	地区世界社会奉仕委員長
2022-2023年度	足利東RC幹事
2002-2003年度	超我の奉仕賞受賞(ピチャイラタクルRI会長より)
2008-2009年度	足利東RC会長
2009-2010年度	地区功労者表彰
2011-2012年度	第2550地区第8グループガバナー補佐
2015-2016年度	国際ロータリー第2550地区ガバナー
2017-2018年度	地区RLI委員長兼地区代表、ロータリー財団功労者表彰
2017-2021年度	日本のロータリー100周年委員会記念事業委員会委員
2018-2019年度	国際ロータリー第3350地区(バンコク) 国際ロータリー会長代理
2019-2022年度	国際ロータリー第1地域 地域コーディネーターEMGA(恒久基金/大口寄付アドバイザー)
2019-2023年度	GETS/GNTSチームメンバー
2020-2023年度	国際ロータリー第2550地区規定審議会代表議員兼第1地域代表議員世話人
2020-2022年度	国際ロータリー第2550地区研修リーダー
2021-2022年度	国際ロータリー第2510地区大会(函館) 国際ロータリー会長代理
2023-2025年度	国際ロータリー第2550地区規定審議会代表議員
2023年	国際ロータリーラーニング・ファシリテーター
2023-2026年度	国際ロータリー第2550地区規定審議会代表議員兼第1地域代表議員世話人
2023-2024年度	国際ロータリー第2680地区(神戸) 国際ロータリー会長代理
2024年	国際ロータリーラーニング・ファシリテーター

◆ その他

ロータリー財団：AKS会員、PHS会員、遺贈友の会会員（レベル1）、ベネファクター

ロータリー米山記念奨学会：米山功労者（メジャードナー）

フィリピン関係：1998年—「Mirai-Ni-Kibou財団」設立、「未来に希望財団」設立会長

たかやなぎ やすゆき
高柳 育行 ポリオ根絶コーディネーター（第一地域担当）

◆ ロータリー歴

1988年	本庄ロータリークラブ入会（職業分類：口腔外科）
2008-2009年度	本庄ロータリークラブ会長
2010-2011年度	第2570地区 ガバナー補佐
2015-2016年度	第2570地区 ガバナー
2018-2019年度	第2570地区 地区研修リーダー
2018-2021年度	RLI日本支部地区代表委員
2018-2021年度	日本のロータリー百周年記念事業等委員会委員
2019-2024年度	ポリオ根絶コーディネーター（第一地域担当）
2020-2023年度	規定審議会地区代表議員
2022年	RI第ゾーン理事指名委員会委員
2022年～	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 選考・学務委員会委員

◆ その他

メジャードナー（レベル4）

ベネファクター

ポール・ハリス・ソサエティ

「疾病予防と治療」冠名基金設立

第19回米山功労者メジャードナー

すぎおか よしき
杉岡 芳樹 恒久基金 / 大口寄付アドバイザー (第二地域担当)

◆ ロータリー歴

1996年3月 相模原ロータリークラブ入会
2007-2008年度 相模原ロータリークラブ会長
2010年 GSE団長 (アメリカ合衆国東部第7890地区派遣)
2014年 相模原橋本ロータリークラブ特別代表
2017年 相模原ニューシティロータリークラブ新クラブアドバイザー
2019-2020年度 国際ロータリー第2780地区ガバナー
2021-2024年度 国際ロータリー第2地域 恒久基金 / 大口寄付アドバイザー (E / MGA)
2022年 相模原おださがロータリークラブ新クラブアドバイザー

◆ その他

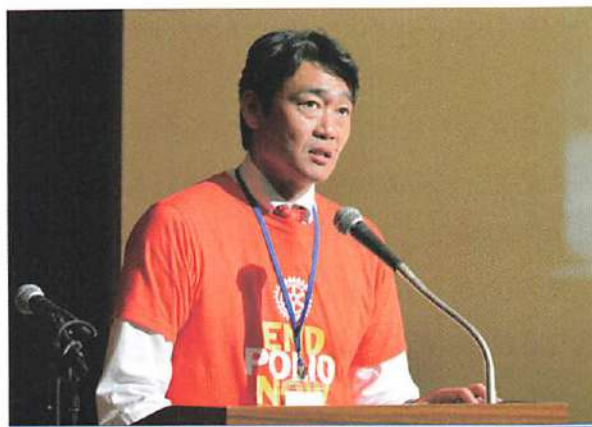
ポール・ハリス・フェロー / マルチプル・フェロー

ベネファクター / ポール・ハリス・ソサエティー会員 / 大口寄付者レベル4

米山功労者 / 大口寄付者



ワークショップ



地区財団補助金委員長

大川 武志 (恵庭 RC)

それでは、ただ今より「世界で良いことをしよう」ワークショップを開催いたします。ご挨拶が遅くなりましたが、私は総合司会を務めます地区財団補助金委員長の大川武志です。どうぞよろしくお願いいたします。まずは、本日パネリストとしてご登壇いただいております地域リーダーの方をご紹介します。

第 2550 地区足利東ロータリークラブ中谷研一 RI ラーニングファシリテーターです。

第 2570 地区本庄ロータリークラブ、高柳行第 1 地域ポリオ根絶コーディネーターです。

第 2780 地区相模原ロータリークラブ杉岡芳樹第 2 地域 EMGA です。

3 名の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

また、事前にお配りさせていただいておりますマルバツの札は皆さんお持ちでしょうか？ちょっと数に限りがあったので、お持ちでない方はジェスチャーのほどよろしくお願いいたします。それでは皆さん是非一緒にお楽しみください。これから皆様を「世界で良いことをしよう」の旅へ連れ

て行ってくれる方をご紹介しますいただきます。皆様もご存知の羽部大仁パストガバナーです。どうぞよろしくお願いいたします。



PHS コーディネーター／R 財団カウンセラー

羽部 大仁 (札幌南 RC)

皆さん、こんにちは。羽部でございます。皆さんはお菓子いただきましたか？今日はこのワールドカフェスタイルで皆さんにお召し上がりいただきながら、楽しく進めてまいりたいと思います。では早速ですが、皆さまに質問です。第 1 問、例会などで「世界で良いことをしよう」と聞いたことがあるかないか。全員○です。見えないんですけども。嬉しいです。第 2 問目です。「世界で良いことをしよう」が始まったのは 1901 年である。マルかバツか、ちょっと周りが見えたんですけれども、これは残念ながら 1917 年、ロータリー財団設立時の言葉であります。今から 106 年前になります。続いて第 3 問です。ポリオプラスのプラスが何かであると知っていますか？マルかバツ

か。すごい後ろの方はほとんど見えません。これは水へのアクセスや医療支援など様々なプラスの恩恵のことを言います。詳しくは高柳ポリオ根絶コーディネーターがお越しですので、後からお聞きになっていただきます。では会場の皆さん、また後ほどマルバツで会いましょう！



第一地域 RI ラーニングファシリテーター

中谷 研一 (足利東 RC)

医師としての夢を、 海外の活動を通して 叶えることになったこと

私は大学病院で研修を積ませていただき医師になりましたが、それをどこか地域社会に恩返しをしなければいけないと考え、離島や寒村に行きたいと思っておりました。学位をいただき、いざこの話を主任教授にしようかと思っている時に、医師の父親が急逝をいたしまして、約束通りに父のクリニックに戻ることになりました。

離島や寒村に行く夢が叶わなかったかと思えておりましたところ、ロータリーに誘われました。

活動していく中で、1991年にマニラの北西にあるピナツボ火山が噴火したのです。これが最大噴火のときでした。当時、栃木県の2550地区としてはどのような活動をするかということで、いろいろな地区のバスターや各委員長が協議した結果、この火山噴火に伴う被災者救援のための医療活動に決まったと聞いております。

その中で、地区の世界社会奉仕委員会の委員長をされていた鈴木成雄先生(故人)が「中谷、一緒に来い!」とおっしゃいまして、家内とともに1992年からのWCFの活動に参加したのがきっかけでございました。一度は諦めた夢が、国内ではなく国際社会で叶う。とくにフィリピンで活動ができることを非常に喜んだ記憶があります。

ここにお示しをしているものは、私が最初に行った場所です。これがピナツボ火山のもっとも火砕流のひどかったラハール地区です。ここはパラワン島という、当時は非常に貧しい町で、この公園で無料奉仕活動中に、この母親が皆さん何歳に見えるでしょうか?実は15歳で3人のお子さんがいます。ひとりのお子さんを、お金がなく無料で診てくれというのですが、私が診察した段階ですでに呼吸停止でした。救急病院に搬送してほしいとお願いしましたが、金銭的な問題で諦めてくださいというお話を受けたのが非常に印象的でございました。

恵まれない子供たちのため 「未来に希望財団」を設立

そしてこの当時、これは我々が私費で必要なお薬を購入して持参しました。たくさんの方が受診を希望され、我々が診た患者さんたちがニコニコ嬉しそうに笑いながら手を振って帰ります。

何人も何人もそうして帰るので、おかしいなと思って当地のロータリアンに話を聞きましたところ「実は彼らは、あなたが出した薬をお金に換えて生活費に充てている」と。非常に困惑した思いでした。その結果として、医療物資がとても不足するので、薬の売却を何とか止めてもらう代わりに、我々が必要な物資を持って行き、地域の社会福祉局経由で配布するなり、別な方法を考えてほしいということで、この医療奉仕の活動が進んでまいりました。

医療奉仕を通じては、いろいろなものが見えてきました。それは我々の想像を絶するような貧困生活の中の実態です。何の罪もない子供たちが犠牲者になっていることです。貧しくて学校に行けない、生活を維持するために売春をし、薬物に汚染されていく。多くの子供たちの悲惨な姿を見てまいりました。医療奉仕だけではこの社会の改善はできず、到底我々の単独の力では太刀打ちできない。この活動に何の意味があるのかととても葛藤しました。

その結果 1998 年、マニラの隣にあるケソン市に、恵まれない子供たちのための支援を目的とした「未来に希望財団」という財団を作りました。我々が帰国した後も子供たちのために、何らかのロータリー活動を継続してやっていただくためのものです。

そして 2001 年からは、足利東ロータリークラブ単独で活動を引き継ぐことになりました。無料の医療奉仕活動、そして性的虐待を受けた婦女子の社会復帰プログラム。これは現地にあります保護施設「HAVEN」、安住の地という意味ですが、ここに収容されている 100 名を超える婦女子をどのように社会に戻していくかという活動です。ここにミシンやオープンなどを寄贈しまし

たが、現在はこのオープンで焼いたオートミールクッキーがインターネットで販売されて、非常に大きな収入源になっているところです。

そして、我々の持つインターアクト、ロータリーアクトの子供たち、彼らが将来フィリピンの皆さんと手を携えて、新しい社会をつくるための交流事業を行うとともに、環境保全のプロジェクトでマングローブの植樹を行っております。ほかにも、麻薬の薬物汚染に防ぐためのフィジカル・エデュケーションとして、地区内にある栃木県の高校野球部の皆さんに野球道具の調達をお願いしたり、ほかにも小学校へ化学の実験道具や机や椅子の寄贈も行い、現地と足利の子供たちの交流も進みました。

ロータリー財団を使った グローバル補助金の推進を

また識字率を上げながら、将来フィリピンの未来を託す子供たちに大きなチャンスを与えたいということで、私たちのクラブが願いをして「未来に希望を子供図書館」を設立しました。今もサンフェルナンド市の教育委員会とタイアップをして、教育長 2 名を常駐させながら子供たちに本を読ませ、読書感想文の提出を義務づけながら、子供たちに文字を教えているところです。

青少年奉仕としては、修繕した車椅子をマニラに持って行き、社会福祉ショップに寄贈しながら必要な方々に配付し、その後の修理メンテナンスに関してはタイアップをしたアサンプション大学のインターアクトの子供たちがサポートを行う活動もあります。

フィリピンだけではなく、さらにロータリー財団の同額補助金ではなく、今度はグローバル補

助金を使ったプロジェクトを何か立ち上げていかなければならないということで、インドの 3750 地区、タイの 3350 地区にアプローチをしております。3750 地区、ジョードプルロータリークラブから救急車寄贈の要請があり、直接現地に行ってお話をしているところです。

タイではエマージェンシー施設で初めてグローバル補助金による活動を行いました。ここに 50×10cm くらいの青い箱があるのですが、これは、実は出産後に養育できない赤ちゃんをこの中に入れますと、重さで紐が引っ張られ、中でベルが鳴り、ジョードプルロータリークラブのサポーターがこの赤ちゃんたちを確保し、その成長を見守りながら養育をしていく。そのような活動です。バンコクのバーンケー地区というところはとくに、睡眠時無呼吸症候群や心筋梗塞の発生率が非常に高い地区で、何とか衛生教育をやってもらえないかということでした。

自分の眼で、自分の足で海外に出て、そして現実を確かめできることをひとつずつ積み重ねてもらいたいと思います。御覧いただきました通り、フィリピンばかりではなく、タイあるいはインドなど、さまざまな国で皆さまのサポートを待っているのです。ぜひロータリアンの気概とロータリーに対する情熱を持っていただいて、ロータリー財団を使ったグローバル補助金を推進していただきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



第1地域ポリオ撲滅コーディネーター

高柳 育行 (本庄 RC)

パキスタン5日間の 予防接種活動ツアーに参加

私は、パキスタンでの予防接種活動に参加したお話をさせていただきます。パキスタンには 2019 年 12 月と 2024 年 3 月、2 回訪問をいたしました。皆様ご存じのようにポリオの発症は 1988 年当時、126 カ国で 35 万人とも言われていましたが、今年は 9 件にまで減少いたしました。パキスタンは今、人口 2 億 5000 万人。6 年間で 3500 万人も人口が増加したそうです。私はパキスタンでもっとも南方のカラチというところに参加しました。羽田からバンコク経由で 15 時間近くかかります。

このお話をするにあたり、まずワクチンについてお話をいたします。ワクチンには経口生ワクチンと不活化ワクチンがございます。経口生ワクチンは比較的安くて、接種回数が 2～3 回、私たちが子供たちの口の中に 2～3 滴ワクチンを垂らせばよいので、素人でも簡単です。免疫力が獲得しやすい特徴がある一方で、野生株の感染が出てしまうデメリットもあります。一方の不活化

ワクチンは、簡単に言えば注射のようなものです。ですから、私だけではなく皆さんもこのワクチン接種活動に参加できるということでございます。

この活動は、5日間のツアーで中3日間。かなりハードでしたが本当にいろいろな機会をいただきました。パキスタンにはハイリスク地域にリソースセンターが9カ所あります。ここにはワクチンが保存されており、ポリオワーカーがここからワクチンを持って戸別訪問を行います。実はパキスタンの最前線で働いているポリオワーカーは28万人とも28万5000人とも言われておりますが、その62%が女性です。理由は、戸別訪問において男性は家の中に入ることができないからです。女性は家の中に入ることができます。したがって、我々男性が戸別訪問で同行する場合、子供を家から外に出していただけるとワクチン接種ができます。

これらの活動には、WHOの職員も同行していろいろな指示をいただきながら、相談しながら行われております。したがって世界ポリオ根絶推進活動はロータリー、WHO、UNICEF、CDC＝米国疾病管理センター、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団、Gaviという6つの団体でこの活動が進んでおりますが、WHOの支援なくしてはこれが進まないという状況でもあります。

ワクチン接種は駅や高速バス、 難民テントなどをくまなく回る

個別訪問でワクチン接種を行うほか、こうした駅でも行います。駅の場合には、駅のホームにいる子供を探してワクチン接種をしますので、男性のワーカーがたくさんワクチンの入ったクーラーボックスを持って、これを担いで駅の構内でとに

かく子供を探しまして、見つかる和我々がワクチン接種をさせていただく、こんな接種活動でございます。

もうひとつの方法は、高速バスを止めてのワクチン接種です。高速道路脇にはコンテナのシェルターが9つありまして、そのシェルターの中にワクチンが確保されていて、それを持って高速道路の高速バスを止め、バスに乗っている子供を見つけると、左の上の写真のようにワクチンを接種します。

こちらは、2023年8月から今年の2月まで、この場所でワクチン接種した子供の人数が示されています。8月が8万2200人、9月が9万178人、10月が9万4815人。このような数で考えますと年間で100万人近く、もしくはそれ以上の子供たちに、この1カ所の場所でワクチン接種を行っております。

また、難民の子供たちも同様です。とにかく根絶されない限りは、世界の子供たちはポリオにかかる。その危険をずっと持ち続けることになりますので、テント生活をしているような難民の子供たちにも接種活動を行います。問題なのは、全くインフラが整っておらず、水は給水車からペットボトルに水をくんで、テントまで運んで使うという状況です。非常に不衛生な環境です。そこでロータリーでは、浄水設備を設置して、地域の方々にきれいな水を届ける活動も行っております。ソーラーによる水のろ過装置はパキスタンで48カ所あるそうで、日本のロータリークラブでもグローバル補助金を使った浄水設備を提供しているクラブがあります。

これはパキスタンをオレンジ色と茶色の2色で分けた図です。ほぼ真つ2つになっておりますけれども、茶色のエリアに「Don't Travel」と書い

ています。「旅行してはいけません」という場所です。オレンジの方は必要な場合にトラベル旅行をしてもよい地域で、カラチもその1カ所に入っておりますが、女性にとって危険な国としてパキスタンは3位になっているんだそうです。いずれにしても女性のワーカーにとっては、非常に大変な仕事です。使命感に燃えた女性のワーカーたちが一生懸命ワクチン接種活動をしているということで、徐々にポリオの患者が減っているという現状を御理解いただけたらと思います。

ロータリーとして最優先に取り組む ポリオ根絶プログラム

皆さんに寄付や寄贈をいただきまして、ロータリーとしては5000万ドルというポリオプラスの寄付を目標として取り組んでおります。2021～22年度ロータリー財団の支出は3億3000万ドル、そのうちのポリオプラスに1億5000万ドルの支出をしていただいております。これが世界ポリオ根絶推進計画の活動を支援しているわけであり、実際には1億5000万ドルのうち、ロータリアンからの寄付・寄贈が5000万ドル、ゲイツ財団からの1億ドルの支援があつて1億5000万ドル、左に書いてありますように、ポリオプラスプログラムが成功裏に完了するまで、ロータリーとしては最優先に取り組んでいるプログラムでございます。

そういった中で、1億5000万ドルのうち昨年の12月に支出された1億ドル分、パキスタンは約40%が支援されております。私たちは微力ですし、今日皆様に私がお見せした写真かげ行ってみたくはないな」と思う人もいるかもしれませんが、でも、行くとさまざまな経験ができますし、

また新たな人と人のつながりもできます。でも、最後にお話をさせていただきましたロータリー財団の皆様の寄付、先ほども今日もここにポリオのTシャツを着て、多くの方がいらっしゃいますけれども、2510地区の皆様も何かイベントのときに、ポリオ根絶をテーマに募金活動を行っていただいていると思います。そうした募金も、パキスタンあるいはアフガニスタンに届き、早く根絶が達成できるよう願っている次第でございます。パキスタンに行かなくても、皆様もこの活動に協力はできます。ぜひご理解いただきながら、引き続きポリオ根絶にご協力をいただきたいと思います。ご清聴いただきましてありがとうございます。



第2 地域恒久基金／大口寄付アドバイザー

杉岡 芳樹（相模原 RC）

ただいまイメージ動画「りんごの木が育つ様子」をいただき見ていただきましたが、恒久基金について、わかりやすくお伝えする動画ではなかったかなと思っております。恒久基金によって今後いく世代にも渡りまして世界でよいことをすることが

可能となります。

ロータリーの恒久基金は、1982年に世界理解と平和のためのロータリー財団基金として創設され、後に恒久基金と改称をされました。安定した財源となる基金により、その目標を支えています。恒久基金に対するご寄付が今日の活動を支え、未来への持続可能なプロジェクトに必要な財源となります。それがさらに成長することで、今日のロータリーを支えるのと同時に、明日のロータリーを支える、世界でよいことをするロータリーの未来を支えることができます。

次に、冠名基金についてお話をさせていただきます。2万5000ドル以上のご寄付で、お好きな名前を付けた冠名基金を設立することができます。この冠名基金については、一括ではなく分割で2万5000ドルにすることができます。また、ご自身の冠名基金に追加をすることで、より大きな基金にすることもできます。冠名基金につきましては、基金名を自由に選択でき、記念にすることができます。また個人のみならず、クラブ、地区でも設立することができます。2510地区では、地区として平和センターの冠名基金をお持ちです。

恒久基金の寄付先は、寄付者の意向でお選びいただくことができます。こちらは支援プログラムの一覧です。これをご覧いただき、いろいろなものをお選びいただけます。先ほど表彰させていただきましたが、出村さんは環境のための基金ということで、お名前を特別につけて冠名基金を設立いたしました。

そしてこちらは、先ほど恒久基金は元金をそのままに、収益のみを奉仕事業に使うというお話しをさせていただきましたが、その投資実績の表でございます。直近、10年間の年換算利回

りは6.6%でありました。現在の日本と比較して非常に高いということがお分かりになると思います。基金が有効に投資をされ、大きな資金を生み出しているということがわかると思います。ロータリーは2025年までに、20億2500万ドルの恒久基金を築くという目標を立てました。例えば、純資産が10億ドルに達した際、利回りが4%であれば、寄付推進費や一般管理費、運営費などを含めて約4000万ドルの利用可能な収益が見込まれます。その金額が投資プロジェクトに使われるということでもあります。変化をもたらすロータリーのプログラムのために安定した資金を提供し、活動を支える力となります。明日を支えるご支援についてお話をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。



記念講演

「歩きながら考える」

漫画家・随筆家 ヤマザキマリ氏

Profile プロフィール

◆ 経歴

1967年東京都出身。

1984年に渡伊。

国立フィレンツェ・アカデミア美術学院で、
油絵と美術史を専攻。

1997年より漫画家として活動

『テルマエ・ロマエ』で第3回マンガ大賞、
第14回手塚治虫文化賞短編賞受賞。

著書に『国境のない生き方』（小学館）、

『男性論』

『ヴィオラ母さん』（文春新書）

『パスタ嫌い』（新潮社）『スティーブ・ジョブズ』（講談社）

『プリニウス』（とり・みきと共作 新潮社）『オリンピアキュクロス』（集英社）など多数。

エジプト、シリア、ポルトガル、米国を経て現在はイタリアと日本に拠点を置く。

平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

平成29年イタリア共和国星勲章コメンダトーレ 綬章。

東京造形大学客員教授

趣味：昆虫採集・飼育、南米文学と南米音楽、温泉巡り



17 歳からイタリアで暮らす

皆様、ご紹介にあずかりました。肩書き上では漫画家、文筆家、そして最近では画家という肩書もついています、ヤマザキマリでございます。今日はよろしくお願いいたします。小樽は何度来たか知れません。今から 25 年ほど前、数年ほど札幌に住んでいました。その時は札幌テレビ放送『どさんこワイド』という番組でイタリア料理を作ったり、温泉のリポーターをしていました。北海道中の温泉に入りまくった経験がその後、漫画を描くようになり『テルマエ・ロマエ』という作品に繋がることになりました。私はこの作品が、なぜか自分の意図に反してヒットしたことで、漫画家という職業が優先順位になっている状態なのですが、元々は絵描きになることを目指していました。

今、私は 56 歳ですが 1981 年、14 歳で最初に海外旅行をして、それから 1984 年、17 歳から日本を離れてイタリアで暮らしております。コロナ前は、2 週間以上同じ場所に定住することがほとんどありませんでした。日本とイタリアを行ったり来たり。それが 2020 年コロナ禍になって突然、その生活が遮断されてしまいました。あのダイヤモンド・プリンセス号の乗客が、船内のコロナ感染で大変なことになった時、ちょうど仕事でイタリアのミラノに戻っていました。ミラノから夫やその母が暮らす家に戻ろうとしましたが、義母が帰ってくるなど言うので、日本に戻りました。しかしその後、イタリアが大感染爆発して大変なことになりました。コロナのパンデミックが始まって世界で最初に大量の死者が出たのがイタリアだったのですね。

変わり者の家系から生まれた 変わった子供だった

そんなわけで、私も日本に帰ってから身動きがとれなくなり、本当に困りました。それまで、この日本のある種の固定観念だったり、とらわれた考え方に縛られそうになった時は、ずっと旅行をしたり、空気を変えるなどそれが私の中では当たり前でした。ですから移動ができないのは自分にとって、ある種の致命傷になるのではないかと不安がありました。例えば日本でひとつの価値観にとらわれる。しかし、イタリアに行ったらそれはどうでもいいことだったり、アマゾンなんかへ行くと、また全然違う価値観で生きている少数民族がいて、それらを見て帰国すると「あんなことはヘッチャラだな」と。それが私のルーティンでした。

そもそも私は、少し変わった子供でした。まず母親が変わっており、祖父母も変わっていました。祖父は 20 代から 30 代半ばまで、大正から昭和時代に米国で暮らしており、ロス・サンフランシスコ・シアトルの 3 拠点で東京銀行の支店を開設する仕事をしていました。祖父は、完全に脳がアメリカナイズされている状態で帰国し、結婚して私の母が生まれました。教育は完全にアメリカ式ですね。椅子の生活、会話は英語混じり。楽器など西洋的な文化に触れるのは子供時代の義務でした。それで母はバイオリンを習わせられていたので、のちに演奏者になるわけですが、そういう家なものですから、変わった母親に育てられることによって、私も他とは違う子供になったわけです。

母は人間として、文化的スキルは身に付けた方がよいと思ったのでしょう。私にピアノとバイオリ

ンを習わせたのですが、私は、音楽よりも絵を描くのが好き。好きだと言うのではなくもう、癖ですね。白い平面があると「何か書かなきゃいけない」という気持ちになっちゃうんですね。母が言うには家の壁紙に全てクレヨンで絵を描いてしまうので、壁紙をやめて漆喰を塗ってしまったというくらいでした。

小学校に入学するころ、自分がいよいよ本当に絵描きになることに固執し始めた時、母は「絵描きか…」と思ったわけです。食べていけない、潰しがきかないと。音楽のほうがまだマシだと。それでひとつの手段をとるわけです。ある本を私に買ってきて「絵描きさんになりたかった男の子のお話だよ」と。タイトルは『フランダースの犬』です。児童文学というのはたいていお爺さんと犬と子供の3要素が入っていて、お爺さんと犬だけで悲しい気持ちになります。案の定、お爺さんが先に死に、社会の理不尽や不条理が全て少年に降りかかってくるお話です。結局クリスマスの日、教会で凍えて餓死してしまうという。犬を道連れにして。何という話でしょうか。母は「ね。絵描きになるって大変だよ」と。「何だそれ」

とは思っていませんでしたが、この子供の生き方は問題があるなと、自分なりに思いました。

母はシングルマザーでした。最初の父親が亡くなってその後再婚するも別れてしまい、女手ひとつで私と妹を育ててくれました。非常に不条理な状態の中であっても、彼女は毅然と明るく楽しく生きていく人でしたから、私は『フランダースの犬』の少年の生き方には承服しかねました。母は結局、私は苦勞しても絵描きになりたいと言いつけるだろうと諦めたということです。

絵描き志望の中学生が 人生を変える、ヨーロッパ一人旅へ

中学2年生の14歳くらいになりますと、友達の教科書の余白を見つけては絵を描いてしまうような子になりまして、進路指導の先生から進路を尋ねられた時、自分の癖を自覚しまして「絵を描くことを生業にしようかと思います」と答えたら、先生に呆れられまして「真剣に考えろよ。絵なんかでどうやって食ってくんだよ」と。ああ、やっぱり『フランダースの犬』なのか?と思いつつも、



なぜだろうと思うわけですね。経済生産性のために生きているという考え方でなければ、仕事を選んではいけないのでしょうか？そうすると「文化はどうなるの？」という疑問が湧いてくる。母は実際、クラシック音楽を生業とし、オーケストラでありお給料をもらっていなかったようでしたが、でもそれなりに税金を払ってやりくりしているわけですね。しかし、絵では潰しがきかない。どうしたものかと悩んでいた時に、母が突然「クリスマスにドイツとフランスにいる友達にプレゼントを届けに行く約束をしていたのだけれど、オーケストラの仕事が忙しくなったから、あなたちょっと代わりに1か月くらい行ってきてくれない？」と言うのです。その辺に買い物行ってきてくれない？というノリで。私も私ですが、ふたつ返事で承諾しました。今だったらあり得ませんね。この旅が、その後の私の人生観を変え、人生の全てを変えることになってしまうのですね。

ルーブル美術館で フランスの文化を思い知る

この旅の話は長いので今日は端折りますが、とりあえず何もなく無事に1ヶ月間、ドイツ人、フランス人のお宅で暮らしました。最後は母の頼みで、ルーブル美術館でモナリザの本物の絵を見てきて欲しいというので、一人で行きました。しかし、黒山の人ばかりで全然見えないのです。私はすぐに諦めて、ほかの絵を見て回りました。ルーブル美術館に行かれた方はご存じかと思いますが、山のような絵画、山のような彫刻の数々で、とても1日では見きれないほどです。

ダヴィンチなど著名作家以外の、どこの誰かも分からない人の絵がびっしりと飾られる様子を

見て、こうしてフランスという国には、これだけ立派な建物の中に、人に見てもらうための作品たちの文化が歴然と存在しているのです。フランスでは保育園児のような小さな子供達が絵を見に来ていたり、小学生がそこで模写をしていたりという光景が見られました。このような環境であれば、私が絵描きになりたいと言っても『フランダースの犬』を見せられたりしないだろうなと思ったわけです。

実際、ヨーロッパで出会った人達に「マリは将来何になるんだ？」と聞かれ「絵描きになりたい」と答えたら「おお、頑張れ!」と言われるだけで「食えるのか？」なんて言う人はいませんでした。そのような絵画文化が根付いていて、経済生産性もなければ、税金もどれだけ払えるか分からない。けれども燃費の悪い生き方をした人の残したものは人々の大きな栄養素となる、私たちの精神的なひとつの糧となる、ということはよくわかっているわけです。芸術は、私たちのメンタリティーを支えるためになくてはならないものです。ルーブル美術館は、ある種のメンタリティー倉庫のようなものでした。

ベルギーでの マルコ爺さんとの出会い

ドイツからフランスに行く途中に一人の人との出会いがありました。ベルギーのブリュッセルで乗り換えをする時、どこを振り向いても、視界に入ってくるお爺さんがいるのです。移動してもその人がついてくる。これはついに狙われたと思い、列車が来るといち早く飛び乗り、コンパートメントに隠れて一人うずくまっていたら、そこにそのお爺さんが来たわけです。「さらわれる!」と思ったら、



そのお爺さんは私に向かって「お前は家出をしてきたのかっ!」「怪しい者につけられているんじゃないかと、さっきから心配だ!」と。「一番怪しいのはあんただよっ」と言いたかったのですが「お前の母親はクレイジーだ」とか怒っているわけです。行けと言ったのは母親なのですが…。お爺さんは「家に帰ったら、お前の母親から私に手紙をよこせ」と言って、住所を書いたハガキをくれたのです。

後日、言われた通りに母からそのお爺さんへ手紙を書いて送ってもらったところ、すぐに返事が来ました。そして意気投合して、会ったこともないのにふたりはメル友になっていました。私はその後、普通に高校に進学し、一応、美大志望と周囲には言っていたのですが、高2のころ、母がいきなり「マリさ、絵描きになりたいって言ってたじゃない?もう高校辞めてイタリアへ行きなよ」と言い出したのです。14歳の娘の一人旅もどうかしているけれど、今度は高校を辞めて?「行ってみてダメだと思ったら戻ってきて、高校へ入り直せばいいじゃん」などと言うのです。あとでわかったのですが、マルコ爺さんは私があの旅でドイツとフランスにしか行っていないことに激怒していました。絵画を学びたいのになぜイタ

リアに来ないのかと。そもそも母も若いころ音楽で留学を希望していましたが戦争が始まり、行くことは叶わなかった。その夢を娘に託そうという作戦でしたね。私はイタリアなどよく知らなかったのですが、母の圧力に負け、高校を辞め、イタリアの美術学校に上がるための大学検定試験だけを受けました。

極貧生活の中で出産し帰国を決意

そしてイタリアに渡り、そこから『フランダースの犬』を地で行く、困窮極まる生活が始まるわけです。この話しも長いので端折りますが、絵描きになるということは、本当にお金に困ることなんだと身に沁みました。当時、日本はバブルの真ただ中。1984年から90年代にさしかかるころです。全身ブランド物を着てイタリアにやって来た友達が、貧し過ぎる私の姿を見て「移民かと思った」と言うほど、本当に私は大変でした。フィレンツェの美術大学で美術史の勉強をしながら油絵を描き、ガイドのバイトと、宝石貴金属を購入するバイヤー専門の通訳もしていました。しかし当時17歳の私は、家に帰るとガス・水道は止まり電気も消えて、電話も使えないという暮らしです。

また、イタリアという社会は、個人としての力がどこまであるかで評価される社会です。大学でも、このようなスピーチを常に人前でできる人間にならない限りは、単位が取れないのです。しかもイタリア人は事あるごとに問題を起こしたがる人たちですから、そういう人たちと向き合って生きていくとなると常にコミュニケーションをとり、自分の考え方を言語化できるスキルがなければいけない。そういったことを絵画や美術史

以上に、17歳からの留学で学んだような気がしています。

留学当初は家賃が払えず、男の子とシェアをして暮らしていました。そのうちその人と恋人同士になり、11年目にして子供ができてしまいました。私は結婚するつもりでしたが、彼のお母さんが亡くなった途端に彼は意気消沈。しかも、相手の職業は何か。詩人です。経済生産性のない絵描きと詩人で、生きていけるわけがないのです。だから、ガスも水道も止まり電気も消えてしまう。彼はプライドだけは高いので、皿洗いなんかをすると2日で辞めて帰ってきてしまうのです。非常に疑問に思った私は、子供を産み日本に帰って、何とか仕事をしようと決意して彼とは別れました。実際、分娩台に行って子供が産まれた瞬間、頭の中でくす玉がパーンと割れて「詩人さようなら!」って書いてあったという感じでした。帰国して新しい人生のフェーズに入り、その時に初めて漫画を書き始めたのです。

漫画家デビュー後に マルコ爺さんの孫と結婚

28歳で母のいる札幌へ戻りましたが、私はそれまで漫画を描いたことはありませんでした。漫画は「経済生産性の高い絵描きの仕事だよ」と、誰かに言われたことも頭にあり、乳飲み子を抱えて初めて見よう見まねで漫画を描いて出版社へ送りましたら、たまたまその編集部が私に一番下の賞をくださり、また、フィレンツェのルポルタージュ漫画を描いてみませんかということになり、かうじて絵で食べていける手掛かりがつかえました。それで、冒頭でも言ったように『どさんこワイド』のリポーターもやって、温泉に入りまくる仕事もし

ました。

母は、あのマルコ爺さんとずっと繋がっていたわけなのですが、マルコ爺さんが亡くなり、私がイタリア暮らしをやめても、母だけその娘夫婦と仲良くなり、イタリアの家に滞在するようになっていました。ある時母は、私にその家に来ないかと言うのです。それで4～5歳になった子供を連れて行ったわけです。そこにマルコ爺さんの娘の、大学生の息子がいまして、私と彼は3日3晩、古代ローマとルネッサンスの話を寝ずに語り明かしたわけです。彼は非常なおたくで、さすがマルコ爺さんの孫だなと思いました。私が帰ったあと、彼は悩みに悩んで心筋炎という病気になってしまい、入院先から息も絶え絶えの状態で電話がきまして「自分はまだ大学生だけど、息子さんとも気が合ったし、あなたと出会ってずっとローマの話ができたから結婚してくれませんか?」と言うのです。この人、結婚というものを分かっているのかしら?と思いました。最初の詩人の彼のときとは違って、当時私はもう経済的に困っていない状態でした。母はいつものようにゲラゲラ笑って「一回ちょっと結婚してみればいいじゃないの」なんて無責任なことを言い、でも結果的に結婚してしまいました。

彼が当時学んでいたのは、比較文学といって、アラビア文学とポルトガル語の文学と英語の植民地文学で、この世に本当に必要だろうか?と口に出そうになりましたが、熱心にカイロで勉強しているわけです。それでカイロのイタリア大使館で結婚式を挙げ、今度はエジプトへ移り、エジプトから彼の研究対象の土地、シリアへと移住しました。その後はポルトガルに7年間ほど住み、今度は米国シカゴ大学に入ることになりシカゴに移り、それからまたイタリアに戻りました。

ポルトガルで書いた 『テルマエ・ロマエ』が大ヒット

このような暮らしが、同じ場所に2週間と居ることができない自分のベースになっています。当時のシリアは、遺跡が当たり前にあり過ぎて、世界遺産の場所に遊牧民が住んでいたり、イスラム圏で感じた価値観の違いや、アマゾンで暮らす少数民族の命に対する価値観が、日本とはかなり違ったりします。いろいろな国に行くことで、自分の持っている価値観を押し付けられないのがこの世界なのだと痛感しました。私たちはグローバリゼーションという言葉は簡単に使いますが、世界というのは一筋縄ではいかないなと。そうこうしている時にポルトガルで書いた『テルマエ・ロマエ』がヒットしてしまい、それで日本とイタリアを往復する生活が始まりました。

そこで発生したのが著作権問題でした。私とはとにかく何でも言語で戦わないと生き延びられない国にいましたし、極貧生活とも闘ってきました。イタリア人は猜疑心が強く、家族すら信じていないみたいなのがあって、それぐらい歴史的にさまざまな経験を繰り返してきた国なので、言われたことをまるっと信じることはできなくなってしまうのですね。私もそのころは若かったですし、よくわかっていなかったこともあり、映画自体は興行収入100億円とか言われていますが、映画が100億円儲かったからといって、私がリッチになるわけではないので、みなさんご了承くださいとテレビに出て言いました。するとものすごい炎上してしまい、週刊誌に「物言う漫画家」とか書かれました。逆に言えば、なぜ今まで誰も発言していなかったのかと、そのころはいつも怒っていましたね。しかし、日本では何でも言え

いということではないし、日本には日本のやり方があるのだなとも思いました。

日本で暮らすイタリア人は「日本の人は、みんな親切で笑顔だけれど、本当に何を考えているかわからない」と言うわけです。なぜなら、イタリア人は人の悪口を言わない人を信じない、悪口と言ってもその人を卑下・否定するのではなく、他人を分析、批判する精神は必然だと考えているのです。夫の両親が、いつも夫婦喧嘩をするので、私がいる時ぐらい声を荒らげるのはやめてと言うと、ふたりは「喧嘩なんかしてないよ」って言うのです。「コミュニケーションをとっていただけ」と。彼らにとってはちょっと強めに物事を言うだけのことです。でも、喧嘩をあまりしない日本社会を見てきた私にとっては、どこか違和感があるものですが、ただ、日本社会にも私みたいな人間がいて、先ほどの炎上発言ではっと気が付いた人たちもいたと思いますね。

ヨーロッパの個人主義と 日本の全体主義の違い

関心したのは、まずヨーロッパの人たちの言語力ですね。スピーチ力。印象的だったのは、コロナ禍におけるドイツ・メルケル首相です。彼女のスピーチは、世界を震え上がらせるぐらいの感動のスピーチだったと言われていて、聞いている人が、自分に語りかけられているように思うほどのスピーチ力。これは、子供時代から鍛えられている人達の結果なのだと思います。日本ではそんなことを鍛えませんし、そういう教育をしていません。

さらに、堂々と人前で話せる人達の背景には、宗教の倫理観が反映していると思うのです。ヨー

ロッパはやはり、一人のヒーローがリーダーとして、利他性を持って世界を救うことが素晴らしい人間のあり方だという教えます。頭に浮かぶのが、例えばイエス・キリスト、モハメッド、一人で頑張ってみみんなのために尽くそうと思う人で、ヨーロッパの教育は、それを見習おうとする個人主義が根幹にあると思います。「グループを組んで皆全体で頑張ろうね」なんて言いません。日本の場合には八百万の神という、神道のいろいろな神様がたくさんいます。仏教もあります。そして、日本は島国だから「島をみんなで守ろう」というような精神性で完結していくわけです。大陸の場合には「俺たちあっち行こうぜ!」と民族大移動が起きるので、やがてローマは北方蛮族のゲルマン人に滅ぼされるみたいなことになります。

ですから日本の場合、個人主義として突出した人たちがたくさん現れるのではなく、みんな空気を読んで一緒に足並みを揃えていく。それが国を守る大きな力になるのだということが多分、基軸にしみ込んでいる。だからいきなり西洋至上主義的な考えを投入しても、まずは部落を守るところから入っていくメンタリティーは未だに続いている面はあると思います。

「世界は一つ」「グローバリゼーション」「人間はみんな同じ」などと言っても、その本当の意味は、世界が皆同じ価値観と思想を持つようになる全体主義を目指すことではなく、例えば、相手と分かち合えない価値観を認めていく多様性なのではないかと、メルケルさんはじめ各国首脳の皆さんのスピーチを見ていて思いました。自分の概念と他人の概念の同一性を押し付け合い、いがみ合っているとロシアとウクライナみたいな戦争になるわけです。イスラエルとパレスチナについても、2000 年前から始まっていることです。ユ

ダヤ人たちが最初にイスラエルから出されたディアスポラ（民族離散）と言うと、ローマ皇帝ハドリアヌスがやったことで、そのころからずっとつながっていて、まだ何の解決にも至っていません。

正義中毒の蔓延や 若者の省エネな生き方について

しかしながら日本では、子供の教育に関しては理想主義的なことを言われます。「大人になったら何になりたい?」と聞かれ、その目標に向かって頑張らしようとなる。生きるってことは何か生きてきた証を残さなければならず、何者かでなければいけない。それを成就できない不平不満が、昨今の SNS 上の治安の悪さに繋がっているような気がします。ちなみに、短いショートメールや X のようなものは、ヨーロッパではそれほど流行らないです。イタリアもそうです。なぜかという文字数が足りない。言いたいことが言い切れない。そして海外の場合、匿名は良くないことだと認識されています。

日本だと匿名で好き勝手なことを書いて、誹謗中傷の嵐になるというのはそういうところに差が出てくるのかなと思います。あの世界の中だけで追い詰められて、自分の命を絶たなくてはいけなくなるなど、それはないだろうと私はいつも思うのですが、しかしそう思えなくなってしまうのは、やはりこの島国の中で人々と協調して生きていかなければならないという、狭窄性の表れなのかなと考えていたわけです。それがコロナの収束後、開放的になるのかと思いきや視野の狭窄性が進み、まわりにとっても気を遣ってギスギスしながら生きていくのが当たり前になり、調和を乱す人を許さない正義中毒が蔓延してい

ることが気になります。

そして人々は、とくに若い人はなるべくエネルギーを使わない、エネルギー温存型の省エネスタイル。皆さんニュースなどで御存じでしょうが、出生率の低化です。子供はほしくない。結婚したくないどころか、恋人も持ちたくないっていう若者が本当に多くて、私の息子も29歳で独り者です。なぜ女の子と付き合わないの?と聞いたら「面倒くさい」からと。「何が?」と聞くと、女の人と会うとまずは値踏みされている気がして嫌だと言います。見た瞬間に、この人はどれぐらい経済力があるのかしら?私は幸せになれる?とか、昔よりも具体的なのでしょうね。日本は世界で最も出生率の低い国、そして第2位がなんとイタリアなんですね。これってエネルギーを放出しないための生き方ですよ。なるべく負荷がかからないように、乾電池1個で生きていけるようにやってみようと思うと、人間って多分、いろいろな機能が衰えていって、本当に野蛮化してしまうかもしれないと心配になります。

そして、今度はさきほど私が言ったような、自分の正しいと思っている考え方を他の人が受け入れないと徹底的に叩くって言うね。そういう考え方もあるんだ。じゃあ一緒にそれと共生して生きていこう、ではなく、どちらかの正しさに、どちらかが追従しなければいけない。新しい考え方や、自分なりのちよつと他には帰属しない考え方を表に出しにくくなっているのは、第2次世界大戦後の日本にとっても似ていると思います。今、世界中でそのような傾向が強くなっているのは、人の知性というか、感情がどんどん狭まっていて、さまざまなことを許せなくなってきた。それが今は本当に顕著だから、どうしたらいいのかなという感じがします。

生ききった母に学び、 オーケストラのような社会を望む

最近面白い本を読みました。ハーバード大学教授 アーサー・C・ブルックスさんの『人生後半の戦略書』という本で、その方は私と同世代で、元々はホルン奏者で、自分でホルン奏者として天才かも思っていたieましたが、徐々に思っていたほど天才ではないってことで、落ち込み鬱になります。しかし、そこから立ち直りハーバードの先生になるんですね。彼は、何者かではなくてはいけない、存在証明ですかね。そういったものから解放されることが、どれだけ人生を豊かにするかを熱弁しています。クラークさんがおっしゃるのは、頑張り過ぎない人間の生き方が、これからはもっと推奨されなければいけない。自分たちの生活レベルも加齢とともに、もっと小さくしていけばいいじゃないか。自分に課す負担を少なくすることで、もっと感性が自由に幅広くなる、ということが書かれた本です。

それと、最近私は『CARPE DIEM (カルペ・ディエム) 今この瞬間に生きて』というタイトルで、自分の死と老齢になってからの考察を1冊の本にまとめて、つい2カ月前に発売しました。その中で、この無謀な母のことに触れています。というのは、母は去年の暮れに、入院先でコロナに感染して89歳で亡くなってしまいました。母の愛車はハイエースで、高齢の女性が乗るような車ではありません。母はハイエースじゃないと楽器が積めないのよって言うわけで、楽器を積んで、札幌から根室や網走に行って、ジャガイモとか新巻鮭とかをもらって帰るわけです。走行距離38万キロまでいって、最後は走行中に後ろのドアがさびて取れたんです。バターンっ

て。それでその車は終わりました。母の人生はあのハイエースと同じだったなと思います。使うだけ使って、使い込んで、亡くなった時に、母の全国に散らばっている100名近いお弟子さんが集まってくれて。千歳の文化センターで追悼コンサートを開きました。

まっしぐらに生きて、母はパーキンソンっていう病気にかかって、その後は少し認知を患いまして、だんだん、いろいろなことを忘れて、私のことも分からなくなっていたと思いますが、母の記憶を試すようなことをやっているとう母がだんだん悲しい顔になっちゃって「もういいじゃない」なんて言うのです。同じ境遇の友達と話していたら「しがらみから解放されるんだから、見守ってあげるしかないんじゃない」と言われて、それからは何でも「へえ〜」と、ただ聞くようにしました。そうしたら、だんだん母も平和な感じになり、最低限度の記憶だけで闘病する中、コロナで亡くなりました。

そのような締めくくり方は、ある種、私に強いエネルギーを残してくれました。たくましく生きた人達の死っていうのは、そういうエネルギーを残すものなんだなと。高齢・老齢化や死はつらいではなくて、全身全霊で受け止めて、自分自身が老齢化や死を優しく捉えていかなければいけないことなのかな、と思いました。

『CARPE DIEM』を出版してから、講演会で高齢社会について話すことも増えました。老人というのはいろいろ不条理で理不尽です。確かに日本では老害という言葉に置き換えられがちですが、しかし、そのような人たちがいなければ、人間としての機能が成熟しない。だからイタリアの場合は、子供の時から100歳超のおばあちゃんたちと住むのが結構当たり前だったりします。

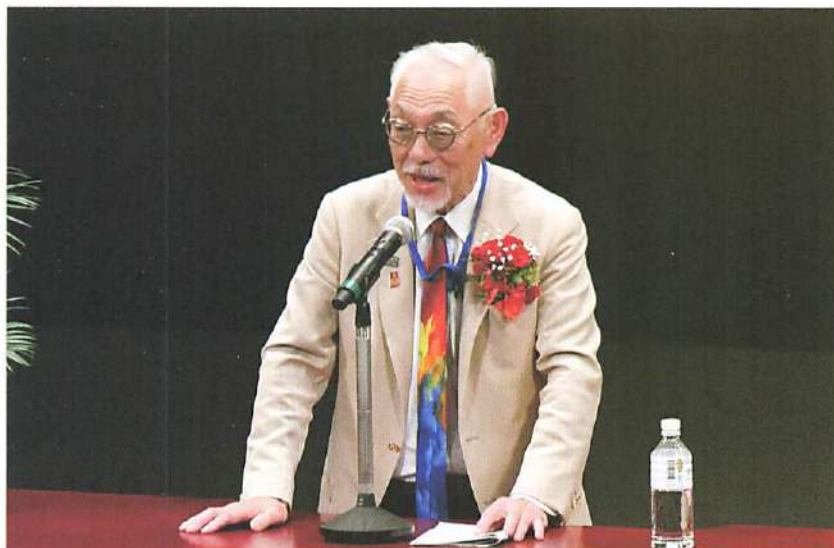
老人がボケたようなことを言っても、こういうものなんだなと思って生きてみると、さまざまなことが許せる人間になるのです。

そして良い社会というのは、とにかく利他にありきだと思います。心のゆとりとして自分のことだけではなく、他人を慮る気持ちが人としての寛容性の表れだと思いますし、日本には本当に素晴らしい人情という感受性があるので、それを持ちつつ、世界ともきちんと繋がっていけるような社会でありたい。そして高齢者を老害という言葉で片づけない、そんな社会にするためには、私たちがどんなに歳をとってもエネルギーを出し惜しみせず、自分の考えをどんどん言語化して表に出し、いろいろな人達と繋がればいいのかと思います。

社会の体系として、私はよくオーケストラを挙げます。個人的にはバラバラで、もう本当に柄の悪い人もいっぱいいてぐちゃぐちゃです。ところが、一体化すると、なぜか素晴らしいシンフォニーを奏でるのですね。あんなに仲悪いくせにそれがまとまるとすごいんです。精神的なメンタリティーを豊潤なものにするうえでも、社会のひな形としてオーケストラは、なかなかよいのではないかと思います。

とりあえず今日はこのような感じで締めくくろうと思います。皆様、どうもありがとうございました。

謝 辞



ガバナー
松浦 光紀
(小樽南RC)

どうもありがとうございました。ヤマザキマリさんをご紹介いただいたのは、私どものクラブ員で、絵本・児童文学研究センター 工藤理事長からお話を承りまして、ぜひお願いしたいということでお話しいただきました。本当にお忙しい方で、日帰りのような状態で来ていただきまして、皆さんいかがでしたでしょうか。

ロータリークラブができてから 118 年くらいになります。日本に入ってきてからは 100 年くらいです。

今日のお話を承りましてね「歩きながら考える」というテーマ。何かロータリーと一緒にだと思いました。確かに 100 年の間に少しずつ変わってきていると思います。また、これから先も変わっていかなくてはいいけないと思います。そのように歩きながら考えるというのは、今日のテーマとしてはぴったりだったのではないかと思います。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



ガバナーエレクト挨拶



ガバナーエレクト

出村 知佳子

(札幌北RC)

今年度ガバナーエレクトを務めております出村知佳子と申します。松浦ガバナーはすごく優しい方だなというふうに、この5年半くらいでしょうか？隣にいらしていただくことが多く、いろいろなことを学ばせていただきました。松浦ガバナーの心遣いですとか、優しい気持ちがいつも伝わってきて、今年度のメンタルヘルスがございませうけれども、私は松浦ガバナーに本当に癒されて何とかここまでやってこれたというふうに思っております。松浦ガバナーの掲げる「地域に希望

を育てよう」。この「育てよう」という言葉は本当にステキな言葉だなというふうに思っております。松浦ガバナーのようなインクルージョン、お互いを敬うような気持ちを大切にしながら、この「育てよう」をさらに咲かせ、咲かせていただく年度にしたいと思っております。どうぞ地区の会員の皆様、そして地域リーダーの皆様、パストガバナーの皆様、ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。



ガバナーノミニー挨拶



ガバナーノミニー

玉井 清治

(函館亀田RC)

ガバナーノミニーの玉井清治でございます。所属は函館亀田ロータリークラブ、ロータリー歴は23年、職業分類は旅行業です。7月1日に就任して以来、次期役員として必要な準備をしている最中でございます。可能な限り地区の会合に出席し、現状を把握することに努めております。特に地区クラブ奉仕委員会に参加して皆様とクラブの現況や問題点のデータを収集いたしております。また、先週は出村ガバナーエレクトからお声がけをいただき、ガバナーエレクトと次期地区幹事の皆様と地区の組織や財務での枠組み等の話し合いをさせていただいたところでございます。

地区行事としては、ローターアクト地区協議会へ参加し、指導力の育成に関して学ばせていただきました。地区委員会では、2回の地区戦略計画委員会に副委員長としてガバナーエレクトからのご指導をいただき活動中です。さらに北川地区クラブ奉仕委員長よりお声がけいただき、地区クラブ奉仕委員会とクロスオーバー委員会に参加してクラブの現状や地区委員会の問題点等を

把握。平川 RLI 委員長からもお声がけいただき、RLI セミナーパートワンにオブザーバーとして見学させていただきました。全国的な研修では、全国危機管理委員会と RIJYEM 主催の全国青年交換委員長会議に出席し、zoom 会議では恒久基金大口寄付 EMGA 情報交換会、ロータリーカード地区推進委員セミナーに参加し、学んでいるところでございます。地区がクラブに対し、どのような支援やお手伝いができるのかを念頭に1年間職責を果たし、2年後のガバナー就任に向け、全身全霊で取り組む所存でございます。パストガバナーの先輩からは優しくご指導をいただき、出村ガバナーエレクトからもご指導いただいておりますこと感謝に堪えません。昨年度の同期ガバナー補佐の皆様、ガバナー事務所の寺島さん、小松さん、親クラブである函館東ロータリークラブ様、そして函館亀田ロータリークラブの皆様、第2510地区のロータリアンの皆様に心より感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

次期ホストクラブ会長挨拶



札幌北ロータリークラブ会長
姫野 芳安
(札幌北RC)

次年度ホストクラブを務めます。札幌北ロータリークラブの姫野でございます。本年度この地区大会、松浦ガバナーはじめ、小樽南クラブの皆様、本当に大変お疲れさまでございました。素晴らしい地区大会でございます。来年度は先ほどご挨拶をした出村ガバナーがうちのクラブから出ます。ホストクラブが札幌北ロータリークラブになっております。私はこの挨拶により皆さんにお知らせをいたします。

来年度の地区大会の予定が決まっております。帰られた方々は残念で、お知らせできませんけれども、11月10日でございます。11月9日が会長幹事会、11月10日が地区大会でございます。場所が札幌ということで、札幌北ロータリークラブの例会を行うロイトンホテルになっております。プログラムの内容は、今から吟味しておりますので楽しみにしててください。バイデン大統領が来るのか、イーロン・マスクが来るのか、はたまた大谷さんが来るのか、藤井さんが来るのかよくわかりませんが、ぜひ楽しみにしていただ

ければと思っておりますので、ただ北クラブだけでは成功することはできませんので、ぜひ皆様、御協力のほどよろしくお願ひしたいと思っておりますので、来年よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

国際ロータリー会長代理所感



国際ロータリー会長代理
服部 陽子

2510 地区の地区大会が無事に開催されましたことを、心よりお喜び申し上げます。松浦ガバナーの穏やかなお人柄が伝わる地区大会であり、松浦ガバナーはじめ、岡崎実行委員長率いる実行委員会、ホストクラブの小樽南ロータリークラブの皆様、コ・ホストクラブの皆様、そしてこの大会に関わった全ての皆様に心からのお礼を申し上げます。昨日は地区指導者育成セミナー、また本日は並行プログラムとして新会員オリエンテーション、本会議の中でロータリー財団のワークショップもあるなど、大変多様性に富んだ、学ぶところの多いプログラムでした。

只今のヤマザキ様のお話も、私たちは自分と違うものをどう受け入れていくのかを考えなくては行けないと、改めて気づかされましたし、世界平和の実現には、人の心を豊かに育てていく活動も大事だというお話をいたしました。その人の心の栄養になる音楽、美術などの文化的な側面がフランスでは当たり前のことのように大事にされている、と興味深く伺いました。

松浦ガバナーからは地区の現状を詳しくご報告いただき、国際奉仕活動や、青少年の支援も熱心で、グローバル補助金を使った小学生の支援をなさる一方で、地区補助金を使って学生の支援など、様々な取り組みをなさっている地区なのだと敬服をした次第でございます。今日のクラブ紹介もそれぞれ趣向を凝らして、大変楽しく拝見いたしました。大変素晴らしい大会であったとゴードン R. マッキナリー会長にご報告申し上げたいと思います。来年 2025 年に行われるシンガポールの国際大会で皆様、直接御本人にお会いできるチャンスがございますので、ぜひこちらのイベントにも参加させていただきたいと思います。海と山に恵まれた情緒あふれる小樽で行われた今回の地区大会。きっと皆様の心に残るものと思いますし、明日からのロータリー活動への大きなエネルギーを得ることができる大会であったと確信しております。2510 地区のこれからますますのご発展を心から祈念申し上げまして、私の謝辞とさせていただきます。ありがとうございました。

閉会の言葉



大会副実行委員長
山村 弘一
(小樽南RC)

会場の皆さん、お疲れさまでした。ただいまご紹介いただきました実行委員会副委員長の山村弘一です。高いところから大変恐縮ですが、閉会のご挨拶をいたします。13日、記念ゴルフ大会、14日、会長・幹事会並びにRI会長代理歓迎晩餐会、そして本日15日、本会議と素晴らしい秋空の天気を背中に受けて、今大会も成功裏に終了できますことは、松浦ガバナーの指導の下、ホストクラブ、そしてコ・ホストクラブ並びに2510地区加盟クラブ会員全員の皆様方の絶大なるご支援とご協力の賜物と心から敬意と感謝の誠を捧げ、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

終わりにご臨席の皆様方のさらなるご健勝と、末永いご活躍を祈念いたしまして、簡単措辞でございますが、実行委員会を代表しての挨拶といたします。誠にありがとうございました。



10月15日(日)
大会2日目

記念懇親会

《 グランドパーク小樽 》

※敬称略

司会・地区幹事 拜田 昇、石橋八千代

16:30 開会

開会の挨拶

ガバナー 松浦 光紀

乾杯

ガバナーエレクト 出村知佳子

開宴

記念ゴルフ大会報告

ゴルフ委員長 山村 弘一

アトラクション

J-HOT (Joyful Heart Orchestra Teine) による

ジャズスタンダードナンバー演奏

18:00 閉会挨拶

ガバナーノミニー 玉井 清治

ロータリーソング「手に手つないで」 ソングリーダー 湊 亨

閉会

ホストクラブ会長エレクト 桂 正俊







—— 並行プログラム ——

スパウス配偶者プログラム

今回のスパウスプログラムは、北海道の心臓と呼ばれた街小樽を探訪するツアーとしました。案内役には小樽市総合博物館石川直章館長をお願いしました。

本会議場の小樽市民会館からスタートしたツアーは、本会議場の向かいに位置する小樽市公会堂に併設されている旧岡崎家能舞台からスタート。通常能舞台には保全のため上がる事はできないのですが、石川館長の計らいで参加者全員が東北以北最古の能舞台を堪能させていただきました。

その後、北のウォール街と言われた色内銀行街、北海道鉄道発祥の地総合博物館手宮館に移動し、樺太貿易における小樽金融の歴史を石炭、鉄道を交えて説明していただきました。

昼食は高島岬の断崖に聳え立つノイシュロス小樽で、小樽食材を活用したフランス料理に舌鼓を打ち、窓から見える赤岩海岸の絶景に参加者は溜飲を下げていました。

プログラムの最後は、天狗山展望台にロープウェイで上がり、小樽の市街地を一望しツアーを締めくくりました。

行程表

- ↓ 小樽市民会館
- ↓ 小樽市公会堂（旧岡崎家能舞台）
- ↓ 北のウォール街（色内銀行街）
- ↓ 旧三井銀行小樽支店
- ↓ 日銀金融資料館
- ↓ 旧手宮線
- ↓ 小樽市総合博物館本館にて SL 乗車
- ↓ 昼食（ノイシュロス小樽）
- ↓ 天狗山展望台



10月15日〈大会2日目〉9:30～
小樽市民会館5・6・7号室

—— 並行プログラム ——
ロータリーフェローズ ワークショップ

みんなで世界で良いことをしよう 『TAKE ACTION!』

クリーン作戦ゴミ拾い&ポリオ根絶ポスター絵画作成

地区大会2日目青少年交換・米山奨学生とインターアクトのメンバーの皆さんが二つのグループに分かれて活動に取り組みました。

青少年交換・米山奨学生の皆さんは大会会場入り口に用意したブースでポリオ根絶のための募金活動に取り組みました。コーヒーとクッキーの販売でしたが価格は設定せずに募金箱を前にロータリアンとしてのお気持ちを入れている方式をとったため、皆さんの声がけなどが功を奏し募金箱には紙幣しかないという状況を生んでいました。高価なコーヒーとクッキーはあっという間に完売となりました。

一方インターアクトのメンバーは、札幌山の手高校、北海高校、札幌龍谷学園高校に参加して頂きました。前半はクリーン作戦と題し小樽公園のゴミ拾いに向かいました。ゴミは少なかったですが枯葉・枯れ枝が多く、用意したゴミ袋いっぱい集め公園をすっきりとすることができました。後半は屋内に戻り、昼食をとった後今度は数グループに分かれポリオ根絶ポスター作成に取り組みました。いろとりどりのマジック・色紙などを工夫し皆で意見を出し合いながら個性ある作品が出来上がりました。

完成したポスターはその後、小樽サンモール一番街に1ヶ月展示し、小樽市民の方々の目に触

れる事となりました。さらに、後日ウイングベイ小樽で小樽・小樽南・銭函三クラブ合同で行なったポリオ根絶キャンペーン募金活動の際にも会場に展示しました。訪れる市民の方々にとって、手作りのポスターがあることでポリオというものが分かりやすく伝わりとても好評でした。

ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。



10月15日〈大会2日目〉9:30～
小樽市民会館1号室

—— 並行プログラム ——

新会員育成セミナー

講師

野口 英一 (のぐち えいいち)

◆ ロータリー歴

1996年 甲府ロータリークラブ入会
2006-2007年度 クラブ幹事
2011-2012年度 クラブ会長

◆ 地区役員歴

2012-2013年度 地区幹事
2015-2016年度 ガバナー
2016-2017年度 アシスタントロータリーコーディネーター
2018-2019年度 第2地域 E/MGA
2021年～ 環境のための大口寄付推進計画アドバイザー
2022年～ ロータリーコーディネーター



◆ その他

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会広報委員会委員

公益財団法人米山梅吉記念館評議員

アーチクランフソサエティ会員、メジャードナー、ポール・ハリス・ソサエティ

第50回米山功労者メジャードナー



自己紹介はパワポをご覧ください、ご当地の嵯峨パストガバナーとは同期ガバナーで日頃より大変お世話になっております。

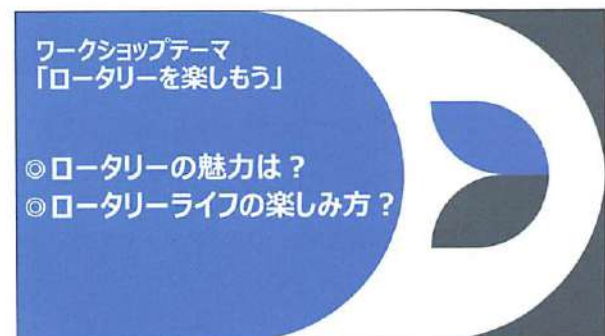
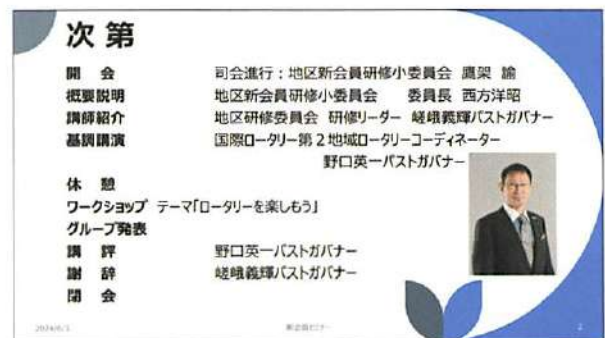
さて、国際ロータリーは各ロータリークラブの連合体です。皆様は 2510 地区の各クラブに所属されています。各クラブは地域毎に 12 のグループのいずれかに所属しています。約 2,400 人が 2510 地区を構成しております。日本国内には 2510 を含め 34 地区があり、2,200 のクラブ、83,000 人の会員がいます。ロータリークラブは世界 200 の国と地域にあり、クラブ数 37,000、会員数は 118 万人います。皆様はそんな世界組織の一員なのです。

国際ロータリーにはビジョンがあります、「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。これがロータリーのビジョン声明です。ビジョンを実現させる為に行動計画とも呼ばれる戦略的優先事項が4つあります。

- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的なかわりを促す
- 適応力を高める

それぞれの項目には 3 ～ 4 個ずつの具体策が付いております。これは 25 年度以降も強調されていますのでよく覚えておいてください。

ロータリーでは寄付という言葉をよく耳にします。寄付には色々なご意見がありますが、私は寄付ではなく、世界中のロータリアンが世界で良いことをする「支援」だと言い換えております。私は財団にも少し関わっておりますので、少し触



れさせていただきます。支援の種類はパワポの通りです。クラブで年に1回11月頃集めているのは年次基金です。年次基金でも3種類選択できます。それ以外にもご覧の分類があります。少し前の資料になりますが、皆様からお預かりした支援はご覧の「財団の支出」の通り、その90%以上が活動経費に使われており、アメリカでも超優良な財団だ、と調査機関から13年以上三ツ星をもらっています。

年次基金のシェアを選びますと、拠出した金額の47.5%が3年後に地区に戻ってきて、地

区補助金として各クラブに配分されています。パワポにある金額が大体毎年国内34地区で使用されています。グローバル補助金というのは35,000 \$以上の活動について支援されるもので、最もやりがいのある事業の一つです。

ロータリー活動は地域社会での貢献が原点ですが、「世界で良いことをしよう」を標榜しております。皆様とこれから一緒に活動できることを嬉しく思いますし、クラブ・地区での活動を存分に楽しんで頂けることを願っております。



参加者

グループ	クラブ名	氏 名
第2グループ	芦 別	水口 昭広
第2グループ	芦 別	北 村 真
第3グループ	岩 見 沢	金田 貴彦
第4グループ	札幌手稲	出崎 竜也
第4グループ	札幌手稲	長瀬真一郎
第4グループ	札幌西北	関 欣 昌
第4グループ	札幌西北	濱中 宣樹
第4グループ	札幌 北	青山 雅彦
第5グループ	札幌モーニング	廣田 勝利
第5グループ	札幌真駒内	和田 昌代
第5グループ	札幌 東	柴山 和範
第5グループ	札幌 東	大屋 勝次
第5グループ	札幌幌南	小林麻由美
第5グループ	札幌幌南	佐藤祐一郎
第5グループ	新 札幌	松野 和司
第6グループ	岩 内	小西 博之
第6グループ	余 市	佐々木直也
第6グループ	余 市	庄木 里美
第6グループ	小 樽	宇山 孝志
第6グループ	小 樽	加藤 剛
第6グループ	小 樽	高木 紀和
第7グループ	恵 庭	金平 隆治
第7グループ	恵 庭	平川 直人
第7グループ	千 歳	吉田 博美
第7グループ	長 沼	四釜慎一郎
第8グループ	様 似	橋爪 伸恵
第9グループ	室 蘭 北	本間 寛菜

地区大会 記念ゴルフ大会

10月13日（金）
小樽カントリー倶楽部 新コース



地区大会記念ゴルフ大会を終えて

地区大会記念ゴルフ大会委員長
山村 弘一

記念ゴルフ大会は、本大会の前日10月13日（金）に小樽カントリー倶楽部新コースにおいて開催されました。

当日は、さわやかな秋晴れで、絶好のゴルフ日和となり、地区内31のクラブから、25組、92名のご参加をいただきました。フェアウェイ・グリーンともに、大変良い状態で仕上がっていて、ご参加いただいた皆様に充分に楽しんでいただけたものと思います。大会はダブルペリア方式で行われ、室蘭北ロータリークラブの工藤一人さんが見事優勝されました。

また、今回のゴルフ大会では各ショートホー

ルでワンオンできなかった参加者の皆様に、ポリオ根絶のチャリティー募金していただき、総額13万2千610円、本当に多くの募金をいただきました。この募金全額を地区のポリオプラス委員会を通じまして、ロータリー財団のポリオ基金へ寄付させていただきます。ご寄付をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

最後に、大会にご参加いただいた皆様、そして大会の開催に向けて早くから準備を進めてきた小樽南ロータリークラブのゴルフ大会委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

地区大会記念ゴルフ大会委員会

◎：委員長	◎山村弘一、○京谷 篤、○井手信治、
○：副委員長	三栖裕司、福島正紘、加藤正幸、伊藤嘉英、山谷憲弘、荒田純司

お礼の言葉



ガバナー
松浦 光紀
(小樽南RC)

今、心温まるお話をいただきました。2日間、私が思いもしなかったことはいっぱいありましたけれども、無事皆さんのご協力で何とかここまで来ました。本当に感謝申し上げます。服部陽子RI会長代理に、まさか彼女が私たちの地区に来てくれるなんて考えもしませんでした、本当に。皆さんと一緒にこの機会を楽しんでいただきましたでしょうか。また、この後もまだ記念懇談会がございますので、私はその時に美味しいお酒を皆さんと一緒にいただきたいと思います。本当にありがとうございました。





ゴルフ大会成績

順位	競技者名	所属	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
優勝	工藤 一人	室蘭北	41	43	84	14.4	69.6
準優勝	星野 昭雄	小樽	44	44	88	18.0	70.0
3位	赤崎 幸三	室蘭北	49	48	97	25.2	71.8
4位	石川 洋一	芦別	41	48	89	16.8	72.2
5位	新関 一夫	北斗	49	46	95	22.8	72.2
6位	曙 嘉輝	千歳	39	37	76	3.6	72.4
7位	北川 敏夫	札幌はまなす	43	46	89	15.6	73.4
8位	西條 文雪	小樽	39	43	82	8.4	73.6
9位	米山 八郎	小樽南	45	49	94	20.4	73.6
10位	河原 昌文	札幌東	54	52	106	32.4	73.6
11位	高野 淳也	札幌はまなす	45	46	91	16.8	74.2
12位	塚田 智恵	室蘭北	47	44	91	16.8	74.2
13位	川上 譲治	美唄	47	55	102	27.6	74.4
14位	柴山 和範	札幌東	56	45	101	26.4	74.6
15位	木村 千晶	静内	44	50	94	19.2	74.8
16位	不動 新作	静内	45	42	87	12.0	75.0
17位	大塚 哲也	札幌手稲	42	44	86	10.8	75.2
18位	武石 考司	千歳	48	50	98	22.8	75.2
19位	三栖 裕司	小樽南	48	49	97	21.6	75.4
20位	黒川 篤	札幌北	41	43	84	8.4	75.6
21位	内田 芳史	札幌モーニング	44	51	95	19.2	75.8
22位	半澤 浩定	札幌はまなす	52	49	101	25.2	75.8
23位	藤城 英明	札幌北	48	53	101	25.2	75.8
24位	不動 信之	静内	46	47	93	16.8	76.2
25位	吉田 栄治	岩内	51	48	99	22.8	76.2
26位	掛川 亨	静内	51	54	105	28.8	76.2
27位	宗方 裕之	芦別	41	51	92	15.6	76.4
28位	千葉 大和	室蘭北	44	48	92	15.6	76.4
29位	西川 正	伊達	50	48	98	21.6	76.4
30位	海野 均	札幌西北	47	50	97	20.4	76.6
31位	照井 啓太	函館東	46	44	90	13.2	76.8
32位	池田 和陽	札幌手稲	46	50	96	19.2	76.8
33位	本間 勝行	新札幌	56	51	107	30.0	77.0
34位	小野 志伸	砂川	49	45	94	16.8	77.2
35位	山崎 泰弘	札幌	50	50	100	22.8	77.2
36位	白 諾貝	札幌南	44	56	100	22.8	77.2
37位	鈴木 高士	登別	50	56	106	28.8	77.2
38位	忠津 章	羽幌	46	53	99	21.6	77.4
39位	平川 直人	恵庭	52	53	105	27.6	77.4
40位	佐藤 義久	蘭越	40	52	92	14.4	77.6
41位	佐藤 勉	札幌はまなす	53	51	104	26.4	77.6
42位	坂口 友朗	小樽銭函	55	55	110	32.4	77.6
43位	徳永 賢二	室蘭北	46	56	102	24.0	78.0
44位	川口 了久	恵庭	51	50	101	22.8	78.2
45位	山村 弘一	小樽南	51	56	107	28.8	78.2
46位	猪俣 英二	室蘭北	48	50	98	19.2	78.8

順位	競技者名	所属	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
47位	南部 賢	新札幌	44	53	97	18.0	79.0
48位	米塚 弘悦	北斗	50	53	103	24.0	79.0
49位	遠藤友紀雄	小樽	59	56	115	36.0	79.0
50位	柴森 剛	小樽	45	56	101	21.6	79.4
51位	葛西 純一	札幌西北	50	57	107	27.6	79.4
52位	田中 敏文	砂川	47	53	100	20.4	79.6
53位	高坂 誠	砂川	46	47	93	13.2	79.8
54位	岡出 敏美	札幌西北	51	48	99	19.2	79.8
55位	山本 秀一	栗山	50	48	98	18.0	80.0
56位	荒田 純司	小樽南	50	60	110	30.0	80.0
57位	在田 恒昌	静内	44	59	103	22.8	80.2
58位	竹内 秀樹	羽幌	52	57	109	28.8	80.2
59位	染谷 昇	砂川	59	55	114	33.6	80.4
60位	杉江俊太郎	小樽	47	48	95	14.4	80.6
61位	松浦 光紀	小樽南	59	54	113	32.4	80.6
62位	五十嵐 稔	函館東	45	43	88	7.2	80.8
63位	蝦名 修	羽幌	47	53	100	19.2	80.8
64位	宮坂 勝文	札幌手稲	50	50	100	19.2	80.8
65位	加藤 剛	小樽	57	55	112	31.2	80.8
66位	大川 武志	恵庭	50	61	111	30.0	81.0
67位	高木 紀和	小樽	54	57	111	30.0	81.0
68位	平川 香織	札幌手稲	52	52	104	22.8	81.2
69位	西 智樹	札幌西北	56	54	110	28.8	81.2
70位	井樫 博之	札幌南	49	61	110	28.8	81.2
71位	佐藤 慶一	小樽	55	60	115	33.6	81.4
72位	福井 敬悟	札幌手稲	50	52	102	20.4	81.6
73位	川端 忠範	札幌西	50	57	107	25.2	81.8
74位	中畑 譲司	静内	56	56	112	30.0	82.0
75位	吉村 昭夫	函館東	50	54	104	21.6	82.4
76位	水口 昭広	芦別	50	51	101	18.0	83.0
77位	土居 岩生	東京、お茶の水	54	63	117	33.6	83.4
78位	宮崎 英彰	滝川	58	59	117	33.6	83.4
79位	志比川 武	蘭越	55	59	114	30.0	84.0
80位	安田 浩司	札幌西北	54	53	107	22.8	84.2
81位	田中 潤	芦別	61	58	119	34.8	84.2
82位	栗本 茂生	伊達	54	57	111	24.0	87.0
83位	大谷 荘佐	札幌南	51	65	116	28.8	87.2
84位	三輪 生治	函館東	59	56	115	27.6	87.4
85位	鈴木 隆雄	東京、江東	55	58	113	24.0	89.0
86位	阿部 真久	芦別	62	61	123	33.6	89.4
87位	原田 正志	羽幌	47	68	115	25.2	89.8
88位	篠崎 敬史	岩内	60	53	113	22.8	90.2
89位	西川恵美子	岩内	61	66	127	36.0	91.0
90位	富岡 豊	静内	62	68	130	36.0	94.0
B.B賞	山本 満弘	岩内	66	70	136	36.0	100.0
B.M賞	武田 弘樹	羽幌	74	67	141	36.0	105.0

記錄・資料

物故会員御尊名



第1グループ
留萌RC

わたべ えいじ
渡部 英次

令和5年4月18日ご逝去
(享年92歳)



第2グループ
滝川RC

さかもと かずしげ
坂本 和繁

令和5年3月24日ご逝去
(享年64歳)



第3グループ
江別西RC

いしぐろ りょうへい
石黒 良平

令和5年3月21日ご逝去
(享年83歳)



第3グループ
江別西RC

のむら よしつぐ
野村 善次

令和5年5月30日ご逝去
(享年84歳)



第3グループ
美唄RC

よねもり まさお
米森 正夫

令和4年9月11日ご逝去
(享年90歳)



第3グループ
美唄RC

あべ みのる
阿部 稔

令和4年10月3日ご逝去
(享年88歳)



第4グループ
札幌RC

なかつ たろお
中田 輝夫

令和4年10月9日ご逝去
(享年84歳)



第4グループ
札幌RC

もりた ひろし
森田 博

令和5年3月17日ご逝去
(享年73歳)



第4グループ
札幌手稲RC

うの よしあき
宇野 義昭

令和5年4月23日ご逝去
(享年74歳)



第4グループ
札幌西RC

いしぐろ なおふみ
石黒 直文

令和4年8月14日ご逝去
(享年91歳)



第5グループ
札幌東RC

きむら たかお
木村 隆夫

令和5年2月6日ご逝去
(享年85歳)



第5グループ
札幌幌南RC名誉会員

こんどう ゆたか
近藤 浩

令和4年8月10日ご逝去
(享年87歳)



第6グループ
小樽南RC

ふきこし のりよし
吹越 範義

令和4年10月10日ご逝去
(享年84歳)



第6グループ
小樽南RC

さとう じんぺい
佐藤 甚兵衛

令和4年8月16日ご逝去
(享年91歳)



第6グループ
岩内RC

ひろた まさる
廣田 大

令和5年6月13日ご逝去
(享年52歳)



第7グループ
千歳RC

さとう ひでお
佐藤 秀雄

令和5年4月19日ご逝去
(享年85歳)



第9グループ
室蘭東RC

なら しんや
奈良 秦哉

令和5年1月5日ご逝去
(享年59歳)



第10グループ
函館RC

たまだ しょうご
玉田 正吾

令和4年12月27日ご逝去
(享年49歳)



第10グループ
函館セントラルRC

まるやま たいかん
丸山 泰観

令和5年2月18日ご逝去
(享年59歳)



第11グループ
函館五稜郭RC 名誉会員

かわばた たけひろ
川畑 武裕

令和5年5月11日ご逝去
(享年84歳)



第11グループ
函館東RC 名誉会員

いけがき きよのぶ
池垣 清信

令和4年7月29日ご逝去
(享年85歳)



第11グループ
江差RC

あかいし ちえみ
赤石 智恵美

令和5年5月27日ご逝去
(享年67歳)



第12グループ
苫小牧北RC

たかぎ かずお
高木 一男

令和4年2月8日ご逝去
(享年84歳)



第12グループ
苫小牧北RC

やまもと まさあき
山本 雅昭

令和4年12月20日ご逝去
(享年75歳)

表彰

■ ロータリー賞 (2022-2023年度)

- 千歳セントラルRC
- 札幌北RC
- 岩見沢RC

■ ロータリー財団表彰 (2022-2023年度)

★財団1人当たり寄付額優秀クラブ

第1位	札幌北RC	\$806.08
第2位	函館亀田RC	\$344.42
第3位	札幌西RC	\$314.10

★財団寄付優秀クラブ

第1位	札幌北RC	\$57,311.65
第2位	岩見沢RC	\$24,803.49
第3位	札幌RC	\$22,023.86

★メジャードナー表彰

- 橋本 洋一 (苫小牧RC)
- 高野 園子 (札幌真駒内RC)
- 玉井 清治 (函館亀田RC)

■ (公財) ロータリー米山記念奨学会表彰 (2022-2023年度)

★米山1人当たり寄付額優秀クラブ

第1位	函館亀田RC	39,213円
第2位	札幌北RC	34,905円
第3位	札幌手稲RC	33,318円

★米山寄付優秀クラブ

第1位	岩見沢RC	2,132,000円
第2位	札幌南RC	1,816,000円
第3位	札幌RC	1,813,000円

★達成クラブ表彰

- 札幌東RC 8千万円
- 札幌南RC 7千万円
- 岩見沢RC 5千万円

★メジャードナー表彰

● 蘇田 又栄 (浦河RC)	10回
● 江本 勝典 (岩見沢RC)	30回
● 羽部 大仁 (札幌幌南RC)	17回
● 坂本 勝彦 (札幌モーニングRC)	11回
● 上野 一義 (七飯RC)	28回
● 福井 敬悟 (札幌手稲RC)	12・15回
● 松浦 光紀 (小樽南RC)	11回
● 石丸修太郎 (札幌西RC)	21回
● 遠藤 秀雄 (登別RC)	14回
● 森谷 明弘 (札幌西RC)	20回
● 小泉護太郎 (函館セントラルRC)	11回
● トーキル クリステンセン (札幌南RC)	18回
● 伊藤 道雄 (函館セントラルRC)	18回
● 出村知佳子 (札幌北RC)	11・12・16回
● 玉井 清治 (函館亀田RC)	10回

■ 地区会員増強優秀賞 (2022-2023年度)

第1位	函館五稜郭RC	133%	第4位	札幌西北RC	115%
第2位	蘭越RC	129%	第5位	当別RC	113%
第3位	札幌手稲RC	117%			

■ ガバナー特別表彰 (2022-2023年度)

★個人表彰

● 札幌はまなすRC 北川 敏夫 会員

チャーターメンバーとして在籍31年間、会員増強に積極的に取り組んだ活動に対して。

● 静内RC 中島 滋 会員

専門職業(獣医師)に携わる指導者として地域を始め、日本の競馬界の発展、静内農業高等学校の評議員として馬産業を支える人材の育成と共に、ロータリー活動の広報に尽力された活動に対して。

★クラブ表彰

● 滝川RC 青少年奉仕委員会

市内の小学校で唯一ブランコの設置がなかった小学校にブランコを寄贈した活動に対して。

● 札幌手稲RC 社会奉仕委員会

保育園や福祉施設にロータリーマークを印字したプランターを寄贈。寄贈先の関係者と共に花植え作業行い、地域の方々や未来を担う子供たちとの交流を図りながら、ロータリーの公共イメージに繋がる活動に対して。

● 札幌東RC 青少年奉仕委員会

北海高等学校インターアクトクラブと共に、支援施設の花園学院を訪問した新事業の活動に対して。

● 恵庭RC

1971年から青少年交換学生を2022-2023年度までに28名派遣し29名の受入を実施、2022-2023年度は、第2510地区で唯一、当クラブから2名の派遣を実施したことに対して。

● 函館RC 社会奉仕委員会

うみの星認定こども園に除菌機材並びにパーテーション寄贈を実施。園児の健康、安全を守るとともに、職員の作業負担を大幅に軽減し、保育の質を高めることを可能にした事業に対して。

● 函館セントラルRC

函館市梁川交通公園に幼児、小学生、中学生が親子で訪れる駐車場にフェンスを設置し、外部者の無断駐車を防ぐため環境を整え、入園者を多く受け入れることを可能にした活動に対して。

● 函館五稜郭RC 青少年奉仕委員会

2016年10月にキッズサッカーフェスティバルとして初開催。以降、函館五稜郭ロータリークラブ杯サッカー大会と名称を変えながら運営を続け、子供達への配慮として函館地区サッカー協会へ熱中症対策でテントの寄贈を行うなどの継続事業に対して。

永年出席100%会員表彰

50年

クラブ名	氏名
札幌東	野村 昭光
伊達	山崎 満晴

45年

クラブ名	氏名
札幌	山中 善夫
札幌東	塚原 房樹
札幌南	島津 宏興
千歳	武石 忠俊

40年

クラブ名	氏名
砂川	武田 昭二
岩見沢	佐藤 紀征
静内	佐藤 雅裕
静内	山田 一孝
苫小牧	板谷 剛

35年

クラブ名	氏名
赤平	石野 茂
岩見沢	田莉子敬夫
岩見沢	三嶋 顕
栗沢	岩田 隆
当別	竹田 和雄
札幌幌南	奥村 建夫
札幌幌南	森 正志
札幌南	川井 一男
小樽南	廣瀬 保男
千歳	福田 武男

30年

クラブ名	氏名
留萌	中出 敏彦
江別	郷 和平
江別西	後藤 一昭
岩見沢	嵯峨 義輝
岩見沢	山本 公彦
岩見沢	北市 宗三
札幌北	竹原 巖
札幌西北	馬杉 榮一
札幌東	池田 光司
函館五稜郭	光銭 裕二
函館五稜郭	田嶋 英人
函館北	増山 正
苫小牧東	水元 修治
苫小牧東	児玉 和雄
苫小牧東	菅野 嘉一

25年

クラブ名	氏名
深川	北村 幸雄
深川	大西 祥太
深川	成田 昭彦
砂川	山崎 義彦
砂川	石家 裕二
江別	金田 敏雄
江別西	宍戸 昭
江別西	服部 渉
栗山	関 吉一郎
札幌	小山 司
札幌東	朝倉 正人
札幌東	田中 新一

クラブ名	氏名
札幌南	平 昌夫
札幌真駒内	齋藤 康嗣
札幌清田	高橋 宣充
札幌清田	中島 永昭
札幌清田	三戸 和昭
小樽	松倉 弘
倶知安	旭 和久
千歳セントラル	井上 英幸
浦河	武田 豊
静内	不動 信之
様似	原 博昭
伊達	守谷 保夫
苫小牧東	佐藤 正
苫小牧北	阿部 寛

20年

クラブ名	氏名
砂川	松原 重俊
江別	笹浪 哲雄
岩見沢	竹内 友康
岩見沢	中路 幹雄
札幌	岩田 圭剛
札幌	加藤 欽也
札幌	植田 英隆
札幌北	出村知佳子
札幌東	犬嶋 清幸
札幌東	佐々木泰男
札幌幌南	高木 宏壽
札幌南	橋本 耕二
小樽	西條 文雪

クラブ名	氏 名
小 樽 南	斎藤 仁
恵 庭	中川 富雄
静 内	福嶋 尚人
静 内	山口 俊秀
室 蘭 東	松永 英樹
函 館 亀 田	井上 司
苫 小 牧 北	岡田 秀樹

15 年

クラブ名	氏 名
江 別	武田孝代司
岩 見 沢	山岡 秀一
岩 見 沢	柿本 武恒
岩 見 沢	中村 興治
岩 見 沢	遠藤 浩一
栗 沢	中田 信広
札 幌	富岡 俊介
札 幌 手 稲	池田 和陽
札 幌 東	出倉 恵隆
札 幌 東	斉藤 雅文
札 幌 東	関根 光晶
札 幌 東	竹内 俊朗
札 幌 南	櫛引 拓禎
札 幌 南	佐藤 嘉一
札 幌 南	嶋津 博
札 幌 南	土田 茂
小 樽 南	高木 正光
余 市	竹内 俊彦
千 歳	加藤 輝明
千 歳	沼田 常好
千歳セントラル	手島 和枝
長 沼	辻野つね子
伊 達	河原 文博

クラブ名	氏 名
伊 達	西川 正
室 蘭 北	松田 博文
白 老	田辺 真樹
白 老	清水 尚昭

10 年

クラブ名	氏 名
深 川	轡田 光章
芦 別	須藤美紀子
芦 別	高松 孝一
滝 川	鷺尾 昌法
江 別	金田 一夫
江 別	平賀 俊尚
江 別	佐々木光治
岩 見 沢 東	只野 公幸
栗 山	北野 隆春
栗 山	松下 早苗
当 別	辻野 浩
札 幌	樋川 恒一
札 幌 北	草間 孝廣
札幌モーニング	佐藤 元治
札 幌 東	古瀬 康紘
札 幌 東	村山 忠司
札 幌 清 田	森 加名恵
札 幌 幌 南	佐藤 和広
札 幌 幌 南	里見 英樹
札 幌 幌 南	高橋 和彦
札 幌 幌 南	樋坂 修
札幌真駒内	内海 知行
札 幌 南	池田 達昭
札 幌 南	山上 晃広
小 樽 南	廣部 隆夫
余 市	森 義仁

クラブ名	氏 名
余 市	北條 篤
余 市	沼端 慶輔
余 市	笹浪 淳史
余 市	浦田 治
岩 内	福嶋 尚之
千 歳	伊藤 一三
千 歳	稲川 和伸
千 歳	喜多 康裕
千 歳	前田 浩志
千歳セントラル	岩下 誠
千歳セントラル	四方 信次
静 内	福原 啓介
浦 河	佐野 元健
伊 達	鈴木 啓一
室 蘭 北	本間 信
函館セントラル	中原 勝司
苫 小 牧	成田 幸隆
苫 小 牧 東	青山 晴美

ロータリー財団表彰

メジャードナー

クラブ名	氏名	レベル	クラブ名	氏名	レベル
札幌真駒内	高野 園子	1	函館亀田	玉井 清治	1
浦 河	蘇田 又栄	1	苫小牧	橋本 洋一	1

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数
羽 幌	成澤 卓爾	5	札 幌	高薄 浩志	4	札 幌 北	林 里紅	2
羽 幌	舟橋 隆宏	2	札 幌	横井 久	4	札 幌 北	谷口 昭博	2
深 川	成田 雅敏	5	札 幌	古野 重幸	3	札 幌 北	吉井 千博	2
留 萌	串橋 伸幸	1	札 幌	中田 隆博	3	札 幌 北	中園 直樹	1
留 萌	燕 美雪	1	札 幌	松下 直樹	1	札 幌 東	和田 一仁	5
芦 別	石川 洋一	1	札幌はまなす	斉藤 淳一	2	札 幌 東	出倉 恵隆	4
芦 別	角幡 裕明	2	札幌モーニング	佐藤 元治	6	札 幌 東	大友 累	2
芦 別	多田 康二	2	札幌モーニング	露木 茂	2	札 幌 東	大谷 莊一	1
砂 川	松原 重俊	4	札幌モーニング	内田 芳史	1	札 幌 東	和田 雅博	1
砂 川	山崎 義彦	2	札幌モーニング	大西 正啓	1	札 幌 南	小林 昌志	8
砂 川	信太 英樹	1	札幌モーニング	賀来 亨	1	札 幌 南	平 昌夫	6
赤 平	竹俣 紀孝	2	札幌手稲	平川 香織	4	札 幌 南	橋本 耕二	5
滝 川	高山 訓正	4	札幌手稲	三戸 義美	3	札 幌 南	伊藤 清	3
滝 川	柳 清二	4	札幌手稲	高張 秀人	3	札 幌 南	山本 勤	3
滝 川	奥山かおる	2	札幌手稲	池田 和陽	1	札 幌 南	佐藤 嘉一	3
滝 川	谷口 正樹	1	札幌手稲	曾我 千鶴	1	札 幌 南	網野 泰文	2
岩 見 沢	佐川 修一	2	札 幌 西	河口 義憲	1	札 幌 南	嶋津 博	1
岩 見 沢	菅野 聖人	2	札幌西北	遠島 芳然	3	札 幌 南	荒井 竜一	1
岩 見 沢	山岡 秀一	1	札幌西北	小林 秀樹	8	札 幌 南	舟本 秀男	1
岩 見 沢	齋藤 誠一	1	札幌西北	渡邊 葉子	8	札幌幌南	北川 好和	4
岩 見 沢	齋藤 聡	1	札 幌 北	黒川 篤	7	札幌幌南	深貝 亨	3
岩 見 沢	柿本 武恒	1	札 幌 北	草間 孝廣	6	札幌幌南	長沢 祐純	3
江 別	平賀 俊尚	3	札 幌 北	栗原 清昭	5	札幌幌南	寺尾 壽晃	1
江 別	武田孝代司	1	札 幌 北	斉藤 昌一	5	新 札 幌	田中 忠行	1
当 別	泉亭 俊徳	3	札 幌 北	姫野 芳安	3	岩 内	東山 洋徹	3

クラブ名	氏 名	回数
小 樽	末永 通	4
小 樽	津田 哲哉	4
小 樽	田中 良和	1
小 樽 南	岡崎 芳明	6
小 樽 南	福島 正紘	5
小 樽 南	山村 弘一	4
小 樽 南	京谷 篤	1
余 市	高橋 哲雄	2
恵 庭	大川 武志	3
千 歳	藤本 敏廣	6
千 歳	喜多 康裕	4
千 歳	平間 和弘	3
千 歳	藤川 俊一	3
千 歳	浅利美恵子	1
静 内	細川 好弘	4
静 内	武岡 大佑	3
静 内	佐藤 雅裕	3
静 内	不動 信之	3

クラブ名	氏 名	回数
静 内	山口 俊秀	3
静 内	長浜 和也	3
静 内	山口 一史	2
静 内	宮崎 幸夫	1
伊 達	川岸 洋一	3
伊 達	中嶋 康	3
室 蘭	松岡 健一	2
室 蘭 東	荒井 孝亘	4
室 蘭 東	富田 孝夫	4
室 蘭 北	工藤 一人	2
登 別	遠藤 秀雄	13
函館セントラル	浅野 翼	5
函館五稜郭	岡田 恒男	7
函館五稜郭	窪田 良弘	4
函館五稜郭	村田 信吾	4
函館五稜郭	星井 英人	2
函 館 東	宮崎あけみ	7
函 館 東	宮崎徳三郎	4

クラブ名	氏 名	回数
函 館 東	原 隆俊	3
函 館 東	佐藤 雄喜	3
函 館 東	吉川 達也	3
函 館 東	國谷 大輔	1
函 館 東	杉谷 保子	1
函 館 東	安田 雄二	1
苫 小 牧	前田 浩人	1
苫 小 牧	宮崎 洋二	1
苫小牧東	青山 晴美	1
苫小牧東	内海 雅義	1
苫小牧東	平田 幸彦	1
苫小牧東	小幡 直樹	2
苫小牧北	高橋 康則	3
白 老	若林 尚文	1
白 老	加藤 泰久	1
白 老	熊谷 威二	2

ポール・ハリス・フェロー

クラブ名	氏 名
深 川	木村 喜芳
留 萌	武田 佳彦
芦 別	須藤美紀子
芦 別	高松 孝一
芦 別	大高 敦
滝 川	富樫 悟
滝 川	山岸 稔
滝 川	神部 俊克
滝 川	星野 秀人
岩 見 沢	遠藤 浩一
岩 見 沢	内田 茂伸
栗 山	工藤 英人

クラブ名	氏 名
江 別	富永 政博
江 別	中川 和昭
江 別 西	宍戸 昭
当 別	辻野 浩
札幌モーニング	大泉 清
札幌モーニング	小川 正人
札幌モーニング	鄭 子 龍
札幌モーニング	菊地 啓介
札幌手稲	福尾 実
札幌手稲	山田 啓一
札幌西北	菊田 等
札幌 北	遠藤 亘

クラブ名	氏 名
札幌 北	大舘 政弘
札幌 清田	森 加名恵
札幌 東	池田 薫
札幌 東	小山 茂
札幌 東	渋谷 勝利
札幌 南	滑川 眞永
札幌 南	太田 勝久
札幌 南	谷口 哲也
札幌 南	湊 秀樹
札幌 南	金森 淳司
札幌 幌南	荒木 俊和
新 札幌	福井由美子

クラブ名	氏 名	クラブ名	氏 名	クラブ名	氏 名
小 樽	澤田 忠宏	千歳セントラル	四方 信次	函館セントラル	佐々木龍也
小 樽	嶋田 秀人	静 内	行方 将泰	函 館 東	三輪 生治
小 樽	関 光治	静 内	高田 敏文	函 館 東	小川 真実
小 樽	船山 秀樹	静 内	福原 啓介	苫 小 牧	矢部 大観
小 樽	渡邊 康宏	伊 達	松浦 敏美	苫小牧東	西條 利江
小 樽 南	井手 信治	伊 達	中里 光成	白 老	古俣 博之
余 市	森 義仁	伊 達	平口 泰章	白 老	広地 仁美
余 市	北條 篤	室 蘭	中野 達雄	白 老	川田 泰正
千歳セントラル	岩下 誠	室 蘭 北	藤井 徹也		
千歳セントラル	関根 悟	函 館	渡邊 政久		

ベネファクター

クラブ名	氏 名	回数
岩 見 沢	江本 勝典	21
岩 見 沢	武蔵 輝彦	1
札 幌 東	大友 累	1

(公財) ロータリー米山記念奨学会表彰

米山功労者メジャードナー

クラブ名	氏 名	回数	クラブ名	氏 名	回数	クラブ名	氏 名	回数
岩 見 沢	江本 勝典	30	札幌手稲	福井 敬悟	15	登 別	遠藤 英雄	14
札 幌 北	出村知佳子	16	札幌幌南	羽部 大仁	17	七 飯	上野 一義	28
札幌モーニング	坂本 勝彦	11	札 幌 南	トール・クリステン	18	函館セントラル	伊藤 道雄	18
札 幌 西	石丸修太郎	21	小 樽 南	松浦 光紀	11	函館セントラル	小泉護太郎	11
札 幌 西	森谷 明弘	20	浦 河	蘇田 又栄	10	函館亀田	玉井 清治	10

米山功労者マルチプル

クラブ名	氏 名	回数	クラブ名	氏 名	回数	クラブ名	氏 名	回数
羽 幌	成澤 卓爾	5	札 幌	向山 松秀	2	札 幌 南	橋本 耕二	9
羽 幌	舟橋 隆宏	2	札幌はまなす	坂田 文正	5	札 幌 南	平 昌夫	6
深 川	成田 雅敏	7	札幌はまなす	野村 勝隆	5	札 幌 南	網野 泰文	4
深 川	村中 俊二	4	札幌モーニング	佐藤 元治	6	札 幌 南	伊藤 清	4
深 川	大西 祥太	3	札幌モーニング	紫藤 正行	3	札 幌 南	佐藤 嘉一	4
留 萌	串橋 伸幸	2	札幌モーニング	露木 茂	3	札 幌 南	富樫 昭夫	3
砂 川	竹田 俊一	3	札幌モーニング	若松 孝	3	札 幌 南	本間 良二	3
砂 川	石家 裕二	3	札幌モーニング	内田 芳史	2	札 幌 南	荒井 竜一	2
滝 川	向井 由延	6	札幌手稲	曾我 千鶴	2	札幌幌南	加藤 康夫	3
滝 川	渡邊 恭久	5	札 幌 西	伏木 忠了	7	札幌幌南	有田 均	6
滝 川	鷺尾 昌法	2	札幌西北	西岡 憲廣	4	新 札 幌	石黒 光男	4
滝 川	西田 浩二	2	札幌西北	小川 眞治	8	小 樽	山田 雅敏	4
滝 川	入井 浩樹	2	札幌西北	渡邊 葉子	9	小 樽	西條 文雪	3
岩 見 沢	三嶋 顕	7	札 幌 北	大西 勲	4	小 樽	遠藤友紀雄	2
岩 見 沢	菅野 聖人	3	札 幌 北	草間 孝廣	4	小 樽	佐藤 勝次	2
岩 見 沢	山岡 秀一	2	札 幌 北	佐々木 仕	2	小 樽	杉江俊太郎	2
岩 見 沢	赤山 登	2	札幌真駒内	高野 園子	4	小 樽 南	山村 弘一	2
栗 沢	川幡 直	2	札幌清田	三澤 龍子	2	小 樽 南	岡崎 芳明	4
札 幌	伊藤 義郎	9	札幌清田	村本 忠	2	余 市	高橋 哲雄	3
札 幌	小山 司	9	札 幌 東	出倉 恵隆	5	千 歳	今野 良紀	4
札 幌	古野 重幸	3	札 幌 東	井上 善博	2	静 内	大森 康正	2
札 幌	横井 久	3	札 幌 東	梅澤 英行	2	室 蘭 北	松田 博文	3

クラブ名	氏 名	回数
室 蘭 北	内池 秀光	3
室 蘭 北	工藤 一人	3
室 蘭 北	廣瀬 禎	3
函 館	日下部博久	5

クラブ名	氏 名	回数
函 館	森川 順治	4
函 館	竹田 公一	4
函館五稜郭	河村 隆平	8
函館五稜郭	石坂 仁	5

クラブ名	氏 名	回数
苫小牧東	斎藤 英明	3
白 老	加藤 泰久	2

米山功労者

クラブ名	氏 名	回数
深 川	木村 喜芳	1
滝 川	熊谷美由紀	1
滝 川	星野 秀人	1
滝 川	高橋 賢司	1
岩見沢	内田 茂伸	1
岩見沢	菊谷 昌泰	1
江 別	武田孝代司	1
札幌はまなす	荒井 虎史	1
札幌はまなす	佐藤 勉	1
札幌モーニング	大泉 清	1
札幌モーニング	山賀 英司	1
札幌手稲	山田 啓一	1
札幌手稲	齋藤 利和	1
札幌手稲	福尾 実	1
札幌西北	穴倉 勉彌	1
札 幌 東	藤田美津夫	1

クラブ名	氏 名	回数
札 幌 東	池田 薫	1
札 幌 東	古瀬 康紘	1
札 幌 東	岡澤 邦幸	1
札 幌 東	大越 誠之	1
札 幌 南	遠藤 昭一	1
札 幌 南	星野 尚夫	1
札 幌 南	堀元 雅司	1
札幌幌南	小里 学	1
札幌幌南	原口 康洋	1
札幌幌南	斉藤 朋博	1
小 樽	稲垣 哲也	1
小 樽	江川 栄一	1
小 樽	荻野 徹嚴	1
小 樽	嶋田 秀人	1
小 樽	関 光治	1
小 樽	安田友美子	1

クラブ名	氏 名	回数
余 市	森 義仁	1
余 市	北條 篤	1
恵 庭	中川 富雄	1
伊 達	西川 正	1
室 蘭	中野 達雄	1
室 蘭 東	森 秀樹	1
室 蘭 北	斉藤 聡	1
室 蘭 北	徳永 賢二	1
函館セントラル	高橋 勝美	1
函 館 東	安田 雄二	1
函 館 東	近藤 憲昭	1
函 館 北	増山 正	1
苫小牧東	佐藤 史典	1
苫小牧北	佐々木喜久子	1
苫小牧北	山崎 肇	1

米山功労クラブ

クラブ名	回 数
留 萌	13
滝 川	38
美 唄	13
岩見沢	43
札 幌	42
札 幌 北	33
札幌モーニング	21

クラブ名	回 数
札 幌 西	30
札幌手稲	32
札 幌 東	62
札幌幌南	25
札 幌 南	51
小 樽	16
余 市	6

クラブ名	回 数
室 蘭 東	9
函館亀田	7
函館セントラル	7
函館五稜郭	32

■ ご来賓・ご招待者ご芳名 ※敬称略

●ご来賓

北海道知事
鈴木 直道
小樽市市長
迫 俊哉

●ロータリーご来賓

国際ロータリー会長代理
服部 陽子
(国際ロータリー2750地区 東京広尾RC)

●ご招待者(地区外)

第 2550 地区パストガバナー
RI ラーニング・ファシリテーター
中谷 研一 (足利東RC)

第 2620 地区パストガバナー
ロータリーコーディネーター (第二地域)
野口 英一 (甲府RC)

第 2830 地区ガバナー
築館 智大 (八戸RC)

第 2580 地区立法案検討副委員長
鈴木 隆雄 (東京江東RC)

第 2570 地区パストガバナー
ポリオ根絶コーディネーター (第一地域)
高柳 育行 (本庄RC)

第 2500 地区パストガバナー
元 RI 研修リーダー
足立 功一 (釧路北RC)

第 2500 地区ガバナー
鶴見誠一郎 (紋別港RC)

第 2580 地区社会奉仕委員長
八木 敏廣 (東京新宿RC)

第 2780 地区パストガバナー
恒久基金 / 大口寄付アドバイザー
杉岡 芳樹 (相模原RC)

第 2750 地区ガバナー
宮崎陽市郎 (東京三鷹RC)

第 2580 地区立法案検討委員長
土居 岩生 (東京お茶の水RC)

第 3481 地区直前会長
謝 冠園 (台湾幸福RC)

■ 姉妹クラブ ※敬称略

阿部 敏和 (酒田RC)
水口 真一 (酒田RC)

高橋 弘哉 (酒田RC)
阿部 昭 (酒田RC)

■ 友好クラブ ※敬称略

窪倉 保 (横浜中RC)
柴田 健 (横浜中RC)
菊池 一行 (横浜中RC)

千田 晴久 (横浜中RC)
山形 光正 (横浜中RC)
斉藤恵美子 (横浜中RC)

武藤 健一 (横浜中RC)
松井 隆史 (横浜中RC)
中島 勤 (横浜中RC)

地区大会特別参加者名簿

※敬称略・順不同

札幌インナーホイルクラブ

柏原 克子 八木 友美

インターアクトクラブ (顧問教官も含む)

●札幌山の手高等学校 IAC (札幌西北)

西田 恵理 小柳 柊太
藤谷 心優 鈴木 美麗
片野 友萌 竹山 舜
大塚 紳司 田崎 兼伸
笹森 心愛 藏谷 春菜
藤森 風翔 小林 唯人
高橋 遼 安部 瑠音
午來 祐善 立花 妃乃

●北海高等学校 IAC (札幌東)

恩田 栞奈 眞中 美滯
寺島 莉桜 北村 菜々美
関井 さやか 森田 萌生
近藤 幹菜 武藤 恵美
岩崎 寿那 高橋 芽愛
別段 華蓮 金澤 愛心
三船 うらら 家山 楓梨
菊地 文宏

●札幌龍谷学園高等学校 IAC (札幌モーニング)

平 羽那 沼澤 信之介
東 勇成 伊藤 心優
長尾 一輝 松本 斗季矢
田中 文佳 多田 耀太
平 妃那 山岸 明日香
林 優吾
近藤 蓮音
羽柴 壮琉

ローターアクトクラブ

●赤平 RAC

松尾 駿佑 伊達 大智
白谷 七 近藤 絢香
長谷川 大介

●札幌幌南 RAC

小菅 亮 村吉 晃一

●室蘭北 RAC

上坂 稜 小倉 聡一郎

●千歳 RAC

城地 和哉

交換留学生

●札幌モーニング

ヘレン パトリシア ホスキンス

●恵庭

サマンサ ゴーリー

ROTEX

●恵庭

水野 日菜子 川口 侑楠

米山奨学生

●滝川 クリステイーナ タニシャ シュミット

●岩見沢 田 影

●岩見沢東 チュー, コック ダット

●江別 王 馨晨

●江別西 ドルジバット・ビンデリヤ

●札幌西 アルルワイリ・アプデウールラティフファーハン

●札幌北 代 書芸

●札幌東 段 開峰

●札幌大通公園 白 浩岑

●新札幌 ヌル エミラ イルディナ ビンディ ノラズミ

●小樽南 陳 秋梅

●恵庭 ダン タック フー

●室蘭北 アニス ジャズワニ キスティナ ビンティ ヒシャム

●函館 ハトウシンハ、クシニ ウマンガ

地区大会登録者名簿

※敬称略・順不同

第1グループ

羽幌 RC

平山美知子	蛭名 修	鈴木 義徳
梅田 初男	賓藤 吉信	原田 正志
小川原 靖	出口 治康	石川 士史
忠津 章	有海 曜	大橋 鉄夫
竹内 秀樹	大木 智之	武田 弘樹

留萌 RC

福士 幸子	関野 紘史	辻本 哲也
桜元 克則	燕 美雪	青山 貴幸
武田 佳彦	山本 譲二	大嶋 孝弘
渡邊 裕久	田中 卓	高橋 理佳
谷口 善彦	西原 正幸	對馬 健一
串橋 伸幸	鈴木 康伸	伊藤 伸一

深川 RC

圓淨 貴之	寺島 康宏	飛弾野貴広
佐々木弘有	長谷川幸央	伊東由紀夫
成田 昭彦	清水 秀晃	児島 俊一
村中 俊二	大西 祥太	成田 雅敏
大西 道祥	富永 隆夫	宮澤 孝司

第2グループ

芦別 RC

多田 康司	大高 敦	早坂 勝
稲津 寿一	高松 孝一	石川 洋一
櫛田 秀一	宗方 裕之	北村 真
水口 昭広	阿部 真久	林 秀樹
田中 潤	小畑 陽彦	

砂川 RC

沢田 広志	永森 直弘	染谷 昇
石家 裕二	堀江 和美	小野 志伸
山内 勝人	中村 和弘	竹田 俊一
松原 重俊	大橋 俊彦	田中 敏文
高坂 誠	造田 孝志	瓜 俊雄

赤平 RC

早坂 喜幸	岡本 織絵	近藤 絢香
堀口 貴久	伊達 大智	高江智和理
長谷川大介	宇戸 啓隆	松尾 駿佑
三上 洸二	阿部 浩保	白谷 七

滝川 RC

入井 浩樹	畠山かおる	渡邊要一郎
神部志乃信	村田 雅彦	奥山かおる
杉山 武司	山根 幹生	篠島 由一
西田 浩二	渡邊 恭久	田端 千裕
宮崎 英彰	浮田 優	水原 勝之
山崎 修	佐伯 敏和	山口 洋史
渡辺 浩司	竹田 行宏	鷺尾 昌法
上田 秀司	前野 史賀	藤井 謙和
神部 俊克	山口 清悦	
高橋 賢司	山本 充	

第3グループ

岩見沢 RC

佐藤 紀征	中村 興治	大屋 均
山本 公彦	小川 有積	武蔵 輝彦
山岡 秀一	大西 健夫	中路 幹雄
赤山 登	片山 博史	西方 洋昭

青木 稔	齋藤 誠一	山根 良隆
江本 勝典	白杵 努	齋藤 聡
鎌田 勇	上野 英一	木元 久嗣
前川 英介	荒井 悦生	内田 茂伸
嵯峨 義輝	金田 貴彦	徳重 寛道
谷 勲	嵯峨 弥生	宮田 史子

岩見沢東 RC

伊澤 珠樹	長田 正文	西 任
早坂 哲	竹村 正義	

栗山 RC

小澤 茂晴	関 吉一郎	三浦 和江
北野 隆春	福田 宏美	工藤 英人
松下 早苗	伊藤 三也	土井 道子
山崎 信治	住友 茂	山本 秀一

栗沢 RC

中田 信広	西島 義孝	井形 明宏
本田 雅義	金山 英昭	

江別 RC

八島 壮之	佐々木 光治	野呂 三之
兼子 弘詔	武田 孝代司	堀井 豪
鷹架 諭	中川 和昭	笹浪 哲雄
山田 誠	菊田 政徳	

江別西 RC

宮崎 英治	矢戸 昭	石川 生三
上田 芳明	西脇 信治	高田 寛司
武田 勇次	橋本 淳一	細田 克美
森木 潤一	鈴木 誠	
雉子谷 明	支部 英孝	

当別 RC

武田龍太郎	米口 稔	高橋 毅典
森田 利幸	下段 寿之	
宮司 正毅	辻野 浩	

美唄 RC

石田 康博	高瀬謙二郎	平田 聡之
岸山 一郎	坂東 久男	川上 譲治
永井 仁	三浦 武美	武市 雄治
円子 保	大坪 誠治	前川 隆
伊藤 智徳	高橋 一裕	

第4グループ

札幌 RC

阿部 晃士	富岡 俊介	竹田 淳
榎並 康之	山本 徹	田中 伸哉
原田 寛	我孫子 周	鶴井 亨
林 浩一	遠藤 光弘	山崎 泰弘
今出 清陽	橋本 毅	新谷 聡
出田 恵三	林 将告	藤門 雅史
加藤 欽也	今給黎康一	林 敬一
北川 稔	加川 克仁	平尾 武史
今 憲昭	加藤 哲也	井上 健
久保田克己	北原 章弘	葛西 克彦
宮田 昌利	小山 信	勝田 直樹
長尾 昭	桑田 一郎	河野 竜夫
中村 達郎	森本 光俊	小山 司
西居 昭彦	長瀬 隆則	松井 洋昭
岡本 宜樹	中野 真寿	森本 卓
櫻井 政経	丹羽 祐勝	中川 秀世
佐藤 由理	沖津 充男	中島 啓
鈴木 高明	佐々木真司	大原 雅
武部 幸紀	泉水 誠之	小野 博樹
田中 暢優	田畑 善基	指川 司

瀬尾 暢宏	伊藤 義郎	齊藤 勝
田部 敏之	片田 真理	佐藤 英一
竹原 慎雅	河村 学	篠原 信雄
田中 優希	今 日出人	田島 隆宏
渡邊 克仁	小山恵美子	竹中 康博
矢納 正人	松下 直樹	樋川 恒一
東 幸治	向井 祥男	綿貫 泰之
福山 眞司	中川 竜	横沢 龍朗
林 研一	中田 隆博	
星野 竜一	岡本 常彦	

札幌はまなす RC

愛須 一史	齊藤 淳一	半澤 浩定
衣澤 征美	高岡 真士	森 成世
佐藤 勉	野村 勝隆	北川 敏夫
徳物 葉子	三津橋 智	坂田 文正
光川 眞量	荒井 虎史	玉造 啓子
湯浅 一哉	坂田 淳二	前田 元照
青木 貞康	高野 淳也	山崎 泉

札幌モーニング RC

内田 芳史	若松 孝	小松崎文一
酒井 誠一	露木 茂	大泉 清
伊東 祐一	酒井 博幸	阿部 竜司
星 桂一	高橋 颯	齋藤 貴之
中野 慎也	大西 正啓	齋藤 正啓
谷脇 明宏	藤森 敏昭	天内 和幸
井野 智	武田 司	宮部 光幸
小川 正人	菊地 啓介	賀来 亨
佐藤 元治	原田 哲也	
芳賀 広建	大崎 康二	

札幌手稲 RC

相原 健一	池田 和陽	坂本 知己
福井 敬悟	小山 秀昭	高張 秀人
長谷川太洋	中村 和雄	山田 啓一
檜山 幸利	齋藤 利和	出崎 竜也
岸本 幸雄	砂川 修	福島 有也
長瀬真一郎	渡辺里代子	久末 晃介
大塚 哲也	阿部 一博	石川 信行
曾我 千鶴	福尾 実	村山 拓司
和田 敬友	平田 勝美	丹羽 祐而
秋川 真理	石田 雅巳	三戸 義美
福井 幸代	宮坂 勝文	對馬 弘樹
平川 香織	根岸 優介	

札幌西 RC

秋葉 聡志	川端 忠範	新出 俊明
伏木 淳	木村 洋子	谷口 慎子
林 菜つみ	長島 俊彦	若月 裕之
入澤 拓也	大越 克巳	伏木 忠了
神林 謙一	下村 卓也	長谷川美栄子
川村 忠	田中 昭次	久木 利弘
村上 直嗣	徳田 雄大	金谷 憲明
小川 義明	米倉 弘之	川村 仁一
清水 彰	安積 孝三	森谷 明弘
高橋 都	浜松 義弘	中村 拓哉
徳田 禎久	広瀬 恵子	島本 和明
矢橋 温郎	石谷 邦彦	田口 圭三
雨貝 尚子	河口 義憲	戸部 謙一
芳賀 信裕	前原 絢子	矢吹 徹雄
平野 龍一	中村 真規	
石丸修太郎	大村 東生	

札幌西北 RC

西 智樹	小川 眞治	安田 浩司
小林 秀樹	遠島 芳然	菊田 等
関 欣昌	松山恵美子	西岡 憲廣
富岡 公治	海野 均	得能 宗洋
石垣 尚之	濱中 宣樹	岡出 敏美
葛西 純一	小川 若木	
久保 隆	渡邊 葉子	

札幌北 RC

赤木 道子	鈴木 隆也	渡辺 亮
栗原 清昭	林 里紅	藏重 健人
佐々木 仕	三澤 繁実	草間 孝廣
中村 越子	若狭 博徳	斉藤 昌一
真室 潤一	川内 玄太	中園 直樹
吉田 美穂	遠藤 亘	藤城 英明
大館 政弘	小林 博	吉井 千博
谷口 昭博	出村知佳子	青山 雅彦
阿部 弘	姫野 芳安	瀧澤隆之介
黒川 篤	蓑輪 隆宏	

第5グループ

札幌ライラック RC

清水 和義	中川 岳
谷本 泰則	何 暁光

札幌真駒内 RC

川村 明伸	和田 昌代	澁谷 良治
鈴木 郁子	及川 恵	
北島 正之	山内 正子	

札幌清田 RC

阿部 哲夫	三戸 和昭	真鍋 昌市
中島 永昭	江口 洸	村本 忠

小仲美智子	森 加名恵	三澤 龍子
三浦 信一	高橋 宣充	

札幌大通公園 RC

OIDOV BATBAYAR	山崎 英哲	小笠原 肇
鈴木 抄織	菅原 秀二	

札幌東 RC

出倉 恵隆	大谷 莊一	若原 秀明
井上 善博	瀬尾 昌資	山口 史朗
児島 義明	塚原 房樹	古瀬 康紘
奥村 敦史	和田 一仁	伏木 進
斉藤 博之	八木 徹	喜多 伸行
竹内 俊朗	石田 剛毅	岡澤 邦幸
梅澤 英行	宮本 典英	大屋 勝次
渡辺 哲則	福見 隼人	重松 高浩
井元 誉明	河原 昌文	梅光 伸行
高山 和宏	村田 千尋	渡辺 健太
江縁 幹夫	大友 累	吉山 八郎
犬嶋 清幸	柴山 和範	佐々木和宏
小山 茂	塚原 孝子	

札幌南 RC

朝妻 史江	渡邊 宙	山上 晃広
池田 達昭	網野 泰文	荒井 竜一
大岸麻衣子	板橋 克浩	稲津 亘
櫛引 拓禎	大谷 莊佐	金村 裕子
鄭 眞旭	小仲 秀俊	佐藤 嘉一
武部 紘子	須田 守	田尾 大樹
トキ・クリステン	谷口 哲也	寺江伸一郎
白 諾貝	中矢 一国	滑川 眞永
平野 啓太	橋本 耕二	幡 優子
堀元 雅司	福山恵太郎	福山 耕司
村田 秀人	松山 明史	湊 秀樹

山本 秀雄	嶋津 博	服部 直毅
井桵 博之	武部 實	舟本 秀男
岩浪 治郎	徳中 征之	村上 和輝
北川 孝之	西谷 春海	山谷 英一

札幌幌南 RC

荒木 俊和	中村 笛美	津村 好範
蝦名 大典	池戸 恵子	新山 将督
河崎 紀行	加賀 謙二	羽部 大仁
斉藤 朋博	小里 学	水野 佳朋
里見 英樹	佐藤 和広	山田 良一
菅野 亮	志田亜里紗	原口 康洋
寺尾 壽晃	田中 雅章	三浦 琢
有田 均	長沢 祐純	深貝 亨
大友 涼	伊藤 利道	宮澤 学志
北川 好和	笠松 利紀	真鍋 和久
佐々木雅之	小林麻由美	森尾 薫
志田 勇人	佐藤祐一郎	
高橋 恵	島田 学	

新札幌 RC

有田 京史	柄澤 衣美	谷地中 勉
本間 勝行	村上 寛	福井由美子
金田 成高	佐藤 勝治	伊藤 豊
宮川 明	田中 忠行	松野 和司
大石 真貴	東 さえこ	南部 賢
清水 昭子	石黒 光男	芝 雄亮
山岡 誠	川崎 貴憲	渡辺麻里衣
安藤 泉	中川 功	
池田規久雄	瀬川 俊男	

第6グループ

岩内 RC

井筒 徹	篠崎 敬史	岩城 直人
------	-------	-------

小西 博之	吉田 栄治	野澤 幸平
山本 満弘	井戸 幸夫	木村 拓司
東山 洋徹	成田 賢一	
川崎 孝之	西川恵美子	

小樽 RC

飴谷 佳一	遠藤友紀雄	宮本 孝雄
井上 晃	荻野 徹嚴	安田友美子
江端 竜雄	加藤 剛	渡邊 康宏
太田 智子	河辺 由清	橋本 斉
影山 豊彦	西條 文雪	浜田 健嗣
上参郷光祐	佐藤 正嗣	平松 正人
熊澤 隆樹	嵩村 公宏	松倉 弘
佐藤 勝次	関 光治	山田 雅敏
渋谷 繁男	津田 哲哉	米山 幸宏
杉江俊太郎	野口 英機	村岡 亘
田中 良和	伊藤 保夫	橋本 茂樹
寺下 知志	江川 栄一	半田 善行
荒木 博昭	大川久美子	舩水 浩司
宇山 孝志	小野 晃裕	松本 章
海老名敏男	金久保兵士郎	渡邊 裕文
小川 修生	木林 哲也	村井 浩昭
加世田十七七	坂田 道昭	吉村 克之
上浦 庸司	澤田 忠宏	秦 健一郎
菰田 尚正	末永 通	久末 智章
佐藤 慶一	高木 紀和	舩山 秀樹
嶋田 秀人	土屋 大乘	松本 京子
鷺見 悠	野口 禮二	三宅 大輔
谷内 宏行	能島 正朋	山口真三子
中野 豊	花和 嘉貴	渡辺 幸生
石井 伸和	比良 友彦	
栄森 剛	星野 昭雄	

小樽南 RC

荒田 純司	京谷 篤	斎田 義孝
林 正章	見延庄三郎	佐藤 勉
堀内万記子	盛 昭義	白石 亨一
加藤 正幸	野村 定弘	山村 弘一
工藤佐千夫	岡崎 芳明	山田 厚
松浦 光紀	佐藤 公俊	拝田 昇
宮川 英隆	佐藤 喜典	保知 清人
新倉 吉晴	山下 秀治	井手 信治
太田 宏司	米山 八郎	小林 英夫
斎藤 仁	福島 正紘	松尾 香和
佐藤 友美	廣部 隆夫	三栖 裕司
田中 彰一	伊藤 嘉英	中山 仁史
山本 政秀	北野 明宜	大淵 勝敏
地山 敬胤	前川 勝美	斎藤 英伸
廣瀬 保男	湊 亨	佐藤 雅之
石川 稔	村越 仁	鈴木 崇史
桂 正俊	小笠原俊介	山谷 憲弘

小樽銭函 RC

笈川 長生	神野 剛久	石丸 容義
上村百合子	坂口 友朗	三輪 俊之

余市 RC

北條 篤	毛利 公彦	吉野 純一
本多 宏行	沼端 慶輔	木村 美紀
中井 克雄	川向 基紀	浦田 治
杉本 彰	本間 克朗	佐々木直也
森 義仁	土方 敬久	平田 進
木村 英司	佐々木秀樹	高橋 伸吾
清水 義信	高橋 哲雄	中道 正憲
高見 祐司	吉原 伸	庄木 里美
林 和秀	藤田 功	

蘭越 RC

山田 一晴	馬場 充	佐藤 義久
小澤 修	志比川 武	福島 雅史
白石 勇	芳賀 卓也	

倶知安 RC

中川 徹	須藤 淳司	長谷 一
吉田 聡	九津見真由美	石本 要
青木 夏暁	旭 克久	古谷 眞司

第7グループ

恵庭 RC

川口 了久	齋藤 茂生	弘中司嘉子
秋山 有洋	白鳥 洋子	水野 凡
大川 健一	竹田 一則	横手 義信
加賀谷知彦	中里 邦治	西村 英晃
久野 等	平川 直人	岩下 則雄
篠原 隆仁	増川 研司	小野田正和
高田 英季	山澤 興治	日下 健三
中川 富雄	渡部 俊弘	櫻田 弦樹
日比野卓也	前田 利和	鈴木 忠治
福田 悟	一ノ瀬悠之	敦澤 君治
八重樫 聡	尾谷 敏利	早瀬 源一
鷲田 政昭	川原 光男	弘中 正利
大川 武志	作田 貴幸	宮内 光則
石川 俊則	鈴木伊佐男	吉田 結喜
大場 優光	館内 正子	
金平 隆治	梨澤 敏	

千歳 RC

福田 武男	太田千鶴子	斉藤えみこ
井溪 利光	神野 幹士	吉岡 毅
大西 正幸	曙 嘉輝	武石 考司
前田 浩志	大西 信也	吉田 一也
稲川 和伸	工藤 泰仙	藤川 俊一
小畑 彰	今野 良紀	吉田 博美
宮川 浩一	村松 繁克	

千歳セントラル RC

望月 秀則	岩下 誠	藤本 裕之
大下 和志	菅原百合子	田口 廣
白木 松敏	南雲 勇次	四方 信次
高野 悠	坂井 治	高木 昌人
本村 信人	白田 暢	村上 英恵
桑島 昌子	関根 悟	

長沼 RC

花輪 博一	真田 隆弘	池内 昌之
清水 慧子	古川 大之	高木 繁秀
田嶋 俊美	天野 敦子	
小西 教夫	四釜慎一郎	

北広島 RC

藤田 真司	小森 宏明	仲野 誠
大谷 恵一	齋藤 心	羽田 好志
橘 功記	加藤 寛治	櫻井 遊
岡本 憲幸	秦 正人	

由仁 RC

大坂 直人

第8グループ

えりも RC

傳法 貴司	高橋 祐之	扇谷 芳憲
荒木 穰	山形 弘	橋本 維応
東山美夜子	三木田順治	

浦河 RC

佐野 元健	江川美津子	小田 勇
小関 孝雄	小田 竜司	武田 豊
秋山 靖典	工藤 一康	久保 佳幸
菅 真一	徳田 正人	

三石 RC

橋本 勝司	中村 一重	富永 信
伊藤 寛広	八木 一洋	

静内 RC

在田 恒昌	富岡 豊	細川知恵子
河田 貢	西村 和夫	佐藤 雅裕
掛川 亨	細川 好弘	不動 新作
長浜 和也	中畑 譲司	中島 滋
山田 久磨	不動 信之	
田中 伸幸	木村 千晶	

様似 RC

原 博昭	小林 栄一	工藤 仁
久野 俊昭	高村 洋子	山本 康仁
橋爪 伸恵	加藤 鉄二	楫川 正浩

第9グループ

伊達 RC

松浦 敏美	唯木 俊克	伊藤 金藏
廣中 学	吉村 亮輔	新井田昌孝
栗本 茂生	大光 力	佐藤 一英

山崎 満晴	西川 正	栗橋 徳一
安宅 修治	鈴木 啓一	小野 由美
河原 文博	早瀬 芳宏	鈴木 敏則

室蘭 RC

中野 達雄	武田 和朗	吉澤 政彦
村井 敦司	末長 守人	濱中 實
細川 聡子	平林 滋明	山室 幸絵

室蘭東 RC

森 秀樹	内池 秀樹	根津 澄人
上田 康郎	竹本 将人	眞柄 優子
佐々木彰夫	古川 真之	井上 幸司
松永 英樹	石田 実	今野 隆男
荒井 孝亘	金子みづえ	日沼 順子

室蘭北 RC

藤井 徹也	千葉 大和	志水 朋子
小野寺浩二	本間 寛菜	大和田敦基
菅原 正明	川本 康裕	斉藤 聡
西野 義人	内池 秀光	徳永 賢二
米塚 豊	工藤 一人	宮本 一章
猪俣 英二	塚田 智憲	赤崎 幸三
加藤 栄吉	本間 信	

登別 RC

若木 康夫	増田チエ子	守屋 聡
石田 佳久	斎藤 正史	
鈴木 高士	川田 弘教	

洞爺湖 RC

小田原香織	増山 顕佑	伊藤 善広
新田 裕基	荒 秀樹	
吉田 聡	三浦 潤介	

第 10 グループ

七飯 RC

向井 克彦	吉田 幸洋	赤塚 章
宮村 拓郎	石川 強	

森 RC

松浦 仁	島野 祐司	山崎 真護
鈴木 正幸	嶋崎 修一	

長万部 RC

村松 和弘	角 健	新村宏一郎
-------	-----	-------

函館 RC

原 一彰	二本柳慶一	工藤 敏夫
国立 金助	渡邊 政久	森川 順治
森川 純子	鍵谷 和徳	齋藤 利仁
佐藤 友康	宮崎 昌	中澤 郁雄
岩塚 晃一	野口 純平	
国立 優子	飯野 智子	

函館セントラル RC

浅野 翼	佐々木龍也
中原 勝司	輪島 幹哉

函館亀田 RC

江頭 進	金澤 浩幸	佐藤 猛
埴山 元	大槻 継也	岩川 信子
前田 健二	玉井 優子	木戸浦静男
玉井 清治	稲葉 直房	高木 和良
堀 たけ子	川口 孝徳	

第 11 グループ

江差 RC

田畑 裕士	大口 範晃	伊藤 武
隅田 秀男	前川 敏雄	

函館五稜郭 RC

濱中 公也	光銭 裕二	柏木 秀之
小林 大輔	酒井 信子	大日向豊吉
酒井 正人	廣田 友博	
平林 秀樹	窪田 良弘	

函館東 RC

番場 優	松井 明子	安田 雄二
黒島 一生	新保 栄子	國谷 大輔
佐藤 美子	照井 啓太	宮崎あけみ
吉村 昭夫	五十嵐 稔	吉川 達也
平井 喜一	三輪 生治	

函館北 RC

山下 拓郎

北斗 RC

新関 一夫	米塚 弘悦	佐々木智明
森濱 重信	小橋 永吾	

第 12 グループ

苫小牧 RC

青地 洋一	矢部 大観	宮崎 洋二
小保方伸一	浅間 尚夫	若林 利和
貴志 雅之	大岩 均	板谷 剛
篠原 実	工藤 裕介	尾野 仁昭
中原 茂人	近澤 洋太	小林 健司
林 和則	中島 康博	成田 幸隆
松浦 大希	福森 秀希	西川 良雄

細谷 祐輔	梶川 弘樹	本間 利英
南山 和彦	志田 昌紀	柳瀬留美子
渡邊 武志	成田 雅則	渡辺 典子
市町 峰行	橋本 洋一	

苫小牧東 RC

内海 雅義	佐藤 史典	斎藤 英明
佐藤 正	鈴木 浩之	南沢 雄二
山田 亮太	小幡 直樹	
緒方 康人	水元 修治	

苫小牧北 RC

矢部 繁	豊田 健一	長谷川 智
山田 新一	長居 順一	朝倉 瑞昌
湯谷 和彦	岡田 秀樹	赤川 勉
高橋 康則	菅野 秀俊	

白老 RC

鈴木 武幸	山田 和子	加藤 泰久
清水 尚昭	川田 泰正	田辺 真樹
広地 仁美	倉地 美直	山本 浩平
吉田 亮一	笠井 博揮	田代 佳充
鈴木 琢磨	浅利 健自	

支出の部

(単位: 円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
E. 旅費				
1. ガバナー会	200,000	122,484	77,516	4 回開催
2. ガバナー・元・次期ガバナー会	250,000	112,000	138,000	
3. ローター研究会	700,000	704,390	△ 4,390	兵庫開催
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	0	
5. 全国ガバナーエレクト会議	200,000	288,180	△ 88,180	
6. 全国地区連絡会議	400,000	409,300	△ 9,300	全国青少年交換委員会、RYLA 研究会、 全国ローターアクト研修会、全国インターアクト研修会 学友全国総会、RLI 日本支部総会 クラブ活性化ワークショップ
7. その他会議費	200,000	192,004	7,996	
E の部 小計	2,650,000	2,528,358	121,642	
F. ガバナー事務所費	17,800,000	13,415,516	4,384,484	
G. ガバナーエレクト事務所費	0	0	0	
H. ガバナー月信発行費	1,400,000	1,271,490	128,510	データ作成費
I. ガバナー公式訪問費	1,000,000	1,000,000	0	
J. 地区文献資料室費	1,000,000	997,198	2,802	移転費用一部負担金
K. 地区 IT 活動費	1,000,000	1,473,000	△ 473,000	HP バージョンアップ含
L. 地区広報活動費	300,000	287,440	12,560	
M. RIJYEM 賠償責任保険費	200,000	175,140	24,860	70×2,502 人
N. 総予備費	150,000	0	150,000	
O. 臨時支出金	0	0	0	
支 出 合 計	31,767,605	27,119,967	4,647,638	
次期繰越金	19,537,045	25,826,725	△ 6,289,680	
総 計	51,304,650	52,946,692	△ 1,642,042	

■ 特別地区資金

収入の部

(単位: 円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	17,815,371	24,263,533	△ 6,448,162	
2. 特別地区資金 上期 @ 3,150		7,336,350		2,329 名
@ 1,575	7,897,050	22,050	538,650	衛星クラブ 14 名
下期 @ 3,150		7,537,950		2,393 名
@ 1,575	7,897,050	36,225	322,875	衛星クラブ 23 名
3. 雑収入	0	0	0	
収 入 合 計	33,609,471	39,196,108	△ 5,586,637	

支出の部

(単位: 円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
A. 負担金				
1. 地区大会	5,014,000	2,617,526	2,396,474	
2. 地区研修・協議会	2,983,330	2,983,330	0	
A の部 小計	7,997,330	5,600,856	2,396,474	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費	927,590	927,590	0	
2. 地区ローターアクト事業費	1,351,273	1,124,152	227,121	
3. 地区青少年交換事業費	2,266,328	644,385	1,621,943	
4. 地区社会奉仕事業費	102,787	102,787	0	
5. 地区国際奉仕・V T T 事業費	1,205,867	1,205,867	0	
6. 地区財団奨学生事業費	436,218	436,218	0	
7. 地区学友事業費	97,773	97,773	0	
8. サブ世話クラブ事業費	77,717	77,717	0	
9. 世界平和奨学金事業費	20,056	0	20,056	
10. ライラ (RYLA) 事業費	378,557	332,310	46,247	
11. 地区米山記念奨学会・学友研修費	200,560	0	200,560	
12. RLI 事業費	200,560	194,257	6,303	
13. その他の事業費	125,350	87,970	37,380	
14. 予備費	406,134	200,000	206,134	
B の部 小計	7,796,770	5,431,026	2,365,744	
C. 規定審議会代議員費	0	0	0	
D. ポリオプラス事業費	400,000	400,000	0	
E. 地区活動対策費	900,000	500,000	400,000	
支 出 合 計	17,094,100	11,931,882	5,162,218	
次期繰越金	16,515,371	27,264,226	△ 6,448,162	
総 計	33,609,471	39,196,108	△ 5,586,637	

■ 第2510地区資金次期繰越金

(単位:円)

科 目	前期繰越金	本年度収入	収入合計	本年度支出計	次期繰越金
一般地区資金	25,260,253	27,686,439	52,946,692	27,119,967	25,826,725
特別地区資金	24,263,533	14,932,575	39,196,108	11,931,882	27,264,226
第2510地区資金合計	49,523,786	42,619,014	92,142,800	39,051,849	53,090,951

■ ガバナー事務費の内訳細目

(単位:円)

科 目	予算額	2021-2022 実績額	2022-2023 決算額	摘 要	摘 要
2021-2022 年度一般地区資金	4,000,000	3,367,105		3,367,105	632,895
2022-2023 年度一般地区資金	17,800,000		13,415,512	13,415,512	4,384,488
合 計	21,800,000	3,367,105	13,415,512	16,782,617	5,017,383

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	2021-2022 実績額	2022-2023 決算額	総合計	摘 要
1. 給与手当	6,800,000	458,635	5,668,362	6,126,997	673,003
2. 退職給付引当金	180,000	0	180,000	180,000	0
3. 家賃・光熱費	2,800,000	500,000	2,258,908	2,758,908	41,092
4. リース料	500,000	0	227,485	227,485	272,515
5. 事務用品費	500,000	75,710	79,954	155,664	344,336
6. 印刷費	1,300,000	391,930	795,086	1,187,016	112,984
7. 登録料など負担金	550,000	98,000	68,000	166,000	384,000
8. 会議費	850,000	235,550	1,142,606	1,378,156	△528,156
9. 通信費	970,000	236,768	342,747	579,515	390,485
10. 旅費交通費	1,800,000	196,220	482,974	679,194	1,120,806
11. 渉外費	700,000	274,180	330,000	604,180	95,820
12. 資料費	450,000	6,600	31,300	37,900	412,100
13. 備品費	200,000	550	18,818	19,368	180,632
14. 地区要覧費	600,000	0	600,000	600,000	0
15. ガバナー補佐事務費	1,500,000	690,000	690,000	1,380,000	120,000
16. 雑費	1,680,000	202,962	499,272	702,234	977,766
17. 予備費	420,000	0	0	0	420,000
合 計	21,800,000	3,367,105	13,415,512	16,782,617	5,017,383

第1. 決算書注記

- 地区資金クラブ負担金の収受にかかる地区内会員数は次の通りです。
 - 会員数 上期 2,329 名・衛星クラブ会員 14 名
下期 2,393 名・衛星クラブ会員 23 名
 - 会員1人当たり負担額
 上期 一般地区資金 5,400 円 特別地区資金 3,150 円
 下期 // 5,400 円 // 3,150 円
 上期 // 衛星クラブ会員 2,700 円 // 衛星クラブ会員 1,575 円
 下期 // 衛星クラブ会員 2,700 円 // 衛星クラブ会員 1,575 円
- ガバナー月信購読料は今年度よりペーパーレス化のため、計上はありません。
- 収入の部及び支出の部において予算額を上回った科目に△を付記しました。

第2. 資金区分別概要

1. 一般地区資金

(1) 収入の部

①地区内会員数の減少(予算比:上期-171名、下期-107名)のため、会員負担金収入は予算に対して下記の通り減収となりました。

上期 923,400円 下期 553,500円 合計 1,476,900円

②前期繰越金は予算額より1,098,680円多い25,260,253円となりました。

(2) 支出の部

①会議費について、指名委員会が3回開催された為、支出超過しました。

②ガバナー補佐会議費はZOOM開催予定を対面開催としたため、支出超過しました。

③旅費についてガバナーエレクト会議は登録料の値上がり、全国連絡会議については会議数の増加と交通費の値上がりのため、支出超過しました。

④IT活動費についてホームページバージョンアップにより支出超過しました。

⑤ガバナー事務所費の会議費について地区研修・協議会の赤字分を補填したため、支出超過しました。

⑥ガバナー事務所費の内訳細目には、ガバナーエレクト事務所費を含む総額について計上しました。

ガバナーエレクト事務所費は予算より632,895円支出を削減することができました。

上記の結果、収入合計金額52,946,692円 から支出金額合計27,119,967円を差し引いた25,826,725円を次年度に繰越しました。

2. 特別地区資金

(1) 収入の部

①会員数の減少により特別地区資金も下記の通り減収となりました。

上期 538,650円 下期 322,875円 合計 861,525円

②前期繰越金は予算額より6,448,162円多い24,263,533円となりました。

(2) 支出の部

①事業費は、新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業が縮小となり支出が少なくなりました。

②新入会員セミナーの赤字分を、その他事業費から補填しました。

③RI理事、RI研修リーダーからの依頼により、公共イメージ向上の一環として、日本経済新聞全国版への広告掲載のため、200,000円を事業費の予備費から支出しました。

上記の結果、収入合計金額39,196,108円から支出合計金額11,931,882円差し引いた27,264,226円を次年度に繰越しました。

地区資金収支報告

別紙の通り地区資金収支決算書を提出致します。

2023年8月29日

国際ロータリー第2510地区 2022-2023年度

地区代表幹事 河 口 義 憲

国際ロータリー第2510地区 2022-2023年度

地区財務委員長 川 端 忠 範

地区資金収支決算書監査報告

別紙の地区資金収支決算報告書について監査の結果、適正であると認めます。

2023年9月1日

国際ロータリー第2510地区 2021-2022年度

ガバナー 大 日 向 豊 吉

地区大会年次収支決算書 (2022年度－2023年度)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	摘 要	備 考
登録料	1,800,000		会長・幹事懇親会 140名×10,000円	札西 RC 430,000 他
	3,312,000	10,562,000	リアル本会議参加者 311名×12,000円	54,000 (返金分)
			// ご夫人 3名×6,000円	
	3,204,000		オンライン参加会員 1037名×3,000円	
	2,880,000		懇親会 175名×12,000円	
	138,000		ユースフォーラムのみ参加会員 25名×2,000円	
	500,000	360,000	親睦ゴルフ大会 72名×5,000円	
地区資金	5,014,000	5,014,000	特別地区資金	
	550,000	550,000	一般地区資金 (地区表彰費・ガバナー記念品費)	
	90,000	90,000	一般地区資金 (地区指導者育成セミナー)	
雑収入	100,000	107,535	ポリオ (ゴルフ大会) チャリティ+受取利息35円	
収支合計	17,588,000	16,683,535		

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	摘 要	備 考
総務部門	1,000,000			
	内訳 440,000	598,593	プログラム、リーフレット代	リーフレット 95,700、プログラム 502,893
	内訳 560,000	220	事務費・雑費	封筒代
		220,159	通信費・消耗品費・コピー代	下村さん 70,252+ 西 RC19,377+5,885+124,645
		8,965	振込手数料	
		3,700	レターパック	
		107,500	公益財団法人ロータリー日本財団	ポリオ (ゴルフ大会) チャリティー
		231,836	お礼、お土産関係諸費 (他地区ガバナー)	小黒さん 15,500 円 + 米倉さん 18,250 円 + 石丸さん 198,086 円
式典関係	875,000	209,760	表彰授与品	
		188,710	記念品、オプトン他	172,500+16,210
登録部門	100,000	42,476	コサージュ・名札	
会場部門	5,805,000			
	内訳 3,150,000	10/14 2,220,555	会場使用料及び設営料 (プリンスホテルバミール館)	含晚餐会会長幹事会指導者育成セミナー懇親会
		10/15 3,846,200	会場使用料及び設営料 (プリンスホテルバミール館)	本会議、記念講演会
		10/16 1,713,500	会場使用料及び設営料 (ロイトン札幌)	記念行事「ユースフォーラム」
行事部門	5,208,000	756,000	昼食代 (10/15 ベントス、10/16 ロイトン札幌)	(スタッフ含む) 井当代
	内訳 2,880,000	100,000	ギャラ出演費 (館山健二様分)	
	内訳 1,800,000	106,130	交通費・送迎費用他 (RYLA)	高校生交通費
	内訳 528,000	778,250	配信用光回線・配信作業・カメラマン	
		16,500	機材・運営費	
関連事業	1,000,000	547,396	賞品・景品	景品 270,000+161,896+115,500
		281,640	食事代	打合 15,000+260,340+6,300
		68,656	通信費	44,000+17,496+1,760+5,400
記録部門	3,150,000	55,000	記録誌・インターアクト活動報告書	
		176,000	写真撮影費・諸雑費	
		2,009,315	記念誌 + 送料	
予備費				
支出合計	17,588,000	14,287,061		
地区資金戻		2,396,474		
総 計		16,683,535		

地区大会役員・実行部会

地区大会役員

大会顧問 見延庄三郎 米山 八郎
 ガバナー 松浦 光紀
 大会委員長 岡崎 芳明
 大会副委員長 山村 弘一 新倉 吉晴
 大会幹事 小笠原俊介

大会会計 鈴木 崇史
 大会 SAA 福島 正紘
 ホストクラブ会長 三栖 裕司
 地区代表幹事 斎藤 仁

実行部会

顧問部会

福島 正紘
 岡崎 芳明 小笠原俊介 加藤 正幸
 斎藤 仁 新倉 吉晴 林 正章
 松浦 光紀 三栖 裕司 見延庄三郎
 山村 弘一 米山 八郎

懇親会部会

斎藤 仁
 湊 亨 山谷 憲弘

接待・来賓案内

伊藤 嘉英
 太田 宏司 佐藤 友美
 堀内万記子 松尾 香和

総務部会

中山 仁史
 荒田 純司 斎藤 英伸 佐藤 雅之
 堀内万記子 松尾 香和 山谷 憲弘

会議資料作成部会

廣瀬 保男
 佐藤 嘉典 桂 正俊 白石 亨一

本会議開催部会

田中 彰一
 石川 稔 村越 仁
 工藤佐千夫 拝田 昇

SAA

福島 正紘
 加藤 正幸 野村 定弘
 山下 秀治 山本 政秀

ゴルフ大会部会

京谷 篤
 加藤 正幸

広報、記録、記録誌作成部会

小笠原俊介
 荒田 純司 佐藤 勉
 廣部 隆夫 福島 正紘

財団学友・米山奨学生・RA

佐藤 友美
 地山 敬胤 北野 明宣
 宮川 英隆 林 正章

スパウズ部会

前川 勝美
 小林 英夫

会長幹事・育成セミナー部会

斎田 義孝
 福島 正紘 廣瀬 保男

会計

鈴木 崇史
 大淵 勝敏 廣部 隆夫

並行プログラム

青少年
 佐藤 友美 宮川 英隆
 新会員
 山村 弘一 井出 信治

財団ワークショップ

桂 正俊

地区大会運営委員会

■ プログラム委員会

委員長 ガバナー 松浦 光紀 (小樽南RC)
委 員 齋田 義孝 (小樽南RC)

■ 信任状委員会

委員長 パストガバナー 大日向豊吉 (函館五稜郭RC)
委 員 パストガバナー 小山 司 (札幌RC)
委 員 齋藤 仁 (小樽南RC)

■ 選挙管理委員会

委員長 パストガバナー 福田 武男 (千歳RC)
委 員 パストガバナー 國立 金助 (函館RC)
委 員 岡崎 芳明 (小樽南RC)

■ 決議委員会

委員長 パストガバナー 福井 敬悟 (札幌手稲RC)
委 員 パストガバナー 武部 實 (札幌南RC)
委 員 伊藤 嘉英 (小樽南RC)

■ 登録委員会

委員長 パストガバナー 石丸修太郎 (札幌西RC)
委 員 パストガバナー 嵯峨 義輝 (岩見沢RC)
委 員 小笠原俊介 (小樽南RC)

■ 出席者推進委員会

委員長 ガバナーエレクト 出村知佳子 (札幌北RC)
委 員 ガバナー補佐
第1 成田 雅敏 (深川RC)
第2 宇戸 啓隆 (赤平RC)
第3 菊田 政徳 (江別RC)
第4 藤城 英明 (札幌北RC)
第5 山口 史朗 (札幌東RC)
第6 佐藤 慶一 (小樽RC)
第7 前田 利和 (恵庭RC)
第8 久保 佳幸 (浦河RC)
第9 鈴木 高士 (登別RC)
第10 宮村 拓郎 (七飯RC)
第11 横岡 孝一 (函館五稜郭RC)
第12 高橋 康則 (苫小牧北RC)

編集後記

2023～2024 年度国際ロータリー第 2510 地区・地区大会は、令和 5 年 10 月 14 日から 15 日までの 2 日間にわたって行われ、盛会裏に終了いたしました。幸いお天気にも恵まれ、多数のご参加・ご出席を頂きましたことにつきまして、心より感謝申し上げます。

小樽南ロータリークラブとしては、34 年振りに松浦光紀ガバナーが就任され、ガバナーのもと、ホストクラブである小樽南ロータリークラブ、小樽ロータリークラブ及び銭函ロータリークラブがコ・ホストクラブとなり、第 6 グループの全クラブが集結して本大会を運営してまいりました。

往時と比べ会員数がおおよそ半減した当クラブではありますが、小樽ロータリークラブを始めとする他クラブの皆様からのご支援・アドバイス等を頂き、何とかこの大業を果たすことができました。もちろん大会運営において至らないところが多々あり、参加いただいた会員の皆様には多少なりともご迷惑をおかけしたところですが、ここはロータリーの奉仕の精神に基づき宥恕いただければ幸いと存じます。

本誌の発行に際しては、第 2510 地区の担当委員の皆様、地区大会事務局の皆様、多くのロータリークラブ会員の皆様のご協力を得ることができましたこと、重ねて感謝申し上げます。おかげさまで何とか発行に至ることができました。この記録誌をご覧いただき、地区大会当日の熱気を蘇らせていただければ、記録誌作成部会としてこれに勝る喜びはありません。

結果的に、地区大会から長期間を要した後の発行となりましたが、この記録誌が将来に向け、各ロータリークラブの会員の皆様にとって記憶に残り、かつ、有意義な大会であったことを実感していただければ幸いと存じます。

広報・記録・記録誌作成部会

委員長 小笠原俊介

副委員長 盛 昭義

委員 荒田 純司

佐藤 勉

廣部 隆夫

福島 正紘

松尾 香和



2023-2024年度 国際ロータリー第2510地区

地区大会記録誌

2024年6月吉日

発行：小樽南ロータリークラブ

事務所／小樽市稲穂2丁目15番1号

オーセントホテル小樽内 TEL 0134-27-8080

制作：株式会社オー・プラン





お礼の言葉



ガバナー
松浦 光紀
(小樽南RC)

今、心温まるお話をいただきました。2日間、私が思いもしなかったことはいっぱいありましたけれども、無事皆さんのご協力で何とかここまで来ました。本当に感謝申し上げます。服部陽子RI会長代理に、まさか彼女が私たちの地区に来てくれるなんて考えもしませんでした、本当に。皆さんと一緒にこの機会を楽しんでいただけましたでしょうか。また、この後もまだ記念懇談会がございますので、私はその時に美味しいお酒を皆さんと一緒にいただきたいと思います。本当にありがとうございました。



閉会の言葉



大会副実行委員長
山村 弘一
(小樽南RC)

会場の皆さん、お疲れさまでした。ただいまご紹介いただきました実行委員会副委員長の山村弘一です。高いところから大変恐縮ですが、閉会のご挨拶をいたします。13日、記念ゴルフ大会、14日、会長・幹事会並びにRI会長代理歓迎晩餐会、そして本日15日、本会議と素晴らしい秋空の天気を背中に受けて、今大会も成功裏に終了できますことは、松浦ガバナーの指導の下、ホストクラブ、そしてコ・ホストクラブ並びに2510地区加盟クラブ会員全員の皆様方の絶大なるご支援とご協力の賜物と心から敬意と感謝の誠を捧げ、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

終わりにご臨席の皆様方のさらなるご健勝と、末永いご活躍を祈念いたしまして、簡単措辞でございますが、実行委員会を代表しての挨拶といたします。誠にありがとうございました。



10月15日(日)
大会2日目

記念懇親会

《 グランドパーク小樽 》

※敬称略

司会・地区幹事 拜田 昇、石橋八千代

16:30 開会

開会の挨拶

ガバナー 松浦 光紀

乾杯

ガバナーエレクト 出村知佳子

開宴

記念ゴルフ大会報告

ゴルフ委員長 山村 弘一

アトラクション

J-HOT (Joyful Heart Orchestra Teine) による

ジャズスタンダードナンバー演奏

18:00 閉会挨拶

ガバナーノミニー 玉井 清治

ロータリーソング「手に手つないで」 ソングリーダー 湊 亨

閉会

ホストクラブ会長エレクト 桂 正俊



